

第七十三回帝國議會  
衆議院

# 國民健康保險法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案  
國民健康保險法案(政府提出)

## 會議

昭和十三年一月三十一日(月曜日)午前十時  
五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事青木 亮貫君 理事小笠原八十美君

理事盛島 明長君 理事北 勝太郎君

理事佐竹 晴記君

高田 耘平君 清水留三郎君

寺島 權藏君 松田喜三郎君

木原 七郎君 喜多壯一郎君

山田 順策君 成島 勇君

野方 次郎君 高見 之通君

世耕 弘一君 西川 貞一君

岩元榮次郎君 本田 義成君

松尾 孝之君 土倉 宗明君

鹽川 正藏君 中井 一夫君

小野 廉君 北 勝太郎君

守屋 榮夫君 鈴木 正吾君

河合 義一君 田中 耕君

田中 養達君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 氏家 武君

農林參與官 助川啓四郎君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生次官 廣瀨 久忠君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)

○小笠原委員長代理 ソレデハ委員長ガ事

故ガアルヤウデアリマスカラ、私ガ代ッテ委

員長ノ來ル間、又ハ外ノ理事ノ方ガ見エル

迄代理ヲ致シマス、是ヨリ開會ヲ致シマ

ス——松田君

○松田委員 私ハ組織ノコトニ付テ御伺シ

テ見タイト思ヒマス、組合ノ組織ト云フモ

ノニ付テハ、吾々ハ曩ノ院議ヲ尊重シテ、

簡單ニ申シマスレバ、産業組合ニモ代行サ

スト云フ意見デアッタノデアリマスガ、ソレ

ガ此法文ヲ見マスト洵ニ婉曲ニ書イテアリ

マス、大臣ノ御答辯ヲ見マシテモ、ドウモ

ソコガハッキリトシマセヌ、醫療設備ヲシテ

居ッテ、財政ノ運用モ完全ナモノト認メタ折

ニ許スト云フコトニナッテ居リマス、ソコデ

其完全ナモノニナッタト云フコト、其解釋ガ

私共ニハ難シイ、故ニ明ニシテ貫ヒタイト

思ヒマスノハ、例ヘバ此産業組合ナリ商工

組合ナリガ、其醫療組合ノ形式ヲ具ヘタ、

ソレガ即チ完全ナルモノト認定スルノデア

リマスカ、或ハ何年モ何日間モヤッテ見タ後

ニ於テ、確實ナルモノト認可セラルルノデ

アルカ、要スルニ産業組合ナリ或ハ商工組

合ガ醫療組合トシテ茲ニ其準備ガ出來タ、

準備ガ調ウタ其隣間ヲ以テ確實ナリト認め

テ認可セラルルノデアアルカ、ソレガハッキリ

シナイト面倒ガアリマスカラ、ソコヲ明ニ

シテ置イテ貫ヒタイ

○進藤政府委員 醫療利用組合其他ノ組合

ヲシテ代行セシメル場合ノ認定デゴザイマ

スルガ、是ハ何處マデモ實質ニ就キマシテ、

完全ナ醫療ガ出來ルモノト云フコトヲ認定

スルニ足ル資料ガナイトイケマセヌカラ、

ドウシテモ相當經驗ヲ持ッタト云フコトガ

必要ナノデアリマス、隨ヒマシテ新ニ組合

ガ出來テ、完全ニ遂行出來ルダラウト云フ

推定デ直グ許ス譯ニハ參ラヌト思ヒマス

(小笠原委員長代理退席委員長著席)

○松田委員 ソコガドウモ洵ニ微妙ト言ヒ

マスルカ、一般ガ疑ッテ居ル所デアリマ

スガ、此代行サスト云フコトニ付テ、

サウ云フ醫療設備ガ出來タモノト云フ認

定ハ、只今出來テモ認定、一箇月經ッテモ、

一年經ッテモ、三年經ッテモ、其經驗ニ依ッ

テノ認定デアル、只今其準備ガ出來テ産業

組合ガ代ル場合モアレバ、確實ナル組合ガ

アッテ是ナラヤレルト云フモノ認定デアル、

サウ解釋スベキデアラウト思ヒマスガ、ソ

レデ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ何回モ

起ツノ面倒デゴザイマスカラ——其次ニ

保險給付、即チ療養ノ給付、助産ノ給付、

葬祭ノ給付、ソレハ凡ソドレ位ニ認定セラ

レル御考デアリマスカ

○進藤政府委員 第一ノ御質問デゴザイマ

スルガ、代行組合ヲ認定致シマスル條件ト

シマシテハ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、

條件ガ七箇條カラ成ッテ居ルノデアリマス

ガ、其中ニ當該法人ノ財政ノ基礎鞏固、事

業ノ成績良好ニシテ醫療ニ關スル施設ノ内

容ノ適當ナルモノナルコト、斯ウアリマス

ルカラ、ドウシテモ財政ノ基礎ガモウ既ニ

確立シ、事業成績が良好デア、ソレカラ又醫療ニ關スル施設ノ内容モ良イト云フ事實ガナケレバイカヌデアリマシテ、或ル組合ガ出來テ、將來優良ナ成績ヲ收メルダラウト云フヤウナモノデハイカヌコトニナツテ居ルノデアリマス

ソレカラ第二ノ御質問ノ保險給付ノ中ノ助産ト葬祭デアリマスルガ、是ハ國民健康保險組合ノ給付ト致シマシテハ、第二義ノモノデアリマシテ、給付ノ額ニ付キマシテハ、如何程スルカト云フコトハ組合ノ任意ニ致シタイト思ヒマス

○松田委員 ソレで見マスト云フト、基礎鞏固デアッテ運営ノ出來ルト云フ認定ト云フモノガ、茲ニ政府ガ御提出ニナリマシタ所ノ法案ノ概要ニ依ッテ見マスト、其保健設備ト云フモノガ二百十圓ヲ以テ完備セルヤウニナッテ居リマスガ、其施設ノ完備セルモノト云フコトハ、二百十圓ナルモノガ即チ完備シタモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカ、又今後代行機關ガ續々ト出來ヤウト思ヒマスガ、ソレハドウ云フ風ニシテ許可スルカ、皆許可スル方針デアリマスカ、一昨日モ申シマシタガ、此點ハドウスルノデアリマスカ

○進藤政府委員 只今御質問ノ保健施設費

ト申シマスルノハ、國民健康保險組合ノ事業ノ收支概算例ト云フニツノ例トシテ掲ゲテアリマスル、其數字ニ付テノ御質問ト思ヒマスガ、茲ニアリマスノハ經常收入ト經常支出ヲ對照シタモノデアリマシテ、收入ハ保險料其他國庫補助金、其支出トシテ保健施設費ト云フモノガ舉ッテ居リマスノハ、色々々々健康保持ノ宣傳等ヲスル、サウ云フヤウナ費用ヲ舉ゲタモノニ過ギナイノデアリマシテ、保健ノ何ト云ヒマスカ、物的ノ設備ト云フモノヲ茲ニ含シテ居ルモノデハアリマセヌ、是ハ經常費ダケノ意味ノ數字ニ過ギナイノデアリマス

○松田委員 只今私ノ申シマシタノハ、經常費デアルト云フコトヲ承リマシタ、然ラバソレデ結構デアリマスガ、此設備ト云フモノハドウ云フ程度ノモノヲ申シマスカ、其處デ醫師ノ診察モシ、藥劑モ給付スル、サウ云フ設備ヲスルノカ、醫療ノ設備ト申シマスノハ所謂其處ガ一ツノ病院見タイニナルノカ、サウ云フモノデゴザイマスカ

○進藤政府委員 御答申上ゲマス、醫療ニ關スル施設ヲ爲スト云フ其法律ノ文句ノコトヲ考ヘマスレバ、醫療ニ關スル施設ヲ爲シテ居ルト云フコトハ無論病院ヲ持チ、診

療所ノ物的設備ヲ持ッテ居ル、是ハ當然デアリマスガ、其他ニモ解釋ト致シマシテハ、共濟施設ヲシテ居ッテ、詰リ病氣ニ罹ッタ時ニ治療ヲスル爲メノ金ヲ積立テテ置クト云ッタヤウナ施設ヲ持ツモノモ含ムベキモノト思フノデアリマス、ソレカラ開業醫ニ囑託シテ置イテ、病氣ニ罹ッタ場合ニ之ニ委託シテ治療ヲ受ケル、サウ云フモノモ醫療ニ關スル施設ヲ爲スモノト言ヒ得ルノデアリマス、唯此處ニ附加ヘテ申上ゲテ置カナケレバナラヌノハ、ソレデハ其ヤウナモノモ代行ノ資格アルモノト認メルカドウカト云フコトニナルト、後ニ申シマスルヤウニ、保險ノ金ヲ積ンデ置イテ金ヲ給付スルトカ、或ハ開業醫ヲ囑託シテソレニ當ラシメルト云フヤウナ程度ノモノハ、所謂完全ナ醫療施設ヲ持ッテ居ルト云フ意味デ、代行セシメルニ足ルモノトハ認メラレナイト思フノデアリマス

○松田委員 只今承リマスト、其醫療設備ト言ヒマスト、病院ノヤウナモノデアッテ完全ナ醫療設備ノミデハ代行ラセシムルコトガ出來ヌト、若シサウ云フコトガ出來ヌト云フト完全デヤナイ、ソレカラモウ一ツハ其地方ノ開業醫ニ契約スルト云フコトニナレバ、開業醫其ノモノデ宜シウゴザイマス

カ、此組合ハ開業醫ガ其處デ病院ヲ開キ、醫院ヲ開イテ居リマスレバ認メルノカ認メヌノカ、此組合ガ開業醫ト離レテ獨立シテ其治療上ノ設備ヲスル、即チ病院ヲ造ッタカ、病室ヲ造ッタトカ、斯様ナ機關ヲ完備シナケバレイカヌト云フ意味ニナルノデアリマスカ、又ソレハサウデアアルガ、地方ノ醫者ト契約スル場合、其醫者ノ設備其儘デアイト云フ御意見デ差支ナイトスルト、此處ニ内科醫アリ、眼科醫アリ、外科醫アリ、小兒科醫アリ、或ハ耳鼻咽喉科醫ガアルト云フヤウニ、色々々々醫者ガ地方ニアリマスルガ、ソレヲ一箇所ニ集メテ設備ヲスルト云フコトハ、逆モ一町村デハ出來ナイ、一町村ノ區域ニ於テ爲スト云フコトハ出來マセガ要リマスカラ、ソレデアッタナラバ絶對ニ出來マセヌ、餘リ小サイコトヲ言フヤウデアリマスガ、大事ナコトデアリマスカラ……

○進藤政府委員 御答申上ゲマスガ、醫療組合ノ代行ヲ認メル場合ニ於キマシテハ、何處マデモ醫療施設トシテ完全ナモノヲ認メル方針デアリマスカラ、隨ヒマシテ唯開業醫ト契約ラシテ、ソレヲ以テ醫療ニ當ラセルト云フヤウナモノデアリマスレバ、代行ヲ認メル譯ニ行カヌノデゴザイマス、隨

ヒマシテ何處マデモ今仰シヤッタヤウニ、醫療組合ノ代行ヲ認メル場合ハ、病院若クハ病院程度デナクトモ、自分自身ノ診療所、專屬ノモノヲ持ツタ程度ノモノト云フコトニナルト思ヒマス

○松田委員 ソレデ明ニナリマシタ、此代行ヲ認メル折ニハ、其設備ヲ完全ニシタモノデナカッタナラバ許可シナイ、例ヘバ此處ニ産業組合ガアツテ、ソレニ代行サセヨウトシタ場合デアリマシテモ、其設備ヲスレバ宜イガ、一方普通國民健康保險ノ組合ヲ作ツタ時分ニハ、開業醫ト自由ニ契約ガ出來ルノデアルカラ、其設備ハ要ラヌ、斯ウ云フコトヲモウ一回聽カセテ下サイ、サウ云フ解釋デ宜シウゴザイマスカ

○進藤政府委員 今ノ御質問ノ通りデゴザイマス  
○松田委員 ソコデ此國民健康保險ヲ強制加入ニシタイガ、強制加入ニハナッテ居リマセヌ、強制加入ガ趣意デアリ精神デアルト云フコトハ、一昨日ノ御答辯ニアッタヤウニ思ヒマス、サウスルト此組合ヲ町村自治體其モノニ許セバ直チニ強制加入ニナル、或ハ又産業組合ニ許シマシテモ、組合員トシテ全村ノ殆ド七八分ノ者ガ入ッテ居ルカラ、アト二三分ノ者ヲ加ヘレバ直チニ完全ニ出來

マス、ソレヲ新ニ獨立シタ組合ニスルト云フコトニナルト莫大ナ費用ヲ要スルガ、之ヲ町村長ナリ町村ノ事務ヲ執ッテ居ル者ニヤラセルナラバ、極メテ簡單デアアル、町村自治體ガヤレバ開業醫ト契約スルノデアアルカラ、金ノ徵收位デ他ニ澤山ナ用ハナイノデスケレドモ、之ヲ一ツ獨立サセルト、又此本ヲ出シマスガ、事務費ガ八百七十六圓要リマス、八百七十六圓ノ費用ヲ使ヒマシタナラバトモヤッテ行ケルモノデハナイ、ドウモ只今ノ御話ヲ聽イテ、斯ウ云フヤウニ獨立シタモノヲ作ツタノデナクテハイケヌト云フコトニナルト、費用デ倒レテシマフ、ナゼ費用デ倒レテシマフ、事實ガ斯ウ云フ状態ニナッテ居ル、獨立シテ作リマス故ニ、一村平均人口ハ四千二百人ニナッテ居リマス、之ヲ見ルト事務所費ハ八百七十六圓、積立金モ八百七十六圓、保健施設費モ二百十圓要ル、ソレカラ助産費ガ七百十圓、葬祭ノ給付ハ載ッテ居リマセヌ、是ハツイ御忘レニナツタモノデアラウト思ヒマスカラ、是ハ問題ニシマセヌガ、此施設ヲスル爲ニ積立金ト事務所費或ハ施設費デ、國ガ補助スル金ハ殆ド要ッテシマヒマス、國ノ補助スル金ハ平均スルトクッタ六十四錢ニナル、一年當リガ最初ハ一圓、二年目

ガ一圓、次ノ二年ガ七十錢宛、其次カラハ五十錢ニナルガ、假ニ十年トスレバ六十四錢ニナル、六十四錢ト云フ國ノ呉レル金ハ非常ニ大ナル金ト思フカモ知レヌガ、此政府ノ補助スル金ハ事務所費ト施設費ト積立ニ殆ド要ッテシマッテ何モ殘ルモノハナイ、政府ハ之ヲ獎勵サセル目的デアルガ、斯ウ云フヤウナ仕事ヲサセテ居ッタナラバ費用倒レニナッテシマフ、是ハ私等ガ一寸計算シテ見ルト洵ニ妙ナコトニナリ遺憾ニ思ヒマスカ、斯ウナリマス、之ヲ吾々ガ當事者ニナッテ經營スル氣ニナッテ詳細ニ考ヘテ見ルト、國ノ補助ハ十年平均シテ全國一村平均二千六百八十八圓デ、其中デ事務所費ト積立金ト保健施設費ヲ合セルト千九百六十二圓要リ、差引クッタ七百二十六圓補助ガアルト云フコトニナル、是ハ實ニ僅ナモノデゴザイマシテ問題ニナラヌ少額ナモノデアリマス、之ヲ十年計畫デ政府ガオヤリニナルト言ヒマスガ、私ハ是程國民全體ガ熱心ニ希望シテ居ル此組合ヲ、若シ今日昭和十三年度ニ一齊ニ實施スルト致シマシテモ、此事務所費、積立金、施設費ヲ引イテ見マスト洵ニ僅ナ金ニナル、ドノ位ノ金ニナルカト云フト、丁度今日煙草ノ値上ヲシマシテ一千萬圓增收スルト云フガ、今全國一度ニ

實施シマシテモ、斯ウ云フ費用ヲ引イテ見マスト、其殘リ實際此國民健康保險ニ出スト云フモノハ一千萬圓デ、煙草デ値上シマシタカラソレデトシノニナッテ居リマス、コンナコトニナルノモ何故カト云フト、斯ウ云フ風ニ事務所費ニ澤山要ル、或ハ積立金ヲ態シナケレバナラヌコトニナル、或ハ施設費ノ經常費ニ金ヲ使フト云フコトニナルカラ斯ウ云フコトニナッテシマフ、一昨年カラ騒イダ此問題ヲ、全國一齊ニ實施シテモ、國ガ一千萬圓ヲ全國ノ國民ニ補助スルヤウナモノデ、一遍ノ煙草ノ値上位ナモノデアアル、施設費ニ要リ過ギルカラサウナト考ヘナケレバナラヌト思フ、此前カラ此問題ガ起リマシタ時分ニデモ、費用ヲ成ベク使ハセナイ方針デヤラナケレバナラヌ、費用ヲ使ハセナイデ實效ヲ擧ゲナケレバイケマセヌ、如何ニ事務所費ヲ澤山使ッテモ、積立金ヲヤッテモサウ實ハ擧ラヌコトデ、國民ノ健康ヲ増進シ、體位ヲ向上サセヨウトシマスレバ、ドウシテモ精神的ニシナケレバナラヌ、ソコデ私ガ御尋シタイノハ、此條文ヲ見マスト療養ノ給付ノ一部負擔ト云フコトガアリマス、一部ト云フノハ何程カト承ッテ見マスト、此案ニ依リ

マスト約二割程ニナツテ居ルガ、此二割ト云フコトハ法テ御定メニナルノデアリマスカ、其組合個々ノ自由テ規約ニ依ツテ定メルノデアリマスカ、私ハ何故之ヲ問フカト言ヒマスト、二割ト云フ負擔デアツクナラバ、進モ組合ハ立ツテ行カヌト思フ、經營方出來ヌト思フ、何故カト申シマスト、政府ノ調査ニ依リマスト一人當リノ醫療費ト云フモノハ、農漁山村ノモノハ二圓五十九錢デアリマス、之ニ五割ヲ見込シテ四圓ニスルト云フ御説明ガアル、四圓ト云フコトハ洵ニ少イト思フノデアリマシテ、是ヲ今日行ハレテ居ル所ノ健康保險ノ状態ニ見マスト、尙ホ一人當リ十圓以上ハ要ルダラウト思フテ居リマス、一方農村ノ方ハ五割餘計見積ツテモ四圓ト言ヒマスカ、此組合ガ出來マシテ二割カソコヲ負擔デアリマシタナラバ、五圓ヤ十圓デハ濟ミマセヌ、是ハ相當澤山要リマスカ、其澤山要ル金ヲ保險金ニ依ツテ支辨ラスルト云フコトニナリマシタナラバ、進モ農漁山村ハ之ヲ經營シテ行クコトハ出來マセヌ、政府ノ下サル金ハ先刻申シマシタ通りニ僅ニ四五錢デス、澤山呉レルヤウデアリマスケレドモ、事務費トカ、或ハ積立金トカ、或ハ設備費ト云フモノヲ引キマスカラ、一人ニ付テ平均五十錢デアリマスカ

ラ、其一割ノ五錢ニシカナリマセヌ、ソコトデハドウシテモヤツテ行ケマセヌ、ソコデ一日ノ大臣ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、此一部負擔ト云フモノヲ認メルガ故ニ安ク行クノデアル、是ハ宜イコトデアル、斯ウ仰シヤツタ、私ハ其大臣ノ言ハレルコトハ本當デアルト思ヒマス、獨逸ノ例ヲ見マシテモ、此一部負擔ヲ五割取ツテ居ル、其他色々アリマスルガ、健康保險デアリマスカラ、國民健康保險ト違ヒマスカ、サウ云フ状態ノ所モアリマスカ、私ハ一部負擔ト云フモノヲ少クトモ三分ノ一ヲ負擔シナケレバナラヌト思フ、三分ノ一負擔シナケツタナラバ、ドウシテモ私ハ此組合ハ立ツテ行カヌト思フノデアリマス、ソコデ私ハ一部ト云フモノヲ組合テ御定メニナルノデアルカ、或ハ政府ガ定メラレルノデアルカト云フコトヲ聞クノデアリマス、私ハ願クバ是ハ國テ定メテ貫ヒタイ、サウシマセヌト相扶共濟ノ此事業ト云フモノハ、隣ノ村ト隣ノ村ト違フヤウナコトガアツデハイケマセヌカラ、助産或ハ葬祭ノ費用、或ハ此療養ノ給付ノ一部負擔ト云フモノヲ國ガ定メテ、法文化シテヤラナケレバ私ハ完全ニ行クマイト思フ、ソレヲ政府ノ御方針ノ二割ト云フ御定メデハ進モヤツテ行ケマセ

ヌ、私ハ此方面ノコトニ關係シテ居リマスカ、是デハヤツテ行ケマセヌ、茲ニ三分ノ一ナラ三分ノ一ト云フコトニナリマスケレバ、ソレダケ粗療トカ粗診トカ、殊ニ濫療ハ絶對ニアリマセヌ、濫療ト云フコトハドウシテモ防ガナケレバナラヌ、何故防ガナケレバイカヌカト云フコトハ御考ニナツタラ分リマス、僅カノ負擔金デアツクナラ濫療ニナリ、ソレガ爲ニ診療費ト云フモノハ馬鹿ニ上ツテ、アナタノ御考ニナツテ居リマスル所ノ四圓ハ八圓ニモ十圓ニモナル、サウナルト保險ノ給付ト云フモノハソレ位ノ金デハ進モヤツテ行ケマセヌ、之ヲ三分ノ一ナラ三分ノ一ト御決メニナツテ、サウシテ金ノ餘裕ガ出來タナラバ、唯藥ヲ飲マシ診察スルダケデナク其由ツテ來ル原因ヲ調べ、更ニ病氣ヲ未然ニ防グ、豫防スルト云フコトニ進マナカツタナラバ、此醫療費ト云フモノハ低下スルコトハ出來ズ、國民ノ健康ヲ保持増進スルコトモ、體位向上ヲ圖ルコトモ出來ヌト思フノデアリマス、其點政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問ハ國民健康保險組合ト云フモノヲ新ニ別ニ作ツテヤルノデハ、色々事務費ナドガ掛ツテ不經濟デハナイカト云フ御心配ガ第一ダト思ヒマス、是ハ洵ニ御尤デアリマスカ、政府ト致シマシテハ他ノ組合ニヤラセルトカ、或ハ町村ニヤラセルトカ云フコトニ付テモ考慮シタノデアリマスカ、國民健康保險ノ目的ヲ達成スル爲ニハドウシテモ片手間デハイカヌ、ドウシテモ一ツノ是ガ目的ノ機關ヲ作ルト云フコトデナケレバイカヌト云フコトデ、一ツノ組合ヲ新ニ作ツテヤラセルト云フコトニナツクノデアリマスカ、其ヤツテ行キマスル上ニ於テ、事務費ニ付キマシテハ、極力是ハ無駄ノナイヤウニ簡易ニ致シタイト云フ考デアリマス、例ヘバ理事長ニ町村長ガアリマスカ、隨ヒマシテ其事務所ノ如キモ別ニ建物ヲ建テルトカ、借家ラスルトカ云フコトデナシニ、成ベク町村ノ一部ヲ使ハシテ貫ツテヤルトカ、人ナドモ一人カ二人デヤツタラ宜イト云フコトヲ考ヘテ居リマスカ、此程度デアリマスケレバ、若シ町村ガヤルニシテモ、他ノ團體ガヤルニシテモ是位ノ金ハヤハリ掛ルノデアル、特ニ新ニ組合ヲ作ツタ爲ニ無駄ガ起ルト云フコトハナイト考ヘマス、又サウ云フ風ニサセテ行キタイト考ヘマスルガ、此事務費ガ八百何十何圓ト云フ例ニナツテ居リマスカ、是ハ大體保險給付費ノ五分ヲ與ヘルト云フノデアリマシテ、此五分ニ付キマシテハ現在ノ健康

保險組合——今アリマスル労働者ノ此實例  
カラ見マシテモ、五分アツタラ行ケルト云フ  
ヤウナ經驗ガアルノデアリマシテ、是デ是  
非ヤラスヤウニシタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ次ニ療養給付ノ一部負擔ノコト  
デアリマスガ、是ハ前回ノ時ニ松田サンノ  
御述ニナリマシタ通り、或ル程度ノ一部負  
擔ヲサセルニアラズンバ、濫療ノ虞ガアリ、  
又組合ノ經營モ困難デアルト云フコトニ付  
テハ全ク御同感デアリマシテ、其故ヲ以チ  
マシテ、此一部負擔ト云フコトガ定メラレ  
テ居ルノデアリマス、唯其割合ニ付キマシ  
テハ、是ハ非常ニ難カシイノデアリマシテ、  
只今ノヤウニ濫療ヲ防止スルト云フ點カラ  
言ヘバ、一部負擔ハ相當多クヤラナケレバ  
ナラスノデアリマスガ、一部負擔ヲ非常ニ  
多ク致シマス、是ハ現在ノ醫療利用組合、  
或ハ普通ノ共濟ノ方法トカ云フコトト選ブ  
所ガナイコトニナツテ、結局保險制度ヲ以テ  
醫療ヲ簡單ニ、完全ニ受ケラレルト云フ趣意  
ヲ薄弱ナラシメルコトニナルノデアリマス、  
隨ヒマシテ二割ガ宜イカ、三割ガ宜イカト  
云フコトハ相當議論ガアルト思ヒマスガ、  
政府ト致シマシテハ大體二割位ヲ基準ニシ  
テヤラセテ宜イ、ケレドモ是ハ強制致ス  
ノデアリマセヌノデ、規約デ定メサセタイノ

デアリマス、若シ規約デ二割ヲ少シ上ゲル  
ト云フコトヲ致スナラバ、ソレモ差支ナイ  
ト思ヒマス、又同時ニ地方ニ依リマシテ、非  
常ニ貧窮ナ所デ二割モ非常ニ難カシイト云  
フ場合ニハ、二割ヲ下ゲルコトモアリ得ルト  
考ヘマス、御説ノヤウニ法律デ二割トカ、  
三割トカ云フコトヲ決メテヤラセテ宜イ  
デハナイカト云フコトモアリマスガ、ソレ  
ハ一寸困難ト考ヘテ居ルノデアリマス、大  
體左様ニ御諒承願ヒマス

○松田委員 洵ニ御精神ノアル所ハ能ク分  
リマシタ、私ガ三分ノ一ノ負擔デナケレバ  
困難ダ、維持ガ出來ヌ、粗診、粗療、濫療  
ト云フコトヲ言ヒマシタガ、其濫療ノ一例  
ヲ申上ゲマス、現在ノ藥價ト云フモノハ  
一劑ガ二十錢トカ二十五錢デアリマスガ、  
組合ヲ作リマス時ニソレヲ下ゲマシテ、假  
ニ十五錢ナラ十五錢ト云フコトニナツタ其  
時分ニ、病人ニ長ク療養ヲサセル爲ニ——  
御醫者サンガサウ云フコトヲスルノハ妙ナ  
コトデアリマスガ——或藥ヲヤル、例ヘバ  
葡萄酒デアルトカ、或ハ單舍利別、或ハ規  
那煎、斯ウ云フヤウナ藥ヲ與ヘルノデアリ  
マス、清涼飲料水ヲ飲ムヤウナモノデア  
ル、サウ云フコトハ最モ考ヘナケレバイケマセ  
ヌ、「ラムネ」ト云フモノハ御知りデアリマ

セウガ、「ラムネ」ハ税金ガ課カリマシテモ  
一本五錢デアリマス、「ラムネ」一本飲ムヨ  
リモ醫者ノ藥ヲ飲ム方ガ宜イノデアリマ  
ス、醫療ト清涼飲料水ト同視スルナドト云  
フノハ失禮ナ話デイケマセヌガ、一例ヲ言  
フノデアリマス、ソレガ爲ニ治療日數ガ非  
常ニ延ビテ、治療費ガ澤山要ルノデアリマ  
ス、ソレデ三分ノ一ノ負擔デモシテ居ルト  
云フ、ソレデ醫師モ堂々ト處方シテヤルト  
云フコトニナリ、又患者モソナラバ堂々  
ト診テ貰フコトガ出來ル、サウ云フ點ハ一  
寸言ヒ方ガ悪イカラ一般ニ誤解ガアルカモ  
知レマセヌガ、サウ云フコトモ考ヘナケレ  
バナラス、清涼飲料水ニ尙ホ課稅セヨト云フ  
ノデアリマセヌガ、其點ヲ考ヘナイト、  
ドウシテモ町村ガ此費用デハ維持ラシテ行  
ケマセヌ、私ハ此御計畫ハ政府ノ資料ヲ見  
テ、迎モ能ク出來テ居ルト感心致シマシタ  
ガ、ドノ點カラ言ヒマシテモ治療費ヲ今日

四圓ニ政府ガ御決メニナツタコトハ——七  
圓、八圓必ズ要ルトハ思ヒマセヌガ、診療  
所ヲ造リ、醫療利用組合ヲ作ッテヤッテ居ル  
コトニナリマス、是ヨリ少ク要ッテ居ルト  
云フコトハナイ、大概七八圓カラ十圓要ッテ  
居リマス、若シソレガ非常ニ安クナツテ居  
ルト云フナラバ、其御醫者サンハ神様カ、

昔ノ徳本先生ノヤウナ人ガヤッテ居ルノデ  
アリマセウガ、サウデナク普通ノ往診料ヲ取  
リ、普通ノ藥價ヲ取ッテ出來マセヌ、ソ  
レヲ現狀デハ政府ノ方ノ案デ四圓ト云フコ  
トニサレタノデアリマスガ、此組合ガ出來  
タナラバ倍以上要ルト云フコトハ、私ハ保  
證致シマス、ソレデ是カラ新ニ御作リニナッ  
テモ、此保險料デハ迎モヤッテ行ケマセヌ、  
保險料ヲ順次倍ニシナケレバナリマセヌ、  
四圓ヲ倍ノ八圓、從ッテ倍ノ費用ヲ出サナケ  
レバナリマセヌ、少シ出ス人、一箇月ニ五  
錢、一箇年ニ六十錢ヲ出ス人ハ問題ガアリ  
マセヌガ、其上ヲ出ス人ニナルト、ソレハ  
迎モ堪ヘ切レマセヌ、戸數割ノ如キ問題デ  
ハアリマセヌ、戸數割ハ高イ、惡稅ダカラ  
廢メナケレバナラスト云フコトヲ申シマス、  
然ルニ斯ノ如キ方法デアツタラ戸數割ドコ  
ロノ負擔デアリマセヌ、尤モ大家族主義ノ  
我國トシテ、相扶共濟ヲシヨウト云フ精神

デアリマスガ、保險料ノ負擔ニハ堪ヘナク  
ナリマス、ソコデ一般モ保險料ヲサウ出サ  
ズニ濟ムノデアリマスカラ、三分ノ一ヲ負  
擔スルト云フコトヲ、ハッキリト決メテ置カ  
ナカッタナラバ出來マセヌ、是ガ出來ヌコト  
ハ私ハ保證シテ置キマス、ソコデ此問題ハ  
ヤサシイ問題デヤナイ、先ニ申述ベク獨逸

ノ健康保險ノ如キデストラ五割ヲ負擔サスコトモアリマスカラ、本法ハ三分ノ一、一日五錢デ濟ムノデアリマスカラ、苦シイモノデヤナイト思ッテ居リマス、ソコデ私ハ斯ウ主張スル者デアリマス、尙ホ其點ニ付テ御考慮下サル餘地ハアリマセスカ、組合ニ任シテシマフト云フ御意見デアリマスカ、私ガ其點ヲ重ネテ御問ヒスルノハ、組合ヲ思ヒマスルガ故デアリマス

○進藤政府委員 御熱心ナル御主張ハ能ク分リマシタ、十分ニヤッテ行ケヌノデハナイカト云フコトデアリマスカ、私共ニ於キマシテモ確信ヲ以テ十分トカドウトカ云フコトハ申上ゲラレマセスカ、原案ノ二割程度デ自由ニヤラセルト云フコトデヤッテ行キタイト思ヒマス、御述べニナリマシタコトニ付キマシテハ、十分將來ノ參考ニ致シタイト思ヒマス、ドウカ此案デ進メルヤウニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○松田委員 ソレデハ是以上追及ハシマセヌガ、私ハ之レヲ主張シテ置イテ、モウ一ツ伺ヒマスガ、此醫療施設ヲスル所ニ於キマシテハ、無論調劑モシナケレバイケマセヌ、其爲ニ八百何十圓ト云フ費用ヲ設ケタノデアリマセウガ、其處デ醫師ガ調劑ヲスルノデスガ、或ハ醫師ガ居ラヌ折ガアリマ

ス、其時ニハ誰ガ調劑ヲスルノデアリマスカ、藥劑師ニ調劑サスノデアリマスカ、無論當然サウスベキデアルト思ヒマスガ、其點ニ付テノ御考ヲ伺ヒマス

○進藤政府委員 只今ノハ專屬醫ノ場合ヲ假定サレテ仰シヤッタノデアリマスカ、組合ヲ作りマシタ場合、當然專屬醫ヲ置クベキデアルト云フコトハ考ヘテ居リマスノデ、サウ云フコトハ起ラヌヤウニナリマス

○松田委員 醫療ノ施設ヲシタ、即チ代行ヲ許ス所ノ組合、即チ病院ヲ造ラウト云フノデスガ、ソレニハ藥劑師ヲ置カナカッタラ調劑ハ出來ヌデセウ

○進藤政府委員 サウ云フ場合ニ於キマシテハ、仰シヤル通り藥劑師モ置イテヤリマス  
○松田委員 ソレデ分リマシタ、ソレハサウスベキモノデアリマス、病院ヲ造レバ藥劑師モ必要デアリマス、サウ云フ醫療施設ヲスルニ當リマシテ、藥劑師ヲ置カナケレバイカヌト云フ御言明ガアッタノデ諒承致シマス

ソコデモウ一ツ御尋シタイ、此案ニ依リマシテ藥劑給付上ニ付テ、政府ノ御方針ナリ御説明ヲ承リタイト思フコトガアルノデアリマス、ソレハ本法ノ實施ニ當リマシテ、最重要ナ業務ニ就キ大事ナ役割ヲ持ッテ居ル

藥劑師ト云フ生活者ニ付テ、甚ダ冷淡視セラレテ居ル、是ハ篤ト御考慮ヲサレテ居ルカドウカ、私ハ此點ニ付テ頗ル遺憾ニ思フ點ガアルノデアリマス、ソレハドウシテ私ガコンナコトヲ言フカト申シマス、ソレハ現在ノ健康保險法ニ依ル醫療ニ付テ見マサルニ、同法ニ依ル醫療費ト云フモノノ支出ハ、毎年一千數百萬圓ニ上ッテ居ル、其内藥價トシテ支拂ハレテ居ル金ガ、其約半數ノ七八百萬圓ニ上ルノデアリマス、ソレダノ

ニ其藥ニ依ッテ生活シテ居ル藥劑師ノ方ハドウカト言ヒマス、同ジ藥劑給付ノ契約ヲ締結サレテ居リマスルガ、ソレニ支拂ハレテ居ル金額ハ、僅ニ全國デ一箇年ニ千二百圓、即チ全國ノ藥劑師ニ支拂ウテ居ル所ノ金ハ、一箇月僅ニ百圓内外ノ程度デアリマス、其他ハ全部醫師會ノ方ニ拂ハレテ居ルノデアリマス、此一千數百萬圓ニ對シテ、千圓内外ト云フ數字ハ全ク比較ニナリマセヌ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、現在

健康保險ノ醫療ニ於テハ、藥劑ノ給付共ニ殆ド其全額ガ醫師ノ手ニ落ちテ居ルト云フ有様デアリマス、而モ其間ニハ面白カラヌ情弊ガ醸サレテ居ルト云フ事實モ續出シテ居ルト云フコトハ、政府ノ御承知ノ通りデアリマス、此事ハ醫療ニ於ケル藥劑應用ノ

重要性ヲ考ヘネバナラヌノハ勿論デアリマスルガ、此藥劑ノ業務ヲ以テ立ッテ居ル藥劑師ノ生活資財トシテ、當然受クベキ調劑料ガ、斯ノ如ク悉ク醫師ノ手ニ收メラレテ居ルト云フコトハ、抑、經濟分配ノ上ニ大ナル矛盾撞著ガアルノデアリマス、實ニ重大ナル社會問題デアルト私ハ思フノデアリマス、サウシテ此事ハ今日狭小ナ一部

分ニ行ハレテ居ル健康保險デアッテ此狀態デアル、今度ノヤウナ國民健康保險ト云フ大々的ナ施設ニ於テ、是ガ願ミラレズニ此儘ノ狀態デ進シテ行クナラバ、藥劑師ノ業務ハ全ク死滅スル外ハナイト思ヒマスルガ、此點政府ハ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ、現狀ノ儘デ差支ナイトシテ此儘デ進シテ行カレル積リデアリマスカ、他ニ何か此間ニ救濟緩和ノ方法等ヲ考ヘテ居ラレマスカ、政府ノ御方針ヲ承リタイト存ジマス

○進藤政府委員 藥劑師ト醫師トノ關係ノコトデアリマスガ、只今ノ御質問ノ醫藥制度ニ付テ現狀デ宜イカ、如何ナル對策ヲ持ツカト云フ御話デアリマスガ、是ハ私共ノ保險當局トシテ御答スベキコトデナイトデアリマスガ、先達テモ大臣カラ仰シヤイマ

シタヤウニ、醫藥制度調査會ヲ設ケテ調査サレ、其方デ是等ニ對スル對策ハ決定セラレベキコトト考ヘマス、私共ノ保險ノ方ト致シマシテハ、何處マデモ今日ノ現狀ヲ破壊シ、又ハ急激ナ變化ヲ與ヘルト云フコトハシナイ方宜イノヂヤナイカト思フテ居リマス、ト申シマスルノハ、只今仰セノ如ク日本デハ醫藥分業ガ行ハレテ居ナイト云フコトハ、ソレガ日本國民ノ風俗習慣ニ合フテ居ルカラ、サウナツテ居ルノデナイカ、少クトモ過去ハサウデアツタ、ヤハリ醫者ニ掛ルト同時ニ藥ヲ買フト云フノガ便宜ダト云フノデ、ソレガ行ハレテ居ル、ソレガ現在ノ事實デアリマスカラ、ソレヲ此國民健康保險法ヲ作リマスル爲ニ、急ニ現在行ハレテ居ル習慣ヲ變更シテ、診療ハ醫者ニ行ク、藥ハ藥劑師ニ行クト云フ風ニ分ケルト云フヤウニスルノハ、其時宜ヲ得テ居ナイ、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、此健康保險法ノ實施ニ付キマシテハ、私共現狀ヲ基礎ニシテヤツテ居リマシテ、將來改メラルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、他ノ方デ研究シテ呉レルト考ヘテ居リマス

的ノ保健設備マデ御計畫ニナツテ提案サレタニ拘リマセズ、之ニ關係ノ深い藥事衛生ト云フ方面ノコトヲ輕視セラレテ居ル傾キガアリマス、隨テ藥事衛生上ノ統制ヲ取締ハ勿論、本法ニ於ケル藥劑ノ給付等ノコトガ完全ニ行ハレナイ結果ニナルノデハナイカト云フコトヲ、深ク私ハ憂ヘテ居ル者デアリマス、又政府デハ藥事問題ヲ、單ナル醫療ト云フコトニ附隨シテ狭小ナ範圍ノ問題ノヤウニ考ヘラレテ居ルノデハナイカ、之ニハ一ツ十分ナル關心ヲ持ツテ戴キタイト思フノデアリマス、ナゼ關心ヲ持ツテ戴キタイカト申シマスルト、私ハ昭和十年ノ統計シカ持ツテ居リマセヌガ、此昭和十年ノ藥品ノ統計ニ依リテ見マスルト、工業藥品ガ二億八千九百萬圓アリマス、醫藥品ガ四千萬圓アリマス、賣藥ガ八千九百萬圓アリマス、賣藥類似品ガ五千三百萬圓アリマス、之ニ輸入ラシテ居ル所ノ藥品、藥劑、化學藥品等ヲ加ヘマシタナラバ、五億數千萬圓アリマス、昭和十二年度ハ又相當多クナツテ居ルト思フガ、斯様ニ五億數千萬圓ヲ下ラヌ所ノ生産、取引ガ行ハレテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ見マシテモ藥業ト云フモノガ、國家經濟ノ上ニ如何ニ重大ナ地位關係ガアルカガ分ルノデアリマス、實ニ國家産業ノ見

地カラシテモ大イニ留意シ、最モ重要視サレナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、又其業態ノ方カラシマシテモ、藥劑師アリ、藥種商アリ、製藥業者、賣藥業者ガアル、其他毒物劇物ノ取締、阿片、麻藥ニ關スル事項等ガアリ、更ニ原料ノ生産方面ヨリ、製藥ノ獎勵、研究、發明、發見、其他種々ナル方面ニ關聯シテ、頗ル廣汎ナ領域ヲ持ツテ居ルノデアリマス、而モ是等ノ問題ハ悉ク國民ノ保健衛生ト云フコトニ直接至大ノ關係ヲ有スルコトデ、隨テ藥事衛生ニ關スル行政ハ、茲ニ是非トモ一貫シテ統一サレタ制度ノ下ニ指導サレ、開發サレテ行カネバナリマセヌ、此必要ヲ私ハ痛感スル者デアリマス、殊ニ斯様ナ國民健康施設ニ一大擴充ヲ圖ラントスルニ當リマシテハ、今後ノ藥事行政ハ益々多端ナル將來ヲ想像サレマスルシ、愈々以テ其必要ヲ痛感スル者デアリマス、然ルニ是マデ藥事ニ關シテハ左程ニ理解セラレズ、區々ナル取締トナツテ殆ド顧ラレテ居ナイ、其結果彼此ト支障ガ起リマシテ、當業者モ少カラズ迷ツテ居ル實情デアリマス、特ニ私ガ憂ヲ抱イテ居リマスルコトハ、今日既ニ多數ノ負傷者ヲ出シテ居ルコトデアリマス、更ニ戰機ハ熱シマシテ、今日ハ愈々長期戰ニ入りマシタ、今後尙ホ幾

多ノ犠牲者ヲ覺悟致サナケレバナリマセヌガ、之ニ要スル醫藥品ノ需給關係ハ、果シテ如何ナル狀態デアリマスルカ、果シテ圓滿滑ニ行ハレテ居リマセウカ、之ヲ御調査ニナツテ居ルカ、或ハ之ニ對スル政府ノ御用意ハ如何デアルカ、私ハ此點大イニ寒心ニ堪ヘヌ者デアリマス、此問題ハ私ハ陸軍大臣ニ御尋シタイノデアリマスガ、陸軍大臣モ御見エニナツテ居マセズ、又厚生大臣モ御見エニナツテ居ラレマセヌノデ、其點遺憾ニ思フ者デアリマス、故ニ此點ニ付テハ後デ一寸御伺サセテ貰ヒタイノデアリマスガ、斯様ニ考ヘテ參リマスル時ニ、此場合如何ナル方面カラ見マシテモ、藥事衛生ニ關シテハ少クトモ一局課ヲ設置シテ、是ガ行政ヲ統一シテ、大イニ指導シ啓發ヲ圖ラナケレバナラヌト思ヒマス、而モ一昨年第七十議會ニ於テ本案ガ提出セラレマシタ際ニ、吾々民政黨ノ政務調査會デアリマシタカ、其當時ノ企畫院當局カラハ、今申ス藥事行政ニ關シテハ管ニ醫療藥品ト云フノミデナク、廣ク國家産業ト云フ見地ヨリ一局課ヲ設置シテ、藥業ノ統制開發ヲ圖リタイト思ウテ居ルト云フ御話ヲ承ツテ、大イニ喜ンデ居ツタノデアリマスルガ、其後發表サレマシタ官制ヲ見マシテモ、分課規程ヲ見マシテ

モ、少シモ其コトガ實現セラレテ居ラスノデアリマス、此點現政府ニ於カレマシテハ如何ナル御方針ヲ持ツテ居リマスカ、斯ノ如キ重大ナル機關デアリマスルガ故ニ、直チニ一局ヲ新設シテ、サウシテ統制シ開發發展サセルト云フ御意見ガアルカドウカ、是ハ刻下ノ急務ト思ヒマスルガ故ニ茲ニ御伺ヒ致シマス、先程申シマシタ通り、此點ニ關シテハ厚生大臣、醫療藥品ノ需給關係等ノ吾吾ノ心配スルコトニ付テハ軍部大臣ニ御伺フシタイノデアリマスルガ、大臣ガ見エマセヌノデ一應茲ニ御伺シテ置ク次第デアリマス

○工藤政府委員 御話ノ藥事行政單獨ダケデハ、其目的ヲ達スルコトガ出來マセヌカラ、隨テ來ル四月ヨリ醫藥ニ關スル制度、是ハ恐ラクハ根本ノ問題ニマデ觸レルダラウト思ヒマスガ、此制度ノ調査會ヲ設ケマシテ、松田委員ノ仰セラレルヤウナ點ニ付テ十分ノラ檢討シテ、適當ナル方策ヲ確立シ、且ツ實行シタイト云フ決心ヲ持ツ者デアリマス、殊ニ厚生省ハ是マデ各省ニ分散セラレテ居リマシタ機關ヲ統制シタノデアリマスルカラ、一貫セル指導精神ヲ以テ、此醫事行政並ニ藥事行政ノ方ヘ向フコト相成ルノデアリマス、詳細ノコトハ無論調査會デ問題ニナリマセ

ウガ、尙更左様ナ方面ニ對スル厚生大臣トシテノ御意見ハ、何レ其機會モアリマセウケレドモ、熱心ナル松田君ノ此方面ニ關スル御意思ヲ拜聽致シマシテ、私ハ此程度ヲ以テ今日ハ御答申シテ置キマス、ソレカラ松田君カラ御話ガアツタ健康保險組合ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、單ニ醫療方面ニ様々ナル設備費ヲ掛ケルト云フコトハ、是ハ負擔ニ堪ヘヌデアラウト思フ、豫防方面ニカヲ入レナケレバナラヌト云フ先刻御話モアリマシタガ、此保健施設ヲ完成シ、且ツ有效ナル結果ヲ收メル爲ニハ、無論此豫防ニ關スル方面ニモ相當ナル施設ヲシタイ、但シ初年デアリマスルカラ十分行ケルカドウカ知ラヌケレドモ、是亦豫防施設ト相俟ツテ完成シタイト云フソレトノ考ヲ持ツテ居リ、又若干實施スル計畫モアリマス、尙又詳細ニ互ツテノ御希望ガアリマスレバ、豫防局長カラ大體タケデモ御答ヲ致スコトニ致シマス——ソレデハ他ノ機會ニ於テ申サウデスカラ……

○松田委員 只今ノ御答デハ豫防ト云フコトニ重キヲ置イテ、サウシテ健康ノ増進ヲ計リタイト云フコトデアリマス  
モウ一ツ私ハ精神方面ニ付テ御伺シタイ、現在我國ハ有史以來未曾有ノ大戦ヲシテ居

リマス、殊ニ立體化セル現在ノ戰爭ニ於テハ、國力ノ總動員ヲ完備シテ初メテ最後ノ勝利ヲ得ルモノデアラウト信ズルノデアリマス、即チ國民體位ノ向上、健康ノ増進、精神ノ練磨ヲ大イニスベキモノデアルト思フ、ソコデ國力總動員ノ第一歩ト致シマシテ、早起早寢ヲ獎勵シタイ、全國ノ老若男女ガ一齊ニ朝起ラシ、日ノ出ノ時刻ニ宮城ニ向ツテ遙拜シ、サウシテ「ラデオ」體操ヲ厲行致シマシタナラバ、即チ茲ニ健康ノ増進、體位ノ向上、精神ノ練磨ガ出來ル、何モ一箇所ニ集マル必要ハアリマセヌ、自分ノ屋敷デモ、山ニ出テ居ル者モ、畑ヤ野ニ居ル人モ、道往ク人モ、汽車ノ中、船ノ中デモ餘地ノアル所デハ必ズ之ヲ行フ、全國民舉ツテ此「ラデオ」體操ヲ實行スルナラバ、必ズ精神ノ練磨、體位ノ向上ヲ爲シ得ルコトガ出來ルダラウト思フ、今日此大戰爭ニ於テ從軍ヲシテ居ル所ノ兵士ハドウデアリマスカ、大部分ハ農漁山村カラ出テ居ル、是等ハドウデアリマスカ、朝ハ日ノ出ナイ中ニ月ヲ踏ンデ山ニ行ツテ居リマス、都會ノ人ノヤウニ月ヲ踏ンデ夜ノ十二時過ギテ歸ルノトハ違ヒマス、ソコニ即チ身體ノ健康サガ出來テ居ル、甲種合格ニナツテ、此歴史的ノ大戰爭ニ參加スル所ノ動因ニナツテ居ル、是モ

即チ早起ノ御蔭デアリマス、早寢ノ御蔭デアリマス、早起早寢ヲシテサウシテ野ニ於テ、海ニ於テ、山ニ於テ、獻身ニ働イテコソ、サウ云フ頑丈ナ體格ニナツテ、サウシテ此名譽ノ戰線ニ立ツコトガ出來ル、感激ニ堪ヘナイ次第デアル、都會ノヤウニ午前一時頃オ月様ヲ踏ンデ歸ルノト、朝月ヲ踏ンデ働ニ出掛ケルノト、ソレダケノ違ガアルノデアリマス、朝起ノ訓練ヲシテ、日ノ出ニ宮城ヲ拜シテ「ラデオ」體操ヲ全國民ガ行フト云フコトハ即チ精神的デアリ、又金ガ掛リマセヌ、老若男女共ニ出來得ル所ニ於テセラレルト云フコトガ、洵ニ結構デアリマス、私ノヤウニ身體ノ弱カッタ人間デモ「ラデオ」體操ノ御蔭デ、斯ウ云フヤウニ元氣ニナリマシタ、好イ御手本デアルト私ハサウ言ヒタイ、國民精神總動員ニ於テ、サウ云フコトノ御計畫ガアルカナイカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○工藤政府委員 國民精神總動員方面ニ於テノ計畫ハマダ十分承知シテ居リマセヌガ、マア朝起スルトカ何トカ云フノモ一ツノ方法デアリマセウ、ソレハ結構ナコトデス、荷モ體育ヲ増進シテ健康ヲ保持スル方法ニ付テハ、有ユル方面ニ互ツテ調査ヲ致シマシテ、漸次緩急ニ應ジテ實施スル考デ



居リマス、現ニ體力局ニ於テハ斯様ナコトヲ調査スル機關モ設ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、朝起ト云フアナタノ御考ハ、一ツノ方法デハナカラウカト思ヒマスガ、有ユル方面ニ向ッテサウ云フ點ヲ注意スルノデアリマス、隨テ健康ノ増進ニ伴ウテ、精神力ノ旺盛ニナルコトハ無論争ハレナイコトデアリマスルカラ、サウ云フ方面ニ向ッテモ漸次適當ナル施設ヲ行フ決心ヲ以テ、本省ヲ設立セラレテ居ルノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○松田委員 私ノ質問ハ大體是デ終リマシタガ大臣ニマダ伺ヒタイト思ヒマスカラ、保留サシテ戴キタイト思ヒマス

○添田委員長 承知シマシタ

○松田委員 是デ私ノ質問ハ終リマス

○添田委員長 ソレデハ之ヲ以テ休憩致シマス、午後一時半カラ開會致シマス

零時三分休憩

午後一時三十八分開議

○添田委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、午前中デ松田君ノ御質問ガ一段落ヲ告ゲマシタ——西川貞一君

○西川委員 私共ハ本案ノ成立ノ一日モ早カラシコトヲ熱望シテ居リマスガ故ニ、極メテ不満足ナ案デアリマシテモ、成ベク速

ニ成立センコトヲ希望ハシテ居リマス、併シ此案ノ持ッテ居リマスル幾多ノ矛盾、且又極メテ不徹底姑息デアリマスル點ハ、此委員會ニ於キマシテ十分明カニシテ置キマシテ、將來ヨリ合理的ナ、ヨリ良キ制度ヲ獲得スル一ツノ基點ニシナクテハナラヌト思フノデアリマス、隨テ本案ノ色々ノ矛盾ニ關シマシテ私ハ少シ質問ヲ致シマスガ、サウ云フ意圖ノ下ニ質問スルノデアリマスカラ、ドウカ當局ハ率直ナ氣持デ、自分デ矛盾ト御認メニナル所ハ、矛盾デアルト云フコトヲ認メテ貫ヒタイ、サウスレバ將來ニ改善ノ機會ヲ擲ムコトガ出來ルノデアリマス、其點特ニ當局ニ豫メ要望シテ置キマス

今朝御配付ニナリマシタ資料ニ依リマシテ、我國壯丁ノ體格ノ漸次低下シツ、アル事實ガ明ニ示サレテ居ルノデアリマスガ、此事ハ現在ノ時局ニ照シ極メテ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、此壯丁ノ體格ノ低下シテ居リマスル事實、特ニ農村青少年ノ體位ガ甚シク近年低下シマシタ事實、當局ハ其原因ガ奈邊ニアルト考ヘテ居ラレ

ルカト云フコトガ、將來ノ對策ノ上ニ非常ニ重大關係ヲ持チ、又私ハ此法案ノ根本精神ニ重大ナル關係ヲ持ツモノト思フノデアリマスガ、此點ニ對スル當局ノ御見解ヲ先

ズ御伺シタイト思ヒマス

○林政府委員 私カラ一應御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、壯丁検査ノ結果、國民體位ノ低下ノ狀況ニアリマスルコトハ、衛生當局トシマシテモ實ハ非常ニ心配ヲ致シテ居ル次第デアリマシテ、此度厚生省ノ生レマ

スルヤ、先般先ノ議會ニ於ケル本法案ノ議事ニ當リマシテ、各位ノ意見ノアリマスル所ニ依ッテ、新シク醫藥制度ノ調査委員會ヲ設ケテ、基本的ナ我が國民ノ診療ニ關スル方針ヲ立テタイト、極力之ガ準備ヲ急イデ居ル次第デアリマシテ、他面新シク出來マス公衆衛生ノ主要目的ガ、只今申上ゲマス國民體位ノ向上ニ關スル基本的調査ト云フコトニナッテ居リマスルノデ、是等ガ相關聯シマシテ、之ガ防止ノ方法ヲ立テ得ラレルコトト信ジテ居リマス

○西川委員 私ノ質問シマシタコトト御答ガ全然喰違フノデアリマスガ、特ニ農村青少年ノ體位ノ低下ヲ、當局ハドウ云フ原因デ低下シテ居ルト御觀察ニナッテ居ルカ、此點デアリマス

○林政府委員 只今此處デ是等ノ原因ノ個々ヲ申上ゲルコトハ困難ダト思ヒマス、御承知ノ如ク現在ノ農村青少年ニ對シマスル各般ノ施設ガ、其原因ヲナシテ居ルモノデ

アリマシテ、一二ノ原因ヲ特ニ取上ゲルコトハ困難ダト考ヘテ居リマス、生活改善ノ問題ニ致シマシテモ、榮養ノ問題ニ致シマシテモ、現在農村ニ流行シテ居リマスル寄生蟲ノ狀態カラ申シマシテモ、是等諸般ノコトガ原因ヲナシテ體位低下ノ狀況ニ相成ッタモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 御答ノ趣ハ一應諒承スルノデアリマスガ、色々ノ原因ハアリマセウガ、併シ是ガ大體中心のナ主タル原因デアルト云フコトハ、當局ニ於テモ御氣付キニナラ

ナクテハナラヌノデアルト私ハ思フデアリマス、私ノ問ハントスル所ハ農村青少年、特ニ農民一般ノ健康狀態ガ近年甚シク悪クナリマシタ、其原因ハ色々ナ事情モアリマ

セウガ、ソレ等ノ多クノ事情ハ從來モ其通りデアッテ、近年特ニソレガ悪クナッタト見ルベキ原因ガナイ、唯近年ニ於ケル我國ノ工業ノ勃興ガ、農村ヨリ多數ノ労働者ヲ工場ニ吸收シテ、而モソレ等ガ多ク病氣ニ胃

サレテ再ビ村ニ歸ッテ行ク、村ニ歸ッテハ行クケレドモ、農村ニハソレ等ノ歸リ來ッテ患者ヲ診療スルニ十分ナル醫療施設ガナイ、當局ノ御示シニナッテ居リマスル統計ニ於テモ、農村ニ於ケル醫療施設ハ漸年後退ノ狀況ニアル、一方病氣ヲスル機會ハ非常ニ

多クナリ、病菌ハ非常ニ多數持込マレルニ  
拘ラズ、是等診療ノ施設ハ寧ロ農村ニ於テ  
ハ後退ノ状態ニアルト云フコトガ、當局ノ  
御示シニナツテ居ル此統計ニ現ハレテ居ル、  
此統計ニ現ハレテ居ル具體的ナ事實ガ甚シ  
ク彼等ノ健康ヲ害シ、體位低下ノ原因ヲ爲  
シテ居ルモノデアルト私ハ考ヘル、當局ハ  
之ニ對シテドウ御考ニナルカ

○林政府委員 只今御述ベニナリマシタ點

ハ確ニ大キナ原因ノ一ツダト存ジテ居リマ  
ス、青少年ノ問題モ左様デアリマスルガ、既  
ニ成年ニ達シタ方々ニシテ、工場勞働ノ後十  
分ノ治療ヲ經ズシテ田舎ニ歸ッテ參リマシ  
テ、田舎ガ之ニ對スル十分ノ醫療ヲ爲シ得  
ナイト云フコトガ、本人ノミナラズ農村ノ  
疲弊ノ一因ニモナツテ居ル、是ハ事實デアリ  
マス、隨ヒマシテ今日農村ノ青少年ノミ  
ナラズ、農村全體ガ左様ナ點デ苦ンデ居ル  
點、又ソレガ一ツノ原因ニナツテ、體位ノ向  
上ヲ爲シ得ナイ状態デアルト云フコトモ、  
當局モ亦十分之ヲ認メテ居ル次第デアリマ  
ス

○西川委員 更ニ支那事變ト云フモノガ又此

問題ニ對シテ一大拍車ヲ掛ケルモノデアルト  
私ハ考ヘル、即チ戰爭ノ後ニハ必ズ悪性ノ流  
行病ガ付イテ廻ルノデアリマス、特ニ今回應召

シテ居リマスル兵士ノ多クハ農村カラ出テ居リ、  
農村ニ凱戦後ニ歸ッテ來ル、又傷病等モ應召中  
ニ發生ラシタモノデナク、事變ノ戰闘中ニ  
色々ノ無理ラシテ居リマスカラ、歸テカラ  
ソレ等ノ病氣ガ出テ來ルト云フ場合ガ非常  
ニ澤山アルト云フコトハ、當然豫想シ得ラ  
レルコトデアリマス、其他色々此事變ガ將  
來國民ノ健康ニ惡影響ヲ與ヘルト云フコト  
ハ、色々ノ方面カラ考ヘ得ラレルノデアリ  
マス、隨テ只今ニ於テスラモ農村ノ醫療施  
設ノ不完備デアアルガ爲ニ、甚シク壯丁ノ體  
位ヲ低下セシメ、一般國民ノ健康状態ヲ不  
良ナラシメテ居ル此事實ニ、此支那事變ト  
云フモノノ結果ハ更ニ此傾向ニ拍車ヲ掛ケ  
テ居ル、ソコニ洵ニ憂慮スベキ事態ガ生ジ  
來ルモノデアルト、只今ノ御答辯ニ依ッテ結  
論セザルヲ得ナイノデアリマス、此點モ當  
然當局ハ御考ニナツテ居ルコトデアラウト  
思フノデアリマス、ソコデ當局ハソレ等ニ  
對處スル農村ノ——農村ノミナラズ一般國  
民ノ醫療施設ノ充實ト云フコトニ付テ、此  
國民健康保險組合法以外ニ於テ考ヘラレテ  
居ルカドウカ、如何ナルモノヲ施設シヨウ  
トシテ居ラレルカヲ御伺シタイノデアリマ  
ス

○林政府委員 第一段ノ問題ト致シマシテ

ハ、昨年來既ニ協賛モ經テ施行シテ居リマ  
スル健康保險所ノ問題ガアリマスガ、此健  
康保險所ハ御承知ノ如ク十二三万人ノ人口ヲ  
擁スル所ヲ區域トシテ、一箇所宛設ケル豫  
定デアリマスカラ、全國年々之ヲ増設シテ  
參リマスレバ、約七百五十程度ノ保險所ガ  
設置セラレテ之ニ依ッテ一般健康ノ保持並  
ニ増進ニ對スル指導ヲ致シタイト考ヘテ居  
リマス、又他面是モ昨年ヨリ始メ本年モ豫  
算ニ計上致シテアルノデアリマスガ、無醫  
村ニ對スル診療所設置ヲ致シテ居ルノデア  
リマス、是亦全國無醫村中、特ニ開業醫ノ  
所マデ距離ノ甚ダ遠イ所ヲ選ビマシテ、全  
國ニ作ル豫定ラシテ居リマス、之ニ依ッテ現  
在其計畫ガ實施完了致シマスレバ、大體ニ  
於テドノ地方ニ於テモ一應診療機關ヲ持チ  
得ルコトニナルドラウト考ヘテ居リマス

○西川委員 無醫村ニ對シマスル診療所ノ

設置ハ、極メテ此問題ノ解決ニ適當ナル方  
策ト考ヘルノデアリマスガ、併シ形式ノ上  
デハ町村ノ中ニ一人カ二人カノ醫師ハアル  
コトニナツテ居リマシテモ、其町村ノ區域ノ  
廣サトカ、或ハ地理地勢ノ關係トカ、交通  
上ノ諸關係トカ云フコトニ照シ合セマシテ、  
醫者ガアル村デモ實ハ無醫村以上ニ診療ニ  
困難シテ居ル所ガ多クアルト思フノデアリ

マス、更ニ又開業醫ハアルケレドモ、既ニ  
甚シク老齡デアッテ活動ノ氣力ヲ缺イテ居  
ルノデ、實際的ニ診療ノ活動ガ困難デア  
トカ、又困難デハナクテモ所謂甚シク大儀  
デアアル、ダカラ呼びニ行ッテモ中々來テ貫ヘ  
ナイト云フヤウナ状態ノ下ニ、形式上醫者  
ハアルコトニナツテ居ルケレドモ、非常ニ診  
療ニ困ッテ、實際ニハ無醫村ニナツテ居ルヤ  
ウナ所ガ、農村ニハ甚シク多イノデアリマ  
スガ、當局ノ色々ノ御調査等ニモ無醫村ノ  
御調査ハアルヤウデアリマスガ、サウ云フ  
内部ニ入ッテノ關係ニ付テノ點ガ果シテ調査  
研究セラレテ居ラレルヤ否ヤ疑問トスル所  
デアリマス、ソレ等ニ付テ調査研究ヲサレ  
且ツ施設ヲサレツ、アルカドウカ、單ニ無  
醫村ト云フ形式的ナ條項ニ囚ハレズニ、一  
般的ニ診療ヲ行フコトガ出來ルヤウニ施設  
ヲサレツ、アルカドウカ、御聽キシタイ  
ノデアリマス

○林政府委員 只今申上ゲマシタノハ、主

トシテ無醫村、村ヲ單位トシテノ無醫ノ問  
題デアリマスガ、大體ニ於テ町村役場ト云  
フモノヲ中心ニシテ開業醫ノ所マデ一里以  
上ノ距離ヲ有スル所ニ置キタイ、斯ウ云フ  
ヤウナ點カラ配置ヲ考ヘマシテ、只今申サ  
レルヤウナ不便ヲ除キタイト思ッテ居ル譯

○西川委員 無醫村ニ對シマスル診療所ノ

設置ハ、極メテ此問題ノ解決ニ適當ナル方  
策ト考ヘルノデアリマスガ、併シ形式ノ上  
デハ町村ノ中ニ一人カ二人カノ醫師ハアル  
コトニナツテ居リマシテモ、其町村ノ區域ノ  
廣サトカ、或ハ地理地勢ノ關係トカ、交通  
上ノ諸關係トカ云フコトニ照シ合セマシテ、  
醫者ガアル村デモ實ハ無醫村以上ニ診療ニ  
困難シテ居ル所ガ多クアルト思フノデアリ

デアリマス

○西川委員 次ニ違フ問題デアリマスガ、國民ノ醫療費ニ關スル調査デアリマス、御示ヲ願ヒマシタ此資料ニ依リマシテモ、大體ニ於テ現在ノ醫療費其モノハ其者ノ收入ニ比例致シマシテ、收入ノ少イ者ハ醫療費

モ少イ、收入ガ多クナルニ從テ醫療費モ漸次増加シテ居ルヤウナ状態ニナツテ居ルヤウニ、今朝戴キマシタ此資料ノ上ニモハツキリ統計ガ出テ居リマス、隨テ農村居住者ノ醫療費ニ關シテノミ調ベテ見マシテモ、

此處ニハ小作農、自作、自作ト、斯ウ擧ゲテアルノデアリマスガ、是ハ全國各府縣ノ平均數字デアラウト思フノデアリマス、更ニ全國各府縣別ニ之ヲ見マシタナラバ、

凡ソ其各府縣ノ農民ノ經濟状態ニ比例致シマシテ、甚シク變化ガアルト思フノデアリマスガ、其府縣別ノ醫療費ニ關シテ、勿論調査サレテ居ルコトト思ヒマス、其中デ一

番多イ府縣ハ何處デアツテ幾ラデアアルカ、少イ府縣ハ何處デアツテ幾ラデアアルカヲ御示願ヘレバ、御示願ヒタイト思ヒマス

○清水政府委員 私カラ御答致シマス、只今西川サンガ御話ニナリマシタ自作農、小作農等ノ醫療費ノ數字ニ付キマシテハ、是ハ全國ヲ通ジマシテ數百戸ノ戸數ヲ取りマ

シテ調べタモノデアリマシテ、ドノ府縣ガ幾ラニナツテ居ルト云フ數字ハ出テ居リマセヌデ、平均ダケデゴザイマス、是ハ吾々ノ方デハ分リ兼ネル次第デアリマス

○西川委員 私ハ山口縣下ノ殆ド全部ノ町村ニ互リマシテ、ソレ等ノ經濟調査ヲ致シマシタ内容ヲ詳細ニ承知シテ居ルノデアリマスガ、山口縣ニ於キマシテハ大體一世帶當リ四十圓ノ醫療費ヲ要シテ居ルノデアリマス、是ハモウ殆ドドノ村ニ行ツテモ違ハナイノデアリマス、其山口縣ノ事例ト此調査

ニ現レテ居リマスル所ノ數字ト比較致シマスト、非常ニ此調査ノ方ガ少クナツテ居

リマス、殆ド半額ニ近イ位ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ見マシテ私ハ此醫療費ハ經濟力ガ乏シイカラ少ク拂フ能力シカナイ、

醫療費ヲ餘計拂フ能力サヘアルナラバ、マダマダ醫療費ハ嵩ムモノト見ナクテハナラスト思フノデアリマス、是ハ此組合ノ運用上非常ニ重大ナコトデアリマスガ、詰リ現

在此統計ニ現レテ居リマス醫療費ハ、國民ノ收入ガ乏シイ爲ニ病氣ヲシテ醫者ニ行ケナイ、治療ヲモット受ケタイケレドモ、經濟

力ノ制約ヲ受ケテ診療ヲ受ケルコトガ出來ナイ、詰リ此處ニ現レテ居ル數字ハ醫療ニ困難ヲ感ジテ居ル、診療ニ困難ヲ感ジテ居

ルト云フ事實ノ反映デアツテ、是ダケノ醫療費ヲヤリ繰ラスルト云フ方法ヲ付ケタダケデハ、先刻來申シテ居リマス診療ノ普及徹底ニ依ツテ、國民ノ健康状態ヲ改善スルト云

フコトニハ役立タヌト思フノデアリマス、現在支拂フテ居ル醫療費ハ、醫療費ヲ拂フ力ガナイト云フ經濟的事情ノ下ニ制約ヲナレテ居ル數字デアアルカラ、其數字ダケヲ調

達スル組織ヲ考ヘタノデハ、此法律ノ目的デアアル所ノ國民ノ健康ヲ改善スルト云フコトニハ、役ニ立タナイノデハナイカト考ヘ

見ヲ伺ヒタイ

○清水政府委員 御答致シマスガ、只今申シマシタ醫療費ノ數字ニ付キマシテハ、實ハ是ハ各種ノ階級ノ者ニ就キマシテ、數戸

宛各府縣デ例ヲ取りマシテ、サウシテ其平均ラ致シタ結果ニ付テ、醫療費ガ一戸當リ一年二十圓何ガシ、斯ウ云フ數字ガ出テ居

リマス、隨ヒマシテ是ハ極ク貧困ナ階級ダケデナクシテ、色々ノ階級ヲ平均シテ居リマスノデ、或ル程度マデ此數字ハ將來保險

法ガ施行ニナリマシテモ、信憑出來ル數字ニナリハシナイカト云フコトモ考ヘテ居リ

マス、ソレカラ尙ホ國民健康保險組合ニ似タヤウナ組合、見本ト云フヤウナモノヲ、

從來社會局デゴザイマシタカ指導致シマシテ地方ニ作ラセマシタ、ソレノ成績ガ或ル程度分ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデ見マシテモ醫療費ノ數字ガ、相當裕福ナ所ニ居

リマス者ニ付テモ、一年大體二十圓位ト云フヤウナ數字モアリマスノデ、此組合ガ出來シテカラモ、或ル程度此ヤウナ數字デモヤレルノデハナイカト云フコトガ考ヘラ

レマス

○西川委員 是ハ私共ノ見解ト甚シク相違スルノデアリマスケレドモ、此上諍々シク申上ゲルコトモ無用ダト思ヒマスカラ、一應其點ハ當局ノ御答辯ヲ諒トスルコトニ致シマス

次ニ御同致シタイノハ、健康保險組合法ニ依ツテ、此組合ガ出來レバ現在ノ醫療費ガ

安クナル御見込ガアルノデアアルカ、詰リ此組合ガ出來レバ、ドウ云フ事情ニ依ツテ從來ヨリモ醫療費ハ安ク出來ルト御考デアリマ

スカ

○清水政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、實ハ國民健康保險組合ハ醫療費ノ負擔ヲ分散致シマシテ、樂ニ負擔サセヨウト云フコトガ、一ツノ目的デアリマス、醫療

費ヲ安クシヨウト云フノハ實ハ目的トシテハ餘リ考ヘテ居ラヌ次第デアリマス、但シ

實際問題ト致シマス、自然醫療費ガ或ル程度安クナリ得ルトハ考ヘテ居リマス、ソレハナゼカト申シマス、現ニ御承知ノ通り農村等ニ於キマシテハ、醫療費ノ掛倒レト申シマスカ未拂ト申シマスカ、サウ云フモノガ相當ゴザイマス、ソレガ此國民健康保險組合ガ出來マス、確實ニ組合カラ其契約シマシタ醫者ノ方ヘ醫療費ガ拂ハレマスノデ、其掛倒レノ危険ト云フモノヲ見ル必要ガアリマセヌ、其點ヲ考ヘテ見マシテモ、或ル程度安クナツテ然ルベキモノト考ヘテ居リマス

○西川委員 私共ノ豫想シマシタ通り、此組合ニ依リマシテハ醫療費ノ負擔ヲ分散スルト云フコトガ法ノ目的ノ主眼デアツテ、唯其附隨ノナ一ツノ作用ニ依ツテ、今マデ掛倒レガ相當アツタノガ、其掛倒レガ無クナルカラ、醫療費ガ相當低下スル可能性ガアル、只今ノ御答辯ハ以上ノ通りデアツタと思ヒマス、サウスルト掛倒レガアツタノガ無クナルカラ、醫療費ガ低下スルト云フ範圍ハ、今マデノ掛倒レノ範圍ト見ナクチャナラス、サウスルト今マデノ醫療費ノ掛倒レト云フモノガ凡ソドレ程アツタト當局ハ調査サレテ居リマスカ、私ガ山口縣ノ農村ニ於キマシテ仔細ニ調査シマシタ醫療費ノ掛倒

レハ、多イ所デ大體平均致シマシテ三割デアリマシテ、三割以内ト私ハ見テ居ルノデアリマス、當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○清水政府委員 只今ノ御話ノ掛倒レデアリマスガ、是ハ實ハ正確ナ數字ヲ持合セテ居リマセヌ、是ハ從來度々調査致サウト思ヒマシタコトモアリマスガ、ドウモ是ハ個人的ノ收入ノ問題ニナリマシテ、正確ナ數字ハ出テ來ナイノデス、大體ノ見當トシマシテハ何處ハ何割位ノ掛倒レガアルトカ、處何ハ何割位ノ掛倒レガアルト云フヤウナ話ハアリマスガ、ドウモ此處デ何割位平均シテアルト云フコトヲ申上ゲルダケノ正確ナ數字ハゴザイマセヌ、ソレカラ尙ホ付加ヘテ申上ゲル譯デアリマスガ、醫療費ガ下ツテ來ルダラウト云フコトハ、大體其掛倒レガ無クナツテ確實ニナルト云フコトモゴザイマス、ソレカラ尙ホ影響トシテ考ヘラレマスのハ、從來醫者ニ掛ラナカタ者ガ、國民健康保險組合ガ出來ルト醫者ニ掛ルヤウニナル、隨テオ醫者サシノ一人當リ患者ガ殖エル、サウナリマス、結局其方面カラモ或ル程度安クナリ得ル可能性ガアルノデハナイカト云フコトモ、是ハ附帶的デアリマスガ考ヘラレマス

○西川委員 何レニシマシテモ此組合ニ依ツテ醫療費ノ輕減サレル割合ハ、極メテ狭イ範圍内デアルト、御答辯ニ依ツテ私共考ヘザルヲ得ナイ、少クモ三割以上ノ此組合ガ出來タ爲ニ醫療費ノ負擔ガ輕クナルトハ考ヘラナイノデアリマス、或ハ寧ロ此組合ガ出來マシタ爲ニ、今マデハ我慢ラシテ居ツタ、此位ノ腹痛ナラバ我慢ラシテ居ツタ者ガ、保險ニ入ツテ居ルノダカラ、行カナケレバ損ダト云フヤウナ氣持ガ起ツテ來マス爲ニ、漸次組合全體ノ支出致シマスル醫療費ノ金額ガ多クナツテ、或ハ實際ニ各組合員ガ負擔スル醫療費ノ負擔ハ、増加スルカモ知レナイト云フコトモ豫想サレルノデアリマス、彼此レ考ヘマシテ此組合ニ依ツテ醫療費ガ相當額輕減サレルデアラウト云フコトハ、私共豫想シ得ナイノデアリマス、然ルニ現在ノ國民、特ニ農民ガ最モ痛切ニ要望シテ居リマスルモノハ、醫療費ノ輕減其ノモノデアリマス、此國民健康保險組合法ニ對シマシテ、農村方面ガアレダケノ熱ラ上ゲマシタノハ、此制度ニ依ツテ醫療費ノ輕減ガ出來ルデアラウト云フコトヲ期待シタガ爲ニ外ナラナイ、若シ此組合ガ出來テモ、醫療費其モノハ在來ヨリ餘リ輕減ハ出來ナイノデアルト云フコトヲ農民ガ知リマシタナラバ、

甚シク失望スルデアラウト私共ハ考ヘザルヲ得ナイ、隨テ此組合ノ運用ニ依ツテ醫療費ノ輕減ガ出來ル可能性ガアルナラバ、此方法ヲ講ズルノ責任ガ政府ニハアルノデアリマス、醫療費ノ輕減其モノヲセナカッタナラバ、決シテ國民ハ満足シナイノミナラズ、「パン」ヲ求メテ石ヲ與ヘラレタヤウナ感じヲ持ツニ違ヒナイト思フ、ソコデ只今御答辯ニナリマシタコト以外ニ、政府トシテ積極的ニ國民ノ醫療費ヲ輕減スルコトニ對スル對策ヲ御持チニナツテ居ルカ否カ、此點ヲ御伺シタイ

○進藤政府委員 只今ノ御質問ノ醫療費ヲ輕減スルコトデゴザイマスルガ、是ハ實ハ難カシイ問題デアリマシテ、現在ノ醫療費ヲ何割安クセイト云フヤウナ契約ヲスレバ、ソレハ出來ルカモ知レマセヌ、ケレドモ安クスルト云フコトヨリモ、同時ニ醫療ノ内容ガ低下シナイヤウニ、是ガ又非常ニ大事ナコトデアリマシテ、安クスル爲ニ内容ガ惡クナツテハ困ルノデアリマス、此兩面ヲ考ヘマスルト、先ヅ安クスルト云フコトヲ第一ニシテ、内容ノ低下ヲ來スヤウナコトガアツテハナラナイト云フノデ、無理ラシナイデ先ヅ始メマシテ、其ヤツテ居ル中ニ結果ハ前ニ他ノ政府委員カラ申シマシタヤウニ、當

然醫療費ハ安クテモ醫者ガ成立ツヤウニナ  
ル可能性ガアルノデアリマスカラ、將來ノ  
理想トシテ、又見透シトシテハ安クナル方  
ヘ來ルト思ヒマスガ、此國民健康保險組合  
ヲ作テ直グ醫療費ヲ安クシヨウト云フヤ  
ウナ、人爲的ナ方策ハ執ラナイ方宜イ、  
斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレデハ醫療  
費ノ輕減ハ出來ナイノカト云フコトデアリ  
マスガ、ソレハ同ジ金ニシマシテモ、醫者  
ニ掛ツク時ニ一度ニ全額ヲ拂フノデハ負擔  
ニ堪ヘナイノデアリマスガ、此保險ノ方法  
ニ依リマスレバ、平生カラ保險料ヲ積立テ  
ルト云フコト、同時ニ國庫補助ガアルト云  
フコトニ依ッテ、其點ハ確カニ安クナル譯デ  
アリマスカラ、御説ノヤウニ醫療費ノ輕減  
ト云フ目的ヲモ無論達スルヤウニ考ヘ、併  
セテ醫療ノ内容ノ低下シナイヤウニト云  
フコトヲ期シテヤッテ參リタイト考ヘテ居  
ルノデアリマス

ハ先日モ銃後農村ノ實狀ノ調査ノ爲ニ、數  
縣ニ互リマシテ現地ノ調査ヲシタノデアリ  
マス、是ハ島根縣ノ事例デアリマスガ、島根  
縣ニ於ケル小作農ハ、大部分耕作反別ガ五  
反デアル、五反ノ田ヲ耕シテ居リマシテド  
ウ云フ經濟ガ成立ツテ來ルカト申シマス、  
二十五俵ノ收穫シカナイ、其中ノ六割ヲ小  
作料トシテ納付シナケレバナラス、サウス  
ルト四月マデノ飯米シカ米ノ收穫ガナイ、  
五月以後ハ養蠶ニ依ル所ノ收入ヲ以テ米ヲ  
買ウテ食ウテ行ク、詰リ米ヲ買ウテ食ウテ  
行クダケ、唯生キテ居ルダケノ收入シカ實  
際ナイノデス、是ハソソナコトデヤッテ行ケ  
ルノダラウカト、私共モ實ハ不可思議ニ思フ  
ケレドモ、實際ナイ、隨テ病氣ヲシタ時ニ  
ハドウスル、是ハ平素カラ積立テテ行クカ  
ハナイノデアリマス、唯病氣シタ時ニハ、  
背ニ腹ハ代ヘラレナイカラ、僅ニ持ッテ居ル  
家財道具一切ヲ搔キ入レテ借金スルトカ、或  
ハ少シ大キナ病氣ナラバ、娘ガ「カフエ」ニ  
働キニ行ッテ、三百圓カ五百圓カノ先借ヲス  
ルトカ、酌婦ニ賣ラレルトカ、斯ウ云フ狀  
態ニ在ルノデアリマス、是ハ私ガ極端ナコ  
トヲ言フノデアリマセス、現實正ニ其通  
リナンデアリマス、隨テ此醫療料金ノ負擔  
ヲ分散スルコトニ依ッテ彼等ノ經濟ガ樂ニ

ナルト云フコトハ、サウ云フ方面ノ一番困ッ  
テ居ル階級ニハ考ヘルコトハ出來ナイ、彼  
等ニハ最早分散サレテ居ル其醫療料デモ負  
擔スル力ハナイノデアリマス、此點ハモット  
深刻ニ考ヘテ戴キマセスト、折角此法律ハ  
作ッテ戴キマシテモ、其根本ノ深刻ナル事實  
ニ對スル御認識ガアツテ、是等ヲドウニカシ  
テ救ウテヤラナクテハナラヌト云フ當局ニ  
熱情ガナカッタラバ、此法律ハ效果ヲ擧ゲ  
ルコトハ出來マセス、隨テ此點ニ付テ先ツ  
私ハ御認識ヲ得テ置カナケレバナラス、隨  
テ醫療費ノ輕減ト云フコトガ何ヨリモ緊急  
ノ對策デアリマスルガ、ドウモ當局ノ態度  
ハ、從來ノ内務省衛生局中心ノ態度ハ、一  
ツノ「カテゴリー」ノ中ニ閉ヂ籠ッテ居ラレ  
ル、狭イ「カテゴリー」ノ中ニ閉ヂ籠ッテ方  
法ガナイノダ、方法ガナイノダト言ウテ居ラ  
レルガ、方法ハ寧ロ此「カテゴリー」ヲ破ル  
所ニアル、從來吾々ノ地方デモヤッテ居リマ  
スル共同施設ニ依ル醫療利用施設ニ依リマ  
シテ、別ニ醫療内容ノ低下モ見ズ、醫療費  
ノ輕減ガ出來テ居ルト云フ事實ハ——半額  
以下ニ輕減ガ出來テ居ルト云フ事實ハ、當  
局モ是ハ御認メニナラナクテハナラヌト私  
ハ思フ、現在、今朝戴キマシタ資料ノ「熊  
本縣八代郡金剛村産業組合ニ於ケル醫療

及保健ニ關スル事業概要」ノ中ヲ讀ンデ見  
マスルト、從來二萬圓ヲ要シテ居ツタ其村ノ  
醫療費ガ、一萬圓ニ輕減サレタ云フコトガ、  
當局御提出ノ資料ニ明ニ書イテアル、當局  
ハ此二萬圓ノ醫療費ガ一萬圓ニ輕減サレタ  
ト云フ此事實ハ、醫療内容ガ低下シタカラ  
デアルト御考ニナツテ居ラレルカ、醫療内容  
ハ從來ヨリモ低下セズ、寧ロ改善向上シテ、  
尙ホ醫療費ハ半減サレタト云フ厚生省ノ當  
局ガ御提出ニナツタ此資料ノ事實ヲ御認メ  
ニナルカドウカ

○清水政府委員 御答申上ゲマス、今朝オ  
配リシマシタ資料、金剛村ニ關スルモノ、  
是ハ農林省デ作リマシタ材料デゴザイマシ  
テ、農林省ノ方ニ於キマシテ、勿論間違ヒ  
タク此事實ヲ認メラレタモノトハ考ヘテ居  
リマス

○西川委員 ドウモ當局ノ御答辯ハ或ハ官  
廳ノ傳統的ナ精神カモ知レマセヌガ、農林  
省ノ方デ調ベタノデアアルカラト云ウテモ、  
厚生省ノ所管ノ委員會ニ厚生當局ガ御出シ  
ニナツタ其資料ニ對シテ、ドウモ農林省デ調  
ベタノダカラ本當デアルト思フト云フヤウ  
ナ、水臭イコトヲ言ハレルコトハ甚ダ私共  
ニハ變ニ感ゼラレルノデアリマス、オ役所  
ハ從來サウ云フコトガ傳統的ナ態度デア

カモ知レマセヌ、併シ何レニシテモ御提出ニナツタ資料ハ御認メニナツテ居ルニ違ヒナイ、サウデアルトスルナラバ、醫療利用組合ノ施設ヲスレバ醫療費半減ノ可能性ガアル、是ハ明白ナル事實デアアル、サウスルト云フ事實ガアルニモ拘ラズ、此國民健康保險組合ニ依ツテ、極メテ姑息ナル醫療費ノ輕減ト、其負擔ノ分散ヲ御計畫ニナル、併シ、農民ノ期待シタノハサウデハナイ、農民ハ是ハ醫療利用組合ノ施設ト、國民健康保險組合ガ結び付イテ行クモノデアラウト期待シテ居リマス、吾々此内容ニ關シテ研究シテ居ル者ハ、初メテコンナニ不徹底ナモノデアルト云フコトヲ知ツテ居リマスケレドモ、マダ院外ニ於ケル所ノ國民大衆ハ、此案ハ醫療利用施設ガ相並行シテ、一面ニ於テハ醫療費ガ半額位ニハ輕減サレ、輕減サレタ醫療費ノ其負擔ヲ分散シテ、合理的ニ負擔スルモノデアラウ、此二本建ニ依ツテ國民ノ醫療問題ガ、根本的解決トハ言ハレナクテモ、少クトモ劃期的ノ解決ガ出來得ルモノデアラウト期待シテ居ルノデアリマス、併シ御答辯ニ依リマスレバ、此健康保險組合ハ自ラ醫療行為ハシナイコトヲ以テ立前トシテ居

ルヤウニ、從來屢々説明サレテ居ルト思フノデアリマスガ、此點ヲモウ一度ハッキリト御返事ヲ願ヒタイ、此健康保險組合ガ自ラ醫療施設ヲ行ハナイト云フコトヲ立前トシテ居ルナラバ、醫療費ヲ輕減スルト云フ目的ニ照シテ、其立前ハ矛盾デハナイカ、若シ當局ガ本當ニ誠意ヲ以テ國民ノ醫療問題ノ解決ヲシヨウト云フノナラバ、此明カナル事實ニ照シテ保險組合ト醫療利用施設ト云フモノヲ、相並行セシムルト云フコトガ本當デハナイカ、併シ之ヲ相並行セシムルトノ出來ナイ政治的事情ガアルナラバ、是ハ別デアル、アリサウデアアル、私共ソレヲ別ニ當局ヲ咎メハ致シマセヌ、當局ハ是ハ醫療利用施設ヲ自ラ行ハシメテ、醫療費其モノヲ輕減シ、又其負擔ノ分散、公正ヲ期スルト云フ、兩方ノ目的ヲ持ツテ居ルケレドモ、一ツノ目的ハ現在ノ政治的事情ニ於テヤレナイノデアアルナラバ、其事ヲハッキリト茲ニ言ウテ貫ヒタイ、別ニ私共ハ其言明ヲ捉ヘマシテカラ當局ヲ苦シメハ致シマセヌ、唯將來ニ於テ國民大衆ノ前ニ此事實ヲ明ニシテ、將來ニ於テ改善ノ「ポイント」ヲ吾々ハ得ル爲ニ此事ヲ明ニシテ置イテ戴キタイノデアリマス

○清水政府委員 御答申上ゲマス、只今ノ御話ハ御尤ナ點モアルト思フノデアリマスガ、先ヅ第一ニ申上ゲタイト思ヒマスノハ、國民健康保險組合ニ於キマシテハ、醫療施設ヲスルカシナイカト云フ御話デアリマス、是ハ從來カラ申上ゲテ居リマス通りニ、原則トシテハ自ラハ醫療設備ヲ持タナイデ、開業醫ヲ利用スルコトヲ本則トシタイト考ヘテ居リマス、ソレハ何故カト申シマスト、要スルニ現在アリマスル醫療ノ組織ト申シマスカ、醫療ノ制度ト云フモノニ成ベク變革ヲ與ヘナイヤウニシテ、其上ニ國民健康保險法ヲ施行シテ行キタイト云フコトヲ考ヘマシタノデ、出來ルダケ開業醫ヲ利用スル、開業醫制度ト云フコトヲ崩サヌヤウニト云フコトヲ考ヘマシタカラ、隨テ組合自身ハ醫療機關ヲ持タナイノラ原則トスル、斯ウ云フコトニ大體ナル次第デアリマス、唯御話ノ如ク醫療利用組合ト云フモノガアツテ、醫療設備ヲ作ツテ居ルト云フ場合ニ、ソレヲ排除スル必要ハ別ニナイ譯デアリマスノデ、是ハ法案ニモアリマス通り、適當ナモノガアツテ必要ガアレバ之ニ代行サセルト云フヤウニシテ、其設備ガ無駄ニナラヌヤウニスルト云フコトハ考ヘテ居リマス、ソレカラ又無醫村對策等ニ依リマシテ設備ガヤハリ出來ルデアリマセウガ、

○西川委員 詰リ當局ハ醫療企業ノ組織ヲ根本的ニ變革スルナレバ、少クモ醫療費ガ半額位ニ低減スルコトノ出來ルト云フ事實ハ之ヲ認メテ居ラレルガ、併ナガラ現存スル開業醫其他ノ醫療制度ノ變革ヲシタクナイ爲ニ、其重大ナル醫療費ノ輕減ト云フ、國民ノ最モ熱望シテ居ル所ノモノヲ犠牲ニシテモ仕方ガナイ、現在ノ醫療制度其モノニ、餘リ急激ナル變化ヲ與ヘテハナラナイ、詰リ現在ノ醫療制度ニ急激ナル變化ヲ與ヘナイ爲ニ、一面國民ノ醫療費輕減ト云フ最モ熱望シテ居ルモノヲ犠牲トサセネバナラス、斯ウ云フ風ニ只今ノ御答辯ヲ私共諒解セザルヲ得ナイノデアリマス、是ハモウ明々白々タル事實デアリマスルカラ、ソコヲ言葉ノ上デ糊塗サレナイ方ガ宜イト思フ、ソコデ私ガ今御聽キシタイノハ、現在ノ開業醫、其他ノ醫療制度ニ急激ナル變革ヲ與ヘテハナラナイ、是ガ爲ニハ國民ノ重大ナル負擔、是ハ公租公課ノ

負擔ドロコデハナイ、大キナ負擔デアリマ  
スガ、其負擔スラモ犠牲ニシテ、當局ガ此  
制度ニ急激ナル變革ヲ與ヘナイコトヲ期シ  
テ居ラレルノハ、如何ナル理由ニ基クカ、  
或ハ往々一部ニ叫バレル醫師ノ生活問題ト  
云フヤウナコトヲ考ヘラレル爲ニ之ヲサル  
ルノデアアルカ、詰リ近年社會ノ相剋摩擦ト  
云フヤウナコトガ頻リニ喧シク言ハレマス  
ガ、併ナガラ電氣事業、或ハ農地制度ニ於  
テモ多少サウ云フ點モ今度ノ法律ニモ現レ  
テ居リマスガ、ソレ等ノ電氣事業其他外ノ  
方デ、此議會ニ現レテ居リマス色々ナ問題  
ニ付テハ、ソレ等ノ犠牲モ亦忍バレルガ、  
併ナガラ最モ國民ノ重大負擔デアアル、公租  
公課ドロコデナイ大キナ負擔デアリマス、  
庶民階級ニ取テハ最モ深刻ナル重イ負擔  
デアリマス所ノ醫療費ノ輕減ト云フ問題ニ  
付テハ、其制度ノ變革ヲ成ベク遠慮ヲサレ  
ヨウト云フ理由ハ那邊ニアルカ、是ハ從來  
往々ニシテ叫バレル醫師ノ生活問題等ヲ御  
考ニナツテ居ラレル爲メデアアルカ、此點ニ付  
テ御答ヲ願ヒタイ

醫療制度ニ變革ヲ與ヘナイ積リダト云フノ  
デハアリマセヌノデ、大體此健康保險法ヲ  
施行スルニ付テハ、健康保險法此事自體ガ  
相當ノ新制度デアリマスノデ、從來アリマ  
スル開業醫制度ト云フモノニ迄變革ヲ及ボ  
スト云フコトハ、此法ノ施行ノ上ニ付キマ  
シテモ圓滿ヲ缺クコトモアリマセウト考ヘ  
マス、隨テ出來ルダケ從來ノ制度ニ變革ヲ  
與ヘタクナイト云フ考デアリマシテ、一方  
醫療費ノ輕減ガ出來ルト云フコトヲ犠牲ニ  
シテ、變革ヲヤラスヤウニスルノダト云フ  
ヤウナ考デアアリマセヌ、ソレハ先刻申シ  
上ゲマシタ通り、此國民健康保險組合ヲヤ  
リマシテモ、自然々々ニ國民ノ醫療費ノ合  
理的低下ト云フコトガ出來マスシ、同時ニ  
一方ニ於テ醫療ノ内容ト云フモノヲ無暗ニ  
惡クシナイト云フコトガ出來ル、隨テ内容  
ヲ惡クシナイデ、醫療費ノ輕減ト申シマス  
カ、負擔ノ輕減ト申シマスカ、ソレガ出來  
マスナラバ、現在吾々トシテハ其程度デ以  
テ最モ適當ダト考ヘテ居ル譯デアリマス

○西川委員 醫療ノ内容ヲ惡クセズ、而モ  
醫療費ノ負擔ヲ輕減スル方策ハ、茲ニ御示  
シニナツテ居ル此熊本縣ノ事例ノ中ニモ  
ハッキリ上ツテ居ルノデアリマスガ、此處デ御  
尋シタイノハ、醫療利用組合ノ認可等ニ付  
キマシテ、厚生省ハ權限ヲ持ツテ居ラレル  
ノデアリマスカ

○林政府委員 利用組合ソレ自身ノコトハ  
現在ノ組織デハ農林省ノ所管ニナツテ居リ  
マスガ、併シソレ自身ガ持チマス醫療内容  
ニ付キマシテハ、厚生省ガ之ニ關與致スコ  
トニナツテ居リマス

○西川委員 サウスルト厚生省ハ醫療利用  
組合ノ計畫ニ對シテ、之ヲ抑制スルトカ、  
或ハ獎勵スルトカ、詰リ醫療利用組合其モ  
ノニ對スル方針ニ付テハ、別ニ御權限ヲ持ツ  
テ居ラレナイガ、若シ御權限ガアルトスルナ  
ラバ、ソレ等ニ對シテ何等カノ方針ヲ持ツ  
テ居ラレルカ、厚生省ハ此問題ニ付テハ全然  
白紙デアアルカ、總テハ農林省ノ權限及ビ農  
林省ノ方針ニ依ツテ動キツ、アルカドウカ  
〔委員長退席、青木委員長代理著席〕  
或ハ厚生省ガソレニ對シテ横槍ヲ入レラ  
レツ、アルカドウカ、其點ヲハッキリシテ置  
イテ貰ヒタイ

○林政府委員 只今申上ゲマシタノハ、先  
程カラ御言葉モアリマシタガ、單ニ法文ノ  
上カラノ御話デアリマシテ、私共トシテハ  
モット廣イ範圍カラ協力シテ居ル次第デア  
リマス、隨テ産業組合ノ醫療事業トシテ起  
リマサウナモノニ付キマシテ、私共ノ方  
デハ決シテ抑制シヨウト云フ意思ハ持ツ  
テ居リマセヌ、唯先程來他ノ政府委員ヨリ説  
明ノアリマシタ通り、其内容ガ十分ニ醫療  
ノ目的ヲ達成シ得ルモノデアリマスレバ、  
之ヲ認可シテ行ク方針デアリマス、又之ヲ  
抑制スルト云フ考モ全然持ツテ居ラナイノ  
デアリマス

尙ホ此際一言申添ヘテ置キマスガ、先程  
御話ノアリマシタ醫師トノ關係デアリマス  
ガ、是等諸般ノ醫療機關ノ備ツテ居リマス所  
ヘ新ニ設ケマス場合等ニ於テハ、十分地方  
ノ狀況ヲ考ヘナケレバ、圓滑ナル事務ノ進  
捗ヲナシ得ナイ點ガアラウト思ヒマス、先  
程來段々御心配ニナリマサウナ醫療機關  
ノ備ツテ居ナイヤウナ所デ、醫療組合ガ其設  
備ヲ致シタイト云フ意思モアリマスモノ  
デ、内容ノ適當ナモノハ、厚生省トシテ認  
メテ行ク考デアリマス

尙ホ此際一寸訂正ヲ申上ゲテ置キタイト  
思ヒマスガ、先程保險所ノ數ヲ七百五十  
ト申シマシタガ、ソレハ無醫村ノ數ヲ取違ヘ  
マシタノデ、五百五十ト御訂正置キテ御願  
ヒシタイト思ヒマス

○高田委員 議事進行ニ付テ……、醫療利  
用組合ノ問題ハ、本法ニ依ツテ代行機關トナ  
ルベキ資格ノ有ルモノ、而シテ醫療利用組

合ヲ將來ドウスルカト云フヤウナコトハ、非常ニ重大ナ問題デアリマス、所ガ是ハ多分農林省ト又内務省ノ共管デアリマスカ、其邊ガドウモハツキリシナイ

〔青木委員長代理退席、委員長著席〕

此問題ヲ研究スルニハ、農林省ノ方カラヤハリ醫療組合ニ關係ガアル政府委員ガ來テ居ルノガ本當ダト思フ(「ヒヤ〜」)先程ノヤウニ農林省ノ方カラ出シタカラ、厚生省ノ政府委員ハ知ラヌト云フノハ、政府トシテハソナコトハ出來ヌ答ダ、無責任ダカラサウ云フコトヲ言フ、更ニ厚生省ノ政府委員ハ、農林省カラ出シタ書類ハソレハ知ラナイ、サウ云フモノヲ農林省ガ出スノハ間違テ居ル、農林省ガ出シタモノデモ、厚生省主管ノ此國民健康保險法ノ問題デアルカラ、兩方トモ能ク知ッテ居ラネバナラス、ソレヲ分ラナイヤウナモノヲ出ストハ何事デアルカ、甚ダ無責任極マルモノデアルト私ハ思フ、此健康保險法ノ問題ニ付テハ、是ハ醫療組合ニ代行ヲ許ス關係上、醫療組合ノ許可權ヲ持ッテ居ル農林省トシテモ相當深イ關係ガアリマスカラ、今後ハ農林省ノ話ノ分ル政府委員ヲ御出シニナルヤウ、委員長ヨリ政府ニ要求セラレンコトヲ希望致シマス

○西川委員 大體當局ノ現行ノ醫療制度ニ變革ヲ加ヘタクナイト云フ御意思ハ、醫師ノ生活問題等ノ爲メデハナイト云フコトヲ只今漠然ト言ハレタノデアリマスケレドモ、併シ歸結スル所ハサウデアラウト思ハレル、此點ニ於キマシテモ是ハ當局ノ大ナル認識不足デアルト云フコトヲ私ハ一言シテ置キタイ、是ハ「タクシー」ガ普及スルコトニ依ッテ人力車夫ガ困ルトカ、或ハ白米ノ小賣マデ産業組合ガシタナラバ米屋ガ困ルト云フ問題トハ違フノデアリマス、「タクシー」ガ普及シテ人力車業ガ困ルト云フヨリ、人力車業ト云フモノガ全然ナクナッテシマフ、白米ヲ産業組合ガ小賣スルナラバ、米屋ガ困ルト云フヨリ、米屋ト云フ商賣ガ根本的ニアガッテシマフノデアリマス、併シ我國ノ立前ニ於キマシテ、開業醫ハ商人ナリヤ否ヤ、開業醫ハ利潤ノ追及ヲ目的トシテ居ルモノナリヤ否ヤ、私ハサウデナトイ思フ、隨テ醫療利用組合ガ幾ラ普及發達シマセウトモ、醫療ノ技術ト云フモノガナカッタナラバ、組合デヤラウガ、村デヤラウガ、國デヤラウガ出來ルモノデナイ、唯醫療ノ技術ニ對シマシテハ組合デヤラウガ、町村デヤラウガ、國家デヤラウガ何等ノ變リハナイノデアリマスカラ、其技術ヲ以テ生キ

テ居ル醫師ノ生活問題ニ是ハ全然關係ノアルモノデハナイ、唯其醫師ノ技術ヲ提供スル經營ノ方法、企業ノ方法ガ、營利的ナ組織ヲ許スカ、非營利的ナ組織デヤルコトガ適當デアルカト云フ問題デアッテ、其相剋摩擦ガ假令アリト致シマシタ所デ、勿論是ハ只今起ッテ居ル他ノ相剋摩擦ニ比スレバ輕ク扱ッテ宜イ問題デアルト思フ、此點ヲ當局ガ十分御認識ニナッテ、——醫療組合ニヤラセルナラバ、醫師トノ摩擦ニ依ル醫療内容ヲ低下セザル様ニト云フ、國民ノ何ヨリモ要望シテ居ル明カナル實績ガ茲ニ上ッテ居リマスガ、ソレヲシモ犠牲ニシテサウシテ醫療企業ヲ維持セシムベク、色々ノ姑息ノ手段ヲ弄セラレルヤウナコトハ、此際大イニ御考ニナルコトガ適當デアルト私ハ考ヘマス

テ居ル醫師ノ生活問題ニ是ハ全然關係ノアルモノデハナイ、唯其醫師ノ技術ヲ提供スル經營ノ方法、企業ノ方法ガ、營利的ナ組織ヲ許スカ、非營利的ナ組織デヤルコトガ適當デアルカト云フ問題デアッテ、其相剋摩擦ガ假令アリト致シマシタ所デ、勿論是ハ只今起ッテ居ル他ノ相剋摩擦ニ比スレバ輕ク扱ッテ宜イ問題デアルト思フ、此點ヲ當局ガ十分御認識ニナッテ、——醫療組合ニヤラセルナラバ、醫師トノ摩擦ニ依ル醫療内容ヲ低下セザル様ニト云フ、國民ノ何ヨリモ要望シテ居ル明カナル實績ガ茲ニ上ッテ居リマスガ、ソレヲシモ犠牲ニシテサウシテ醫療企業ヲ維持セシムベク、色々ノ姑息ノ手段ヲ弄セラレルヤウナコトハ、此際大イニ御考ニナルコトガ適當デアルト私ハ考ヘマス

ソコデ私ハ更ニ御問ヒシタイノデアリマスガ、此國民健康保險組合ハ自ラ醫療ヲスルコトヲ立前トシテ居ナイ、醫療行爲其モノハ從來ノ開業醫其他ノ制度ヲ認メテ、其料金ヲ支拂フ所ノ方法ノ問題ヲ此組合ガ講ズルノデアル、詰リ此組合ハ醫療費ノヤリ繰ラスルコトガ仕事デアッテ、醫療行爲其モノガ此組合ノ仕事デハナイ、詰リ此組合ハ醫療費ノヤリ繰ラスルコトガ仕事デアル、是

ハ火災保險ノ會社ガ消防ノ手傳ヲスルノデハナク、又海上保險ガ海難救済ノ仕事ニ關係スルノデナイト同様ニ、國民健康保險組合ハ自ラ醫療行爲ヲスルノガ目的デハナクシテ、醫療費ノヤリ繰ラスルノヲ目的トスル組合デアアル、斯様ニ其立前ヲ、私ハ此當局ノ御方針ノ下ニハ觀念セザルヲ得ナイノデアリマスカ、左様デアリマスカ否ヤ

○清水政府委員 御答致シマス、國民健康保險組合ヲ吾々ガ作リマシタ考ト致シマシテハ、單ニ醫療費ノ支拂ノ組合デアルトハ考ヘテハ居リマセス、大體重大ナ醫療ノコトヲヤルノデアリマスカラ、組合トシマシテハ最モ醫療ト云フコトニ關心ヲ持タナクチャナラヌ譯デアリマシテ、單ニ金ヲ集メルトカ出ストカト云フコトデナク、實際ニ其醫療ノ内容ト云フコトヲ考ヘル、隨ヒマシテドウ云フ風ナ地方ノ實情ニ合フヤウナ醫療内容トスルカト云フコトモ考ヘマセウシ、或ハ更ニ進ンデハ色々ナ保健施設ヲスルト云フコトモ考ヘマセウシ、要スルニ是ガ衛生保健施設ノ一ツノ地方ニ於ケル單位ニナルト云フ風ナ考ヘ方デ、此組合ヲ考ヘタイト思ヒマス

○西川委員 當局ノ答辯甚シク矛盾ヲ孕ンデ居ルノデアリマス、醫療行爲ヲ目的トス



ルカ、醫療行為ニ關心ヲ持ツカト云フコトハ、是ハ根本的ナ別個ノ問題デアリマス、火災保險ハ消防ノ手傳ヒハシナイデモ、火災ト云フ事故ニ對シテハ最モ重大ナル關心ヲ持チ、最モ重大ナル考慮ヲ回ラシテ居ルノデアリマス、隨テ健康保險ノ仕事ヲ營ミマスカラニハ、醫療ノ問題ナリ、健康ニ關スル諸般ノ問題ニ付キマシテ、重大ナル關心ヲ持ツト云フコトハ、是ハ言ハナクテモ知レテ居ルコトデアアル、併ナガラ此關心ヲ持ツカ、事業其モノヲ目的トスルカト云フコトニ付テハ、是ハ根本的ノ別個ノ立場カラ考ヘナクテハナラス、詰リ醫療行為其モノヲ目的トスルノデアアルナラバ、組合自身ガ醫療ニ關スル施設ヲ爲シ、自ラノ施設ニ依ッテ給付ヲスルト云フコトノ立前ニナツテ來、ナクテハナラス、而モ斯クナルコトニ依ッテ初メテ醫療費ノ負擔其モノモ低減スルコトガ出來ルノデアアツテ、此法律ノ眞ノ目的ヲ貫徹シ得ルノデアアル、併ナガラ色々ノ事ヲ當局ガ御考ニナツテ、寧ロ不必要ニ摩擦ヲ回避サレルト云フ考ガ強イ爲ニ、其當然爲スベキコトヲ爲サズニ、單ニ此組合ヲシテ醫療費ノヤリ繰リヲスル組合ダケノモノニシテシマフ、ソレハ勿論關心ヲ持ッテ居リマス、關心ハ持ッテ居リマスケレドモ、組

合ノ目的トスル點ハ、醫療行為其モノデハナイト云フコトハ、當局ノ縷々御説明ニナツタ方針ニ依ッテ明カデアリマス、此點ハ率直ニ御認メニナル方宜イト思フノデアリマス、色々ト言葉ノ上デ胡麻化サウトナサルト、答辯カラ幾ラデモ質問ガ生レテ來マシテ、私ハ二時間デ打切レナルカモ知レマセガ、二時間デ打切レナルカモ知レマセヌ、率直ニ此點ハ一ツ答ヘテ戴キタイ

○清水政府委員 先刻私ノ申上ゲタコトハ少シ言葉ガ足りナカッタノダト思ヒマス、詰リ私ノ申上ゲマシタノハ、勿論醫療費ノ支拂ト云フコトニ付テモ、其組合ガ管理ヲ致スノデアリマスガ、醫療其モノニ付テモ、ヤハリ組合トシテハ、開業醫ナラ開業醫、醫師會ナラ醫師會ト云フモノニ頼ンデ、投ヤリニシテ置クト云フノデハナク、組合自身ノ仕事トシテヤルノダト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、例ヘバ醫療ノ内容ニ付テ、診療ノ方針ヲドウスルトカ、或ハ藥ヲ一劑ニスルトカ二劑ニスルトカ云フコトモアリマセウガ、サウ云フヤウナ實際ノ醫療ノヤリ方等ニ付テモ組合トシテハ考ヘル、唯金ダケヲ集メタリ拂ッタリシテ、アトノ醫療ノコトハ全然オ醫者ニオ委セシテ置クト云フコトデナク、ソレ以上

ニ一層高度ノ醫療ノ事ニ組合ガ立入ルノダ、斯ウ云フ趣旨申上ゲタノデアリマス

○西川委員 ヤハリ只今ノ御答辯ニ依リマシテモ、醫療ニ關心ヲ持ツト云フコトト、醫療行為自身ヲ目的トスルト云フコトニ關スル解決ハ只今ノ答辯デモ依然トシテ與ヘラレテ居ラナイ、ソコデ私ハ言葉ヲ換ヘテ御問ヒ致シマスガ、農村ニ於テスル組合ヲ作リマシテ――此保險組合ノ仕事ハ、今迄醫療利用組合ガヤツテ居ッタ仕事スルノデハナイ、又醫療組合ガヤルヤウニ醫療施設ヲシテ、之ヲ組合員ニ利用セシムル組合デハナイ、醫療ニ支拂フ所ノ費用ヲヤリ繰ラスル組合デアルト云フコトデ、重點ハソコニアルト思フ、勿論醫療ニ對シテ關心ヲ持チマス、關心ハ持チマスケレドモ、其重點ハ醫療費ノ調達ヲスル、醫療費ノ負擔ノ分散、公正化ヲ圖ッテ行クト云フ所ニ此組合ノ重點ガアルモノト思フ、若シモ當局ガ更ニココヲ言ヒ丸メヨウトサレテ、サウデハナイ、醫療行為自身ニ付テモ、之ヲ目的トシテ居ルノダト言ハレルナラバ、今後ノ組合設立ニ當リマシテ、其組合當局者ガ開業醫ニ囑託スルヨリモ、自ラ醫療利用施設ヲ行ウテ行ク方ガ、ヨリ以上組合ノ目的ヲ達スルニ適當ダ、斯ノ如クニ確信シテ、其施設ヲ爲

サントスルモノニ對シテ當局ハ如何ナル方針ヲ持ッテ居ラレルカ、此答辯ハ將來ノ組合ノ經營ニ付テ、非常ニ重大ナ影響ヲ與ヘルノデアリマス、サウデハナイノダ醫療利用ノ方

○清水政府委員 重ネテ御答致シマス、只今西川サンノ仰シヤイマシタコトハ、實際ノ組合運用ト云フ上カラ見マスルト、サウ云フ風ニナル場合ガ多イト思ヒマス、唯吾

ノ趣旨トシマシテ申上ゲテ居リマスル所ハ、先刻來申上ゲマシタ通り、醫療費支拂ノ組合トシテ之ヲ觀念ハシテ居ラヌト云フコトヲ御承知願ヒタイ、隨ヒマシテ先刻來

申シマシタ通り、醫療ニ付キマシテハ成ベク地方ノ醫師ニ囑託シテ此組合ヲヤツテ行ク積リデアリマシテ、專屬ノ醫師、專屬診療所ト云フモノハ成ベク作ラサヌ方針ニシテ居ルノデアリマス

○西川委員 御答ノ如クニ成ベク從來ノ開

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

テ居ルノデアリマス

業醫其他現存ノ醫療施設ヲ利用シテ行クト云フコトニナリマスルナラバ、現在ノ開業醫制度ノ改善、現行ノ醫療施設ノ改善ト云フコトニ付テモ餘程考慮シナケレバナラヌト云フコトニナツテ來ル、之ニ付テハ只今調査會デ色々調査スルノダト云フヤウナ御答辯ガ先程來アツタノデアリマス、併シ吾々ハ組合ト云フモノヲ全然離レマシテモ、此組合ノ普及シマスノハ百年河清ヲ俟ツト云フ程デナイニシテモ、非常ニ遙カ將來ノコトデアリマスカラ、ソレマデニ現在ノ開業醫ノコトニ付テモ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ當局ガ如何ニ答辯サレマシテモ、當局ノ方針ノ下ニ於テハ、此組合ハ矢張り醫療費ノヤリ繰リヲスル組合トシカ考ヘラレナイ、幾ラ白イモノヲ黒イト御説明ニナツテモ吾々ハ觀念出來マセヌ、隨テ此組合ヲ代行スルノニ適スルモノガ何デアルカト云フ點カラ考ヘマス、若シ此組合ガ自ラ醫療施設ヲ爲シ、醫療利用行爲ヲスル組合デアルナラバ、ソレハ現在ノ醫療利用組合ニ限ツテ代行セシムルガ適當デアリマセウ、現ニ醫療行爲ヲ爲シツ、アル組合ニ對シテ代行セシムルコトガ適當デアリマセウ、併シ現在ノ醫療施設ヲ有シテ居ル組合ガ代行スルノガ適當デアルト云フノハ、新

ニ生レル國民健康保險組合自ラ醫療施設ヲスルト云フ立前ニ於テデアリマス、併シサウデハナイ、醫療費ノヤリ繰リヲスルコトヲ仕事トスル組合デアリマスルナラバ、醫療利用組合デアアル筈ハナイノデアリマス、寧ロ此事業ノ性質ハ信用組合ニ近イモノナノデアアル、火災保險ガ火災ト云フ事實ニ對シテ重大ナル關心ヲ持チ、研究調査ヲシテ居リマスルケレドモ、其事業ハ金融事業ニ近イモノデアリマスヤウニ、國民健康保險組合ト云フ此保險組合ハ、現在ノ信用組合ニ近イモノデアルト吾々觀念セザルヲ得ナイ、是ハ誰シモ常識的ニサウ考ヘザルヲ得ナイ、サウスルト是ガ代行ニ適スル組合ハ、同じク共同組合デアリマシテモ、同じ産業組合ト云フモノノ中ニ包含サレテ居リマシテモ、ソレハ醫療利用組合デハナイ、寧ロ信用組合ノ方ガ此事業ノ性質ニ鑑ミテ代行ニ適スルモノデアルト吾々ハ思フ、ソレカラ當局ガ頻リニ恐レラレマス所ノ摩擦ト云フ點カラ考ヘマシテモ、醫療利用組合ナラバ醫師會方面トノ摩擦ガ起リマシテ、斯ウ云フ困難ナ問題ガ起リ、コンナ不完全ナ矛盾ニ滿チタ法律ヲ作ラシメナケレバナラヌト云フ情勢ニアルノデアリマスケレドモ、信用組合トオ醫者サデハ何等摩擦ヲシマセヌ、多クノ村ニ於

テ信用組合ノ大口ノ預金者ハオ醫者サンデ、オ醫者サンハ組合ノ役員、組合長、理事長トシテ最モ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル、其信用組合ガ、今マデ患者ガ直接ニ料金を拂フテ居ッタノデハ、支拂未納等ガアリマシテ、御迷惑ヲ掛ケルカラ、吾々ノ方デ國民健康保險組合ノ仕事トシテ醫療ノ料金を集メテヤルト云フコトニナレバ、オ醫者サンノ方デ歡迎コソスレ、摩擦ヲ起ス憂ヘナイト思フ、其根本觀念ヲ初カラ天下ニ明ニサレテ居ナイカラ、只今ノ御答辯ノヤウニ、事業ノ本態ガ醫療費ノヤリ繰リニアルニ拘ラズ、醫療ノ利用ノコトニ付テモ重大ナル關心ハ固ヨリ持ツノデアルガ、醫療利用ヲモ此組合デヤルモノデアルカノ如キ感ジラ與ヘルヤウナ説明ノ仕方ヲナサルノデアリマスカラ、斯ウ云フ摩擦ガ起ツテ來ル、初カラ是ハ信用組合ノ代行トシテモ宜イノダ、農村ニ於ケル所ノ此組合ニ類似シテ居ル現在ノ組合ハ、信用組合デアアルノダト云フ觀念ヲ、當局ニ於テ初カラハッキリシテ居ッタナラバ、斯ノ如キ相剋摩擦ガ起ラズニ濟ムダラウト思フ、ノミナラズ將來ニ於テ代行サセルト云フコトニナリマシテモ、實ハ醫療利用組合ニ代行サセルヨリモ、信用組合ニ代行サセルコトガ適當ナリト私共ハ信ズルノ

デアリマスガ、當局ハドウ御考ニナルカ、當局ハソレハ適當ト考ヘルシ、又コンナ片輪ナモノヲ生ミタクハナイノダガ、議會ノ色々ノ情勢、去年カラノ政治的行懸リカラ斯ウ云フ情勢ガ生レルノダ、事實ハ信用組合ノ代行ノ方ガ宜イノダト考ヘテ居ラレルナラバ、ハッキリ此席デ言明サレテ宜イト思フ、コンナコトハ大膽デ宜イト思フ、此點ニ付テ御辯明ヲ願ヒタイ

○進藤政府委員 西川サンニ御答旁、當局ノ意ノアル所ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、申ス迄モナク國民健康保險組合ハ、組合員ニ對シテ醫療ヲ給付スルト云フコトガ趣旨デアリマス、金ヲ呉レテ治療ヲ勝手ニサセルト云フモノデハナイ、何處マデモ醫療シテ治シテヤルト云フノガ目的デアリマス、ソレナラバ專屬ノ醫療機關ヲ置イテヤッタラ一番安クテ宜イデヤナイカト云フ御説ノヤウデアリマスルガ、此點ハ專屬ノ診療所ヲ拵ヘルト云フコトニナレバ、ソレハ或ハ安イカモ知レマセヌガ、併シ其專屬デ治療ヲスルト云フコトデ患者ガ満足スルカト云フト、寧ロサウデハナイノデアリマス、專屬ノ所ニ行ケバ或ハ安イカモ知レナイケレドモ、自分ハ外ノ斯ウ云フ醫者ニ掛リタイト立フ希望ガアルノデアリマ

シテ、此點ハ先程モ西川サンガ言ハレタヤ  
ウニ、醫療ハ商品ヂヤナイ、醫者ハ商人ヂ  
ヤナイノデアリマシテ、ヤハリ患者ノ信用  
デアリマシテ、アノオ醫者サンニ掛リタイ、  
アノオ醫者サンニ診テ貰ヒタイト云フ、所  
謂患者ノ信用ト云フコトガ大事ナノデアリ  
マスカラ、ソコデ十分ニ健康保險組合ヲシ  
テ、現在アル有ユル醫療機關、有ユル醫師  
ヲ總テ之ニ包容シテ、ドレデモ、患者ノ好  
ム、一番自分ノ信賴スル者ニ診テ貰ヘルヤ  
ウニスルノガ一番宜イノヂヤナイカ、斯ウ  
云フノデ開業醫ヲ全部包容シテヤラセル、  
ソコニ趣旨ガアルノデアリマシテ、私ハ能  
ク知りマセヌガ、政治的問題トカ何トカアッ  
タカモ知レマセヌガ、サウ云フコトハ別ニ  
シテ、ヤハリ私ハ今ノ開業醫ヲ全部包容シ  
テ、何レモ國民健康保險組合ノ診療機關ニ  
スルノガ一番宜イト思フ、ソレデサウ云フ  
趣意ニ於キマシテ、必シモ專屬ノ診療機關  
ヲ持ツタ方ガ宜イトハ言ヘスト思フ、然ラバ  
西川サンノ言ハレタヤウニ、信用組合見タ  
イナモノヂヤナイカト言ハレルカモ知レマ  
セヌガ、サウデハナイノデアリマシテ健康  
保險組合ハヤハリ醫療給付ノ内容ヲモ將來  
監督シ、サウシテ之ヲ合理的ニシ、最モ完  
全ナモノニシテ行キタイ、且ツ同時ニ安ク

出來レバ出來ルヤウニスルト云フコトモ、無  
論趣旨デアリマス、大體ソレダケ一ツドウ  
ゾ御承蒙ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 只今ノ答辯ノ御趣旨ヲ全面的  
ニ肯定致シマス、詰リ醫療利用施設ガ組合  
自身ガヤル方ガ宜イヤウニ思ヘルガ、實ハ  
サウデハナイ、組合ノ醫療利用施設ニ限ル  
ヨリモアチラノオ醫者サンデモ、コチラ  
ノオ醫者サンデモ醫師ヲ自由選擇シテ、  
自分ノ信賴スルオ醫者サンニ掛リタ  
イ、隨テ自ラ專屬ノ病院ヲ持ツタリ、專  
屬醫ヲ置カナイ方ガ宜イノダト云フ、斯ウ  
云フ御趣旨ニ伺ツタノデアリマス、私ノ問ハ  
ントスル所ハ、其趣旨ノ下ニ於キマシテ、  
此組合ノ仕事ヲ代行サセル場合ニ、其代行  
ノ問題デアリマス、代行ヲ絕對ニサセナイ  
ノダト云フ立前ナラバソレデモ又宜シイ、  
併シ農村ノ他ノ色々ノ事情ニ鑑ミテ、代行  
ヲスルト云フコトガ適當デアルト云フコト  
ヲ前提トスル限り、其代行ハヤハリ此  
國民健康保險組合ニ近イ組合ガ之ヲ代行シ  
テ、一ツノ限ラレタル醫療利用施設ニ限定  
セズニ、アノオ醫者サンモ此オ醫者サン  
モ、アソコノ病院モ自由ニ利用スルコトノ  
出來ル施設ノ組合デアルベキ等デス、サウ  
云フ性質ノ組合ガ代行スルノガ適スルノデ

ス、サウスレバ此法律ニ掲ゲテアルヤウ  
ニ、現ニ醫療行為ヲ爲シツ、アル醫療利用  
組合ガ代行スルコトハ、ソレハ自然ニ自ラ  
ノ施設ノミヲ利用サセルト云フコトニナッ  
テ、只今ノ御答辯ノ趣旨ニ反スルノデアリ  
マス、代行ヲサセナイト云フ立前ナラバ宜  
イガ、既ニ代行ヲ認メルナラバ、ソレハ醫  
療利用組合ニ代行ヲ認ムベキデナクシテ、  
信用組合ノ如キ、資金ノ點、共同的訓練ノ  
點等ニ於テ十分ナル基礎ト組織ヲ有スル所  
ノ信用組合等ガ代行シテ、サウシテ其村ニ  
醫療利用組合ノ施設ガアレバソレモ利用ス  
ベキデセウ、開業醫ガアレバソレモ利用ス  
ベキデセウ、只今アナタノ御答辯ニナリマ  
シタ趣旨ハ、信用組合ヲシテ代行セシメル  
コトガ其趣旨ヲ貫徹セシムルコトガ出來ル  
ノデハナイカ、斯ウ云フ點デアリマス、代  
行ヲサセルコトヲ絕對ニ認メナイト云フノ  
ナラバ宜イノデアリマスケレドモ、代行ヲ  
セシメルナラバ醫療利用組合ニ限定スル必  
要ガナイ、寧ロ信用組合等ノ方ガ適當デア  
ル、斯ウ云フ結論ニ立至ラザラ得ナイ、  
之ニ對スル御答ヲ願ヒタイ

○進藤政府委員 只今ノ西川サンノ御質問  
ハ甚ダ合點ガ行カヌノデアリマスガ、元來  
國民健康保險組合ハ、其健康保險組合員ノ

趣旨ニ副フヤウナモノヲ新タニ作ルト云フ  
ノガ原則デアリマス、唯此場合、一ツノ同ジ  
村デ村民全部ガ入ッテ居ッテ、サウシテ現ニ  
醫療モヤッテ居ルト云フモノガアリマスレ  
バ、ソレニ更ニモウ一ツ作ルトカ、或ハ現  
在ノ醫療組合ヲ改組シテコチラノ組合ニ直  
サス、是モ非常ニ困難ナ問題デアリマスガ  
ラ、ソコデ代行ヲ許スト、斯ウナルノデア  
リマシテ、全然健康保險組合ノ趣旨ヲ含マ  
ヌ所ノ信用組合トカ、販賣組合トカ、サウ  
云フモノニ許スト云フコトハ、是ハ筋違ヒ  
デハナイカト思フノデアリマス、何處迄モ  
醫療利用組合ニ代行ヲ許スト云フコトガ正  
シイノデハナイカト考ヘマスルガ、唯此場  
合ニ、西川サンノ仰シヤルヤウニ、同ジ利  
用組合デモ專屬醫ヲ持ツテ居ルモノダケヲ  
代行サセルノハ可笑シイデハナイカ、持ッテ  
居ナクテモヤッテ宜イデハナイカト云フ  
ノハ、是ハ或ハ御尤カト思ヒマスルガ、現  
在專屬診療所ヲ持ツテ居ル醫療利用組合ニ  
代行サセル場合デモ、其專屬診療所ダケヲ  
利用サセルト云フ意味デ許スノデハアリマ  
セヌ、ヤハリ專屬診療所モアレバソレヲ利  
用シテ宜イガ、其醫療組合ニモ他ノ一般ノ  
開業醫ト云フモノモヤハリ包括サセテ許ス  
ト云フノデアリマシテ、何處迄モ國民健康

保險組合トシテハ、今有スル全體ノ醫療機  
關ヲ皆此中ニ含メテ行ク、斯ウ云フ趣旨デ  
アリマス、ドウカ左様御諒承願ヒマス

○西川委員 只今ノ私ノ質問ト當局ノ答辯

トノ喰違ヒガ起ル原因ガ何處ニアルカト申  
シマス、此組合ハ飽ク迄醫療行為其モノ  
ニ對スルコトヲ目的トシテ居ラス、併シ醫  
療ニ對シテハ關心ヲ持ッテ居ル、詰リ醫療施  
設ノ利用其モノヲ目的ニセズニ醫療ト云フ  
モノニ對シテ重大ナ關心ヲ持ッテ、サウシテ  
此醫療費ノ調達ヲ圖ル組合デアルト云フコ  
トニナッテ來ルノデアリマス、併シ當局ガソ  
レヲ御認メニナラヌノデアリマス、如何ニ  
モ其點ニ於テ當局ガ現在ノ農村ノ社會機  
構、農村ノ社會的實態ニ付テノ御認識ガ極  
メテ淺薄デアルト思フノデアリマス、此目  
的ニ適スルヤウナ組合ヲ新ニ作ルト言ハレ  
マスケレドモ、多クノ場合此組合ノ理事長  
ニナル町村長ガ別ナ産業組合長デアルコト  
ガ多イ、現ニ産業組合長デナクテモ、過去  
ニ於テ産業組合長ノ經歷ヲ持チ、又將來ニ  
於テ産業組合長ニナルコトガ多イ、農村ニ  
於テハ國民健康保險組合ダカラト云ウテ別  
ノ人間ガ成ルノデハナイ、信用組合ダカラ  
ト云ウテ、醫療利用組合ダカラト云ウテ別  
別ノモノデハナイ、根ハ一ツナンデス、ソ

レニ名ヲ御附ケニナルノハ當局ガ勝手ニ御  
附ケニナル、例ヘバ此議會ニ於キマシテモ  
茲ニ國民健康保險法案ガ審議サレツ、アリ  
マス、更ニ農業災害保險法案ガ出ルト思フノ  
デアリマスガ、此議會ヲ通過致シマシタ法律ニ  
依ッテ又組合ガ二ツ農村ニ將來殖エテ行カ  
ケレバナラス、是ハ論ジ盡サレタ問題デア  
リマスケレドモ、現在私共ガ農村ノ中ニ入ッ  
テ來テ居ル團體ノ數ガドレ位アルカト云フ  
コトヲ調べテ見マスト六十四アル、併シ六  
十四アリマシテモ、其中ニハサウ重大ナ意  
味ヲ持タナイモノモアリマスカラ、ソレ程  
難儀トハ思ヒマセスケレドモ、此國民健康  
保險組合ノ如キ農民ノ生活、國民生活ニ重  
大ナ關係ヲ持ッテ居ル所ノ、極メテ重大ナル  
使命ヲ持ッテ居ル新ニモウ一ツ作ルト云フ  
コトハ、今ノ農民生活ニ取ッテ非常ニ苦痛デ  
アルト云フコトハ、當局ノ想像出來ナイ程  
ノ苦痛ガ實際アル、隨テ其觀點カラ立チマ  
シテモ、是ハ既存ノ組合ニ代行ヲサセルト  
云フコトガ一番適當ナンデアル、ソレヨリ  
外ニ仕様ガナイ、代行サセナイニシタ所デ  
事實ハ一體デス、元ハ一ツデス、唯當局ガ  
勝手ニ名ヲ附ケルト云フニ過ギナイ、ソ  
ナ當局ノ主義ノ下ニ、色々ナコトヲヤリタ  
イ、新シイモノヲ作りタイト云フ當局ノ主

義ヲ守ル爲ニ、コンナ迷惑ヲ農村ニ掛ケズ、  
現在ノモノヲ其儘代行ヲ御認メニナルコト  
ガ宜イ、而モ代行ヲ御認メニナル組合デハ  
ナニモ醫療施設ヲスル必要ハナイ、醫療施  
設ハ組合其モノヲシテセシメナイト云フコ  
トガ當局ノ方針ナラバ、此健康保險組合ニ  
ハ醫療施設ヲサセナイト云フノガ一ツノ方  
針デスカラ、其方針ノ下ニ於テハ醫療施設  
ヲ持ッテ居ラナイ組合デ結構、醫療施設ヲ  
持ッテ居ラナイ所ノ一般ノ共同組合デ結構  
ダ、是ハ當局ガドウ答辯サレマシテモ、此  
明白ナル事實ハ歪メルコトハ出來ヌト私ハ  
考ヘル、併シ是レ以上ハ追究致シマセヌ、  
追究シマセヌガ、此組合ノ經營ニ付テ伺ヒ  
マス、此組合ハ相當ノ資金ガ無クテハ私ハ  
經營出來ヌト思フ、組合ノ事業ヲ始メタ場  
合病氣ハ待ッテ呉レマセヌ、マダ組合ニハ資  
金ガ無イカラオ前病氣ヲ一時待ッテ呉レト  
言ウテモ待ッテ呉レマセヌ、病氣ハ自然ニ發  
生シテ來ルノデアリマスカラ、組合ニ資金  
ガ有ルカ無イカト云フコトハ別問題ニ病氣  
ハ發生シテ來ル、診療費ハ拂ッテ行カナケレ  
バナラス、然ルニ多ク農山村ニ於テハ現在  
ノ醫療費ノ支拂ト云フモノハ現金デ拂ッ  
テ居リマセヌ、現金デ支拂フ能力ハアリマ  
セヌ、隨テ一年ノ年末ニ一回ダケニ藥料ハ

大部分拂ッテ居ル、ソコデ今度ノ組合ニ於キ  
マシテモ、毎月月割デ組合費ヲ徴收スルト  
云フコトハ困難デアリマスカラ、保險料ヲ  
徴收スルコトハ困難デアリマスカラ年一回  
カ二回カニ現物デ納付セシメルコトモ、是  
ハ當局モ御認メニナルヤウデアリマス、サ  
ウシマスト其間ニ於ケル所ノ資金ノ運用ト  
云フモノハドウシテ此組合ハ致シマスカ、  
此點ヲ御伺致シタイ

○進藤政府委員 此國民健康保險組合ハ元

來診療所ヲ設置スルトカ、サウ云フモノハ  
要ラナイノデアリマシテ、要スルニ大體經  
常收入デ經常支出ヲヤッテ行クノデアリ  
マス、隨ヒマシテ保險料ヲ集メマシテ、其保  
險料トソレカラ國庫ノ補助金、是デ「バラ  
ンス」ヲ取ルノデアリマス、隨ヒマシテ保  
險料ハ毎月徴シマスカラ、其治療ニ掛カル  
迄ノ間ノ積ンダ金ハ是ハ運用シナケレバナ  
ラス、是モ他ノ保險ノ如クニ澤山ナ金額デ  
モアリマセヌシ、サウ長期ノモノデモナイ  
ノデ、大體一年ノ收入デ一年ノ支出ハ少シ  
餘ル位ノ程度デゴザイマスカラ、是ハ郵便  
貯金ナリ信用組合ナリヘ預ケテ置ク、斯ウ  
云フコトデ宜カラウト考ヘテ居リマス

○西川委員 私ハ保險料金ガ溜ッテ居ッテ、

ソレヲ運用スルコトニ付テ御伺シタノデハ

ナイ、サウ云フ風ニナレバ頗ル結構デアリ  
マスガ、決シテサウハナラヌ、ナゼナラバ  
現在ノ農村ノ經濟事情ニ照ラシマシテ、今  
年ノ醫療費ハ年末ニ米ヲ穫ツテ漸ク御禮ラ  
スル、而モソレガ拂ヘナイデ三割モ四割モ  
未納ガ出來ルノデアリマス、ソレデ此保險  
組合ヲ作ツタカラト言ウテ、農民ハ毎月キ  
チキチ支拂ハ出來マセヌ、是ガ出來ルト御  
思ヒニナツタナラバ、ソレハ農家經濟ニ對ス  
ル根本的ノ認識不足デアリマス、ソレハ出來  
ナイ、出來ナイカラ保險料ガ入ツテ來ルノ  
ハ年末デアル、併シ病氣ハ年末マデ待ツテ吳レ  
マセヌ、ソレハ醫者ノ方ト契約シテ、年末拂  
ニスルノダト言ハレルカモ知レヌガサウ圓  
滑ニハ行カナイト思ヒマス、殊ニ相當重症患  
者ガ出來マシテ、村以外ノ病院ニ行カナケレ  
バナラヌト云フ場合ニ於テハ、是ハモウ絶對  
現金デス、現在ハ村内ノ各醫師ハ年末拂デ  
アリマスケレドモ、村外ニ出ル時ニハ絶對現  
金デアリマスカラ、已ムラ得ズ家財一切ヲ抵  
當ニシテ、借金シテ出テ行クノデアリマス、  
隨テドウシテモ資金ト云フモノガナカッタ  
ナラバ——資金ノ運用デアリマセヌ、保  
險料ノ入ツテ來ナイ内ニ、自ラ運用スル所ノ  
資金ガナカッタナラバ、此組合ノ事業ハ私  
ハ出來ナイト思フ、其點ニ付テ對策ハオア

リデアリマスカ、或ハ政府ハ之ニ對シテ一  
年間ノ運用資金ニ足ルダケノ低利資金ヲ貸  
シテヤルトカ、何トカ、對策ガオアリデア  
リマスカ

○進藤政府委員

只今ノ收入ガ支出ヨリモ

足リナイ場合ニドウスルカト云フ御話デア  
リマスカ、之ニ付キマシテハ斯ウ云フ風  
ニ地方々々ニ依ツテ組合ヲ作ツテ居リマス  
カ、其點ハ極メテ圓滑ニ自由ニ行クノデハ  
ナイカ(ソソナコトガアルカ)ト呼フ者アリ  
支拂ニシテモ或ハ醫者ノ方ヘ即時ニ拂ハナ  
ケレバナラヌト云フコトモナイノデアリマ  
スシ、又足ラヌ場合ニ借入金デ行クト云フ  
途モアリマスシ、又サウ云フ状態ガ長ク續  
クト云フコトハ、其土地ノ負擔ガ堪ヘナイ  
ト云フコトデゴザイマセウカラ、サウ云フ  
性質ノモノニハ國庫補助金ヲ増額スルトカ  
云フヤウナ方法デヤツテ行ク建前デアリマ  
スカラ、サウ資金ガ澤山要ルト云フ風ニハ  
考ヘテ居リマセヌ、尙ホ細カイ點ハ一ツ他  
ノ政府委員ニ願ヒマス

〔細イコトデハナイ根本ノ問題ダ〕ト

呼フ者アリ

○清水政府委員

只今ノ答辯ヲ私カラ補

足シテ置キマス、大體保險院長官カラ申上  
ゲマシタ通りデアリマスカ、現金、在リ金

ガナイト云フ場合ニドウスルカト云フ御話  
ト思ヒマスガ、國庫ノ補助ノ如キモ年末ニ  
ヤルノデナク、成ベク早クヤルヤウナ方法モ  
考ヘマス、其點デモ幾ラカ在リ金ガ出來ル  
デアリマセウシ、ソレカラ初年度ハ別ト致  
シマシテ、二年度カラハ順繰リニ金ガ遅レ  
テ入ルコトモアリマセウシ、ソレカラ又醫  
者ノ方ノ拂ガヤハリ地方ニ依リマシテ年末  
トカ、年二期トカニナツテ居リマスカラ、サウ  
云フ方法デ出シテ行キマス同時ニ、保險  
料ノ入ル方モ大體ソレニ並行シテ、年一回  
カ二回カニナリマスカラ、ソコデ「バラシ  
ス」ガ取レマス、又ドウシテモ一時在リ金  
ガナイト云フ場合デアリマスカラ、村ノ  
信用組合カラ借リルトカ、或ハ低利資金ヲ  
借リルトカ(組合ハ組合員以外ニ貸シマセ  
ヌヨ)「空論ダ」ト呼フ者アリ)色々方法ハア  
ルト思ツテ居リマス

○西川委員

只今ノ御答辯ハ言葉ノ上デハ

彌縫ガ出來マセウガ、實際ハ出來ヌノデス、  
醫者ハ年二期拂ダカラ、組合ノ方ノ金モ待ツ  
テ吳レサウデアリマスケレドモ、ソレハ一  
人ノ醫者ト特約シタ場合ニ了解ガ付ケバ  
待ツテ吳レマセウガ、併シ當局ノ方針トシテ  
ハ自由ニアチラノ醫者デモ、コチラノ病院  
デモ選ベルコトニナツテ居ル、ソコデ組合員

ノ希望ニ依ツテハ、何處ノ醫者ニデモ掛ラナ  
ケレバナラヌ、市街地ノ病院ニデモ入レナ  
ケレバナラヌ場合モアリマセウ、サウ云フ  
時ニハ現金支出ヲシナケレバナラヌ、現金  
支出ヲスルノニ金ガナカッタラ借入金ヲス  
ルト云フケレドモ、ヤハリサウ容易ニ貸シ  
テ吳レマセヌ、農村ニハ信用組合ガアルカ  
ヲ貸シテ吳レルグラウト云フケレドモ、信  
用組合ハサウ云フコトニハ出サナイ、信用  
組合ニ關係ナイ健康保險組合員ニ金ヲ貸  
スモノデスカ、サウスルト實際ハ資金ガナ  
イ爲ニ運用出來ナイノデハナイカ、併ナガ  
ラ當局ニ何遍オ立チラ願ツテモ、成程言葉ノ  
上デハ彌縫サレマスガ、事實ハ彌縫サレマ  
セヌ、私ハ言葉ノ上ノ彌縫ヲ聽カウトハ思  
ハヌ、サウシテ委員ノ方々ハモウ十分ニ御  
認識ニナツタヤウニ思フ、國民健康保險ノ組  
合ヲ新ニ作ツテモ、資金ノ點ニ付テ運用ニ困  
難ヲ生ズルト云フ嚴然タル事實ヲ否認スル  
コトハ出來マセヌ

次ニ組合ハ保險料ノ一部ヲ現物デ納付

スルコトヲ認メル方針ノヤウデアリマスカ、  
農村ニ於テ現物ヲ納付スルトスレバ、小麦  
トカ、豆トカ、米トカ木炭等デアリマセウ、  
ソレ等ノ種々雜多ナ農産物ヲ現物デ納付シ  
マシタ場合ニ、組合ハ如何ナル機關ヲ以テ、

如何ナル方法ニ依ッテ之ヲ處分シ換價致シマスカ、之ニ付テノ當局ノ御豫想ヲ伺ヒマス

○清水政府委員 御答ヲ致シマス、先刻一寸信用組合ノコトヲ申上ゲマシタガ、組合員外ハイカスト云フ御話カト思ヒマス、其點ハ實ハ私ノ言葉ガ足りマセヌデシタ、實際問題トシテ直接産業組合ヲ利用シマス場合ニ、國民健康保險組合ガ直接利用ガ出來ナイト云フコトハ、法律上ハサウ云フコトニナルト思ヒマスガ、只今ノ物ノ換價ノ場合デアリマシテモ、實際問題トシテハ産業組合ヲ利用——利用ト申ストオカシイガ、販賣ノ方法、或ハ換價ノ方法ヲ委託シタイト考ヘテ居リマス、其方法トシマシテハ、直接組合ガヤルト云フコトデナク、組合員ガ産業組合ニ納付シマシテ、産業組合ノ方デ實質上金ニナツタモノヲ國民健康保險組合ノ方ニ貰フ、實ハ斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、サウ云フ方法デ産業組合ニ自然納入シテ貰ヘルト考ヘマス

○西川委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、物品ハ産業組合ニ持ッテ行ッテ、ソレヲ賣ッテ貰ッテ、其金ヲ貰ッテ組合ニ納メル、斯ウ言フガ現在ノ産業組合ノ運用ハサウ云フ風ニ

ハナッテ居リマセヌ、物ヲ持込ンデ直グ代價ヲ受取ッテ行クト云フ風ニハ實際ハナラヌノデアリマス、實際ハ販賣シタモノ、購買シタモノ、又資金ノ融通ヲ受ケタモノ等ヲ、最後ニ決濟スルト云フ組織ニナッテ居リマスカラ、國民健康保險組合ノ保険料ヲ掛ケナケレバナラヌカラ、此麥ヲ一斗賣ッテ呉レ、此木炭ヲ一俵賣ッテ呉レ、ソシテ輕便ニ産業組合ノ販賣事業ト云フモノハ行ハレルモノデハナイ、當局ハソシナコトヲ考ヘテ居ラレルトシマスレバ、ソレハ全ク机ノ上デ御考ニナツタコトデアッテ、現在ノ農村ノ經濟機構ニ全然即シテ居ラナイ、ソシテナ小サイ點ヲ一々質問シテ行キマスト、是ハドウモ政府當局ヲオ奇メスルヤウニナリマスカラ、私ハモウ此位デ此點ヲ打切りマ

ス、打切りマスケレドモ結論ハ斯ウデス、此國民健康保險組合ハ當局ガ何ト言ヒ括メヨウトナサツテモ、是ハ農村ニ於ケル所ノ綜合的ナ共同組合、産業組合ノ名ノ下ニ呼バレテ居リマス現在ノ信用、購買、販賣、利用、是等ノ施設ヲ行ウテ、綜合的ニ農村經濟ヲ一體的ニ取扱ウテ行キマス其組織ノ一ツトシテ、之ヲ御加ヘニナッテ行クノデナカッタナラバ、決シテ此法律ノ目的ヲ達成スルコトハ斷ジテ出來ナイ、之ヲ其組織ノ上

カラ引抜イテ、サウシテ仕事ヲサセヨウト爲サルノハ、人間ノ身體ノ中カラ心臓ヲ摺ミ出シテ活動サセヨウト爲サルノト同ジデアル、机ノ上カラ考ヘレバ、ソレハ活動シサウデアルケレドモ、事實ハ其農村ノ綜合的ナ經濟機構其モノノ組織ヲ離レテ活動出來ルモノデハ斷ジテナイ、私ハサウデアアルニモ拘ラズ、ソレガ出來ナイノハ何カ他ノ政治的事情ニ依ルモノカト思ッテ居リマシタガ、今日ノ審議ニ於テ、他ノ政治的事情ニ依ルニアラズシテ、全ク當局ノ認識不足ニ基クモノデアルト云フコトヲ、私ハ只今感得シタノデアリマス、當局ハサウ云フ積リデハナク、此農村ノ一體的ナ綜合的經濟組織ノ中ニ、之ヲ織込ンデ行カウトサレタノデアルケレドモ、他ノ政治的事情ガ之ヲ妨ゲルモノデアルト、私ハ思ッテ居ッタノデアリマスケレドモ、只今ノ御答辯ヲ聽ケバハッキリト然ラズ、此責任ハ當局自身ノ認識不足ニアルト云フコトヲ、私ハ感ゼザルヲ得ナイ、之ニ對シマシテ答辯ヲ御願シタ所デ満足ナル答辯ガ戴ケナイコトハ分ッテ居リマスカラ、答辯ハ要求シマセヌ

次ニ移リマシテ斯ノ如キ不徹底姑息ナ案デスラモ、是ガ國民ノ醫療費ノ負擔ニ、幾分カノ輕減ヲ與ヘルモノデアリマスナラバ、私共ハ一日モ早く之ヲ成立セシメ、之ヲ全國ニ普及セシメタイ、然ルニ一方豫算ニ計上シテ居ラレマス所ノ經費ハ極メテ寡少ニシテ、是ガ一體當局ノ豫定表ニ依リマスト、十年後ニ於テ此組合ニ抱ヘ込ム必要ノアルモノノ六割ヲ組合員タラシメルト云フ方針ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其計畫ニ對シマシテ大體大藏省ト、其程度ノコトナラバ豫算ガ支出出來ヨウト云フコトニ付テ御協議濟ミデアルカ、此點ニ付テモ御尋シテ置キタイ

○進藤政府委員 此點ハ一昨日一寸申上ゲタノデゴザイマスガ、正式ニ大藏省トノ協議決定ト致シマシテハ、來年度ノ分ダケデアリマシテ、他ハナイト申上ゲタノデアリマスケレドモ、内々ノ交渉ナリ、當局下ノ打合セノ狀況ハ一昨日申上ゲマシタヤウニ、大體三年間位ノ所デ交渉シタノデアリマスガ、來年ニ於キマシテハ、是ハ私トシテノ希望ヲ申シタノデアリマスガ、アノ計畫ハ皆サンノ御希望ガアルヤウニ、モット促進シテ早クヤリタイト云フ氣持ヲ持ッテ居リマス、今日ノ所ノ約束トシマシテハハッキリ決ッテ居リマセヌ

○西川委員 此問題ハ國民ノ健康ノ問題ガ、如何ニ我國現下ノ時局ニ照シマシテ重大性

ヲ持ッテ居ルカト云フコトニ付テ、十分ナル一ツ御認識ヲ願ヒタイノデアリマス、今日我國ノ財政當局ノ考ヘ方ガ、金ノ經濟カラ物ノ經濟ニ御進ミニナツタト云フコトハ確ニ一ツノ進歩デアリマス、併シ今ハ最早物ノ經濟ヲ論ズル時デハナイ、物が多ク生産サレルカ、生産サレナイカハ要スルニ人ノ問題デアリマシテ、當局ハ此人ノ經濟ニ付テ、此戰時財政ノ對策ヲ立テ行カナケレバナラスモノデアルト、私共ハ根本的ニ考ヘル、而モ此人的資源ヲ確保スル其施設ト致シマシテ提出サレテ居リマス案ハ、私ハ現在ニ於キマシテハ本案唯一件デアルト思フ、而モ之ニ補助シヨウト致シマス補助金其モノガ極メテ寡少デアル、コンナ僅ナ補助金此目的ヲ達成スルコトハ出來ヌノデアリマスガ、此寡少ナル補助金デスラモ、十年經ッテ僅ニソレニ加入セシメル必要アル所ノ六割シカ收容出來ナイト云フヤウナ僅ナ豫算デアル、是ハ此問題ノ重大性ニ鑑ミマシテ、當局ノ認識ガ甚シク喰違ッテ居ル、モット之ヲ重大視サレテ——此程度ノコトナラバ第一次ニ於テ、全國ニ普及ラ圖ル位ノ意氣込ミヲ以テ臨マナケレバナラス、所ガ之ニ對スル大臣ノ答辯ハ、初年度ニ於テハ色々監督シナケレバナラス、色々

指導等ニ手間暇ヲ要スルカラ、豫算ガ何程アツテモ事實ハ指導監督ノ方ニ手間ガ掛ルカラ、初年度、二年度等ニ於テサウ速カナル普及ラ圖ルコトハ困難デアル、斯ウ云フ風ニ大臣ハ御答ニナツテ居ルノデアリマス、其大臣ノ御答ハ速記録ニ明白デアリマス、此處ニモ一ツノ矛盾ガアル、ソレナラバ現在ノ産業組合ニナゼ代行セシメラレナイカ、現在ノ産業組合ニ代行サセルナラバ、斯ウ云フ仕事ニハ慣レテ居リマス、保険料ガ集マラヌデモ自己資金ヲ持ッテ居リマス、現物納付ガアリマシテモ販賣機構ヲ持ッテ居ル、産業組合ニヤラシサヘスレバ、當局ガ手ヲ舉ゲレバ直チニ之ニ應ジテ、大部分ノ農村ニ普及シテ、此目的ヲ達シ得ルト云フ可能性ガ十分アルニ拘ラズ、之ヲサセナイカラ普及ガ出來ナイ、手間暇ヲ要スル、併ナガラ豫算ノ關係ガアルト思ヒマス、豫算サヘモット餘計ニ出ルナラバ、モット速ニ普及サセルコトガ出來サウニ思フ、大臣ガ答ヘラレタヤウニ、大藏省ハ豫算ハ幾ラデモ出スケレドモ、幾ラ出シテ呉レテモ自分等ニソレヲヤラセルダケノ力ガナイカラ、豫算ヲ貫ツタ所デアレヌノデアルト云フコトデアリマス、私ハ豫算サヘ貫ヘバドンク能率ヲ上ゲ、普及ガ圖ラレルト思フノデアリマス、

此點來年度以降ニ於キマシテ、大藏省ト豫算ヲ折衝サレル場合ニ重大ナ關係ガアリマスカラ、厚生省ノ態度ヲハッキリ述ベテ戴キタイ  
○進藤政府委員 實ハ此豫算ハ昨年議會ニ提出シタ時ノ其儘デアリマスガ、其後ニ於キマシテ事變ガ起リ、時局ガ變リマシテ、國民健康保險法ノ實施ハ一層急務ニナツタノデアリマシテ、吾々ノ方ニ於キマシテハ、大藏省ニ對シテ初年度カラ金額ヲモット増額スルコトヲ交渉シタノデアリマスガ、遺憾ナガラ成立ヲ見ナカッタノデアリマス、ソレド主トシテ補助金ノ少ナイノハ財政關係ニ依ルノデアリマシテ、是ハ洵ニ遺憾デアリマスガ致方ガナイノデアリマス、ソレデ初年度ニ付キマシテハ、私達トシテハモウ少シ餘計補助金ノ豫算ヲ取ツテ、モット普及シカッタノデアリマスガ、サウ云フ都合デアラレナカッタガ、唯初年度ニ付テハ是位ノ金デ、マア一ツ金ハ少クナイガ實質ハ最モ立派ナモノニシテ行キタイ、初年度ガ粗製濫造ニナツテ悪イノガ出來ルト云フコトハ、將來ニ惡影響ヲ及ボス、豫算ガ少クナイノハ非常ニ残念デアリマスガ、其代リニ初年度ノ組合ハ非常ニ良イモノデアアル、成績ラ大イニ擧ゲテ、サウシテ次年度以後ハモット

豫算ヲ増スヤウニ努力シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス  
○西川委員 次ニ大藏省ニ御尋シタイノデアリマスガ、此問題ノ重大性ニ鑑ミマシテ、將來ノ豫算關係ニ於テドウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居ラレルカ、支那事變ガ勃發ヲ致シマシテ、特ニ壯丁ノ體位ノ低下其他ガ非常ニ憂慮サレテ居ル、而モ壯丁ノ體位ガ近年急速ニ低下シタ原因ハ、農村ニ病氣ノ入ル機會ガ非常ニ多クナツタ、病氣ノ入ル機會ダケハ多クナツタガ、是ガ診療ノ施設ハ漸次後退シツ、アルト云フ現實ノ事態ニ對シマシテ、セメテ此組合ノ如キヲ速ニ普及セシメテ、之ニ對スル對策ヲ講ジナカッタナラバ、國家ノ前途憂慮スベキモノガアルト云フコトハ、前カラ色々問答シテ明ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ事態ニ即シテ、大藏當局トシテハ將來ノ財政上ノ關係ニ於テ、ドノ程度マデ此事業ノ爲ニ豫算ヲ出ス御用意ガアルカ、之ニ付テ大藏當局トシテノ御考ヲ承リタイト思ヒマス  
○氏家政府委員 オ答致シマス、此國民健康保險ノ制度ト云フモノハ、非常ニ結構ナ制度デアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマスケレドモ、何セヨ極メテ目新シイ制度デアリマシテ、之ヲ考ヘテ居リマス役所トシマシ

テモ、或ハ机ノ上デ考ヘルヤウニ參ラスト云フヤウナ御話モアリマシタガ、サウ云フ事情モアルダラウト思ヒマス、又地方ニ於キマシテモ能ク此制度ノ精神ヲ理解シマシテ、其趣旨ニ合フヤウニ運用スルト云フ迄ニハ、相當ノ時間モ要スルコトデハナイカト考ヘマシテ、先ツ差當リノ所デハ豫算ニ計上シテアリマスモノ位デ宜カラウ、之ヲ實行シテ見タ上デ非常ニ成績ガ宜シイ、是ハ是非トモ全國ニ急速ニ普及スル必要ガアルト云フヤウナコトニナリマスレバ、又其時ニ豫算ヲ増額スル、併ナガラドノ程度マデ増額シタラ宜イカト云フヤウナコトハ、金額的ニハ別ニ申上ゲル程度ニハ至ッテ居リマセス、ヤッテ見テ成績ガ良カッタラバ、此方面ニモ相當豫算ヲ差向ケルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○西川委員 大體此組合ヲヤッテ見テ、成績如何ニ依ッテハ大イニ考慮スルト云フ御答辯デアリマス、ソコデ厚生省ノ責任極メテ重大デアリマス、之ニ依ッテ相當ノ成績ヲ擧ゲルカ否カハ、將來ノ豫算關係ニモ大イニ響イテ來ルノデアリマス、ソレニハ厚生省ハ從來ノ内務省時代ノ行掛リヲ御一擲ニナッテ——内務省時代ハ此健康保險組合ヲ町村長ヲ中心ニヤラシメル内務省ノ系統

ノ仕事ニシテシマヒタイ、農林省ノ仕事ニハサセタクナイト云フヤウナ氣持モアッタデアリマセウガ、茲ニ厚生省トシテ新タニ生レ變ツタコトデアリマスルカラ、事務上ノ運用ニ當リマシテハ、サウ云フ色々ノ行掛リヲ捨テテ、最モ能率ノ擧ガル成績ノ擧ガル方法ヲ執ラレル責任ガアルト思ヒマス

次ニ大藏當局ニ對シマシテ、是ハ一ツノ意見ヲ提起スルノデアリマスガ、此國民健康保險組合ノ仕事ヲスルト同時ニ、財政ノ立前ニ於キマシテ、一ツノ健康保險ヲ御考ニナッテハドウカト思フノデアリマス、ソレハ從來國民ノ健康ヲ著シク害シマスル一ツノ例トシテ、酒ノ害ガアルト云フコトハ是ハ否定スルコトハ出來マセス、酒ノ害ガ國民ノ健康ヲ相當ニ損フト云フコトハ、是ハ否定スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソコデ國民ガ酒ヲ飲ンデ、自分ノ健康ヲ害スル虞ノアル場合、ソコニ國民ノ健康ヲ改善スベキ一ツノ費用ヲ積立テ行ク、斯ウ云フ組織ヲ財政ノ上デ立テ行クコトガ必要ダト私ハ思フ、即チ酒稅ノ何「パーセント」ヲ新ニ賦課シテモ宜イノデアリマス、又煙草ガ國民ノ健康上ニ相當ノ影響ヲ與ヘルコトモ事實デアリマス、ソコデ煙草賣上利益金ノ何「パーセント」、其他色々國民ノ健康ニ關

係ノアリマスル國民ノ消費ニ對シマシテ、一ツノ目的稅ヲ設定スル、先刻モ松田君ヨリ質問ガアッタト思フノデアリマスガ、今回値上ヲサレマス煙草ノ利益金ダケニ依ッテモ、此保險組合ヲ普及セシムル相當有力ナ財源ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマスガ、酒稅ノ何「パーセント」トカ、煙草ノ利益金ノ中ノ何「パーセント」トカ、其他國民健康ニ影響ノアリマス色々ノ國民消費ニ對シマシテ、一ツノ目的稅ヲ設定シ、其基金ヲ作ル、サウシテ少クモ一億圓位ノ基金ヲ年々計上致シマシテ、此國民健康ノ問題ヲ根本的ニ解決スルコトニ付テ、當局ハ御考ニナラナイカ、サウ云フヤウナ點ニ付テ從來カラ或ハ御研究ニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、之ニ付テ御考ヲ承ッテ見タイ

ソレハ此組合ニ關聯致シマシテ同時ニ現在ノ開業醫制度ニ改善ヲ加ヘテ行クト云フ點ニ付テハ、只今調査中デアルト云フコトヲ聞イタノデアリマスガ、只今ノ開業醫制度ニ關シマシテ、圖モスレバ現在ノ開業醫ノ中ニ相當ニ暴利ヲ貪ル傾向ノアル者ガ間々無キニシモ非ズ、大體ニ於テ、日本ノ開業醫ハ、非常ニ犧牲的ノ努力ヲサレテ居ケレドモ間々サウ云フ者ガ無イトモ限ラナイ、茲ニ一ツノ實例ヲ申上ゲマスルナラバ、府下ノ高圓寺ニ住ム滿人夫妻ガ赤ン坊ノ中耳炎デ、其ノ地方ノ醫者ニ診療ヲ乞ヒマシタ所ガ、入院セヨ、入院ノ際ニ百圓前納金ヲ取りマシテ、三日間入院シテ居リマシテ、其ノ後二十日バカリノ中ニ三百餘圓ト云フ金ヲ支拂ッ

○氏家政府委員 只今ノ問題ハ非常ニ大キイ問題デアリマシテ、大藏省ニ於キマシテモ他ノ政府委員、或ハ大臣等カラ御答シタ方ガ適當カト思ヒマスガ、現在マデノ所デハ酒ヤ煙草ノ收入ノ一部ヲ割クトカ、或ハ目的稅ヲ設定スルト云フヤウナコトハ考ヘズニ、只今提案シテ居リマスルヤウナ仕組デヤッテ行クト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○西川委員 大變長クナッテ失禮デアリマスガ、モウ一ツ御問シテ質問ヲ打切りマス、マシテ一回ノ治療費ガ二圓五十錢、一日五圓ツ、取ラレタト云フ事實ガアル、是ハ私コチラデ聞イタ一ツノ例ニ過ギマセス、相手ガ滿人デアリマシテ言葉ガ通ジナイ爲ニ、非常ニ暴利ヲ貪ツタ例デハナイカト思ヒマスガ、吾々ノ地方ニ於キマシテモ左様ナ事例ハ間々アル、特ニ現在ノ醫師會ノ規則ニ於キマシテハ、醫藥ノ最低料金ノ規定ハシテ居リマスケレドモ、上ノ方ハ制限ガアルノカナイノカ能ク分ラナイ、隨テ幾ラ取ラ



レルカト云フコトデ非常ニ不安心デアリマス、是等ニ對シテ適當ナル取締ヲ、此組合ノ施設ト共ニ並行セシムルノ方法ハナイカ、又現在當局ハ斯様な場合ノ取締ハ、如何ナル方針ヲ以テ臨ンデ居ラレルカ、是等ニ付テ伺ヒタイ

○林政府委員 只今ノ問題ハ大綱ニ申シマス、例ノ藥價令ヲ制定スルカドウカト云フ問題ニマデ進ムカト思ヒマス、本年度ヨリ制定致シマスル調査會ノ五項目ノ一項目トシテ、藥價令制定ノ可否ガ掛ケラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ現在ノ藥價ニ付キマシテハ、御話ノ通り各醫師會ニ於テ決定スル所ニシテ不都合ナクンバ、其處理ニ委シテ居ルヤウナ關係カラ、稀ニサウ云フ問題ガ起ツテモ、當局ノ監督ノ眼ニ觸レナイ場合ガアルダラウト考ヘマス、十分當局ニ於テモ注意致シマシテ、左様な場合ノ起ラナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○西川委員 大體ニ於テ、御答辯ニ十分満足シタ譯デモアリマセスケレドモ、大變時間モ長クナリマシタカラ、之ヲ以テ打切りマスガ、大臣ニ對スル質問ハ保留シテ置キマス

○添田委員長 次ハ高田君ノ順ニナツテ居リマスガ、大臣ノ出席ノ時ト云フコトデア

リマスカラ、山田順策君

○山田委員 私モ大臣ノ出席ヲ俟チマシテ、親シク大臣ニ御答辯ヲ御願シタイト存シテ居リマスガ、今日出席ニナリマセヌカラ二三當局ノ方ニ御質問ヲ申上ゲタイト存ジマス、法案ノ第十三條デアリマスガ、「國民健康保險法施行ニ必要ナル命令草案要綱」ト云フノガゴザイマスガ、恐ラク當局ハ此命令草案要綱ト云フモノニ依ツテ、是ガ法律ノ執行ニ掛カルノデハナイカト想像シテ居ルノデゴザイマス、此第十三條ニ依リマスルト、昨日松田君モ御質問ニナリマシタガ、收入ノ一千七百圓以上アル者ハ除クコトニ相成ツテ居リマス、又第三ノ「其ノ他地方長官ノ指定シタル者」ト云フコトニ相成ツテ居リマスルガ、是ハ一體ドウ云フ内容ヲ持ツテ居ルノデアルカ、其點ヲ先ツ第一ニ御伺致シマス、又國民健康保險ノ實施サレテ居ル先進國ヲ見マスルト、世界ニ於キマシテ英國、獨逸、或ハ佛蘭西其他十數箇國ハ強制制度ヲ採用シテ居リマスルガ、何故ニ此法案ニ付キマシテハ特ニ任意制度ニ爲シマシタカ、此點ニ付キマシテ先ツ第一ニ當局ニ御答辯ヲ願ヒタイ、任意制度ニシタト云フ根據ハ何處ニアリマスルカ

○進藤政府委員 本法案ニ於キマシテ加入

強制、設立強制ヲシナイデ任意ニシタト云フ理由ニ付キマシテハ、是ハ實ハ今回ノ日本ノ法制ト同ジヤウナ趣旨ノモノハ外國ニモサウ例ガ無いノデゴザイマシテ、丁抹アタリニハ見ラレルノデアリマスガ、其他ノ國デハ斯ウ云フ農村ヲ目的ニシタモノハ餘リ無いノデゴザイマス、日本デハ大體地方農村ニ斯ウ云フ組合ヲ作ルニ付キマシテハ、ヤハリ成ベク地方ノ從來ノ隣保相扶ノ精神ト云フモノヲ土臺ニシテ、自然ニ無理ナク圓滿ニ出來ルヤウニシタ方ガ宜カラウ、法律ヲ以テ強制シテ作ラセルト云フノデハ、將來圓滑ニヤツテ行ク上ニ於テドウモ宜クナイダラウ、又一面サウ云フ風ニ法律デ強制シナイデモ、日本ノ地方農村ニ於テハ、任意デモ相當指導シテ行ケバ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ風ニ考ヘマシテ、強制主義ヲ採ラナカッタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ、組合員ノ資格ヲ有スル者三分ノ二以上デ組合ヲ設立スル場合ニハ、地方長官ハ其殘リノ者ニ付テモ加入強制ヲスルト云フ強制規定ガアリマス、其場合多額ノ收入ノアル者ヲ除ク、此多額ノ收入アル者ヲ除ク理由ニ付テデゴザイマスガ、元來ハ一昨日モ御答申シマシタヤウニ、町村民全部一致加入ト云フコトヲ精神ト致シマス

ルノデ、全部ノ加入ヲ希望シ、又事實サウ云フ風ニナルデアラウト信ジテ居リマスルガ、茲ニ極ク少數ノ者ガ加入ヲ希望シナイト云フ場合ハ、其者ガ非常ニ金持デアルト云フ場合ハ之ヲ必ズシモ強制シナクテモ、組合ニ入ラナイデモ組合ノ成立ヲ妨ゲナイト云フコトデ宜クハナイカ、元來此健康保險ノ精神ハ金持ノ爲ノ施設ト云フノデハナイノデアリマスカラ、ソレハ支障ナイノデハナイカト云フノデ、強制シテマデ金持ノ加入ヲ強イルコトハ宜シクナイト云フノデ除イタノデアリマス、其金持ト云フコトノ程度デアリマスガ、是ハ極メテ難カシイノデ、實際問題ニ於テハ、其地方ニ於テ常識的ニ決メテ戴クコトニナルト思ヒマスルガ、大體ハ所得稅ノ免稅點アタリノ程度デ、詰リ收入千七八百圓程度以上ハ除キ得ルコトニシテモ宜イデハナイカト考ヘタノデアリマス、ソレカラ第三ノ「其ノ他地方長官ノ指定シタル者」ト云フノハ、餘リ豫想スルモノハナイノデアリマスガ、醫者ナドノ場合、サウ云フ場合ハ入ラヌト云フノハ入レナクトモ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ趣旨デス

○山田委員 次ニ第四十六條ノ規定デアリマスガ、第四十六條ニハ正シク自由選擇主義ヲハッキリ規定シテ居ラレマス、是ハ被保

險者ニ取リマシテハ非常ニ好都合ト存ズルノデアリマスガ、茲ニ本員ハ一ツノ疑義ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ自由選擇主義ヲハッキリ規定シテアリマシテモ、一町村ニ假ニ五人ノ醫師ガ開業シテ居ルト假定シマシテ、其五人ノ醫師ガ開業シテ居リマスレバ、恐ラク保險ノ契約ヲ致シマスル際ニ、必ズ五人ノ者ヲ相手ト致シマシテ、所謂診療ノ契約ヲ致スコトト相成ルノデハナイカト想像致シマス、サウ致シマスル際ニ於キマシテ、若シ被保險者ガ病氣ニナッテ其病氣ガ其五人ノ醫師ノ標榜シテ居ル専門以外ノ場合ニハ、被保險者ハソレ以外ノヨリ良キ醫者ヲ選擇シタイト云フ場合ニ於キマシテ、所謂一ツノ行政區域ヲ土臺トシテ考ヘマスレバ、其五人以外ノ醫者ニ掛ルト云フコトガ、實際上ノ運用ノ上ニ少シク不都合ヲ生ジテ來ルデハナイカト想像致シマスルガ、斯様ナ點ニ付キマシテ政府當局ハドウ云フ風ナ調整ヲシテ行クカト云フコト、ソレニ對スル所ノ御腹案ガアツトラ御伺フシタイ、斯ウ云フヤウナ實際問題ノ場合ニ於キマシテ、ソレヲ如何ニ運營シテ行クカ、此點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイ

○進藤政府委員 組合ノ醫療ヲ行ヒマス醫師ノ範圍ニ互リマスガ、只今ノ御話ノヤウ

ニ、其村ニ五人アル場合ハ、五人ト一々契約スルト云フコトモアリマセウガ、又郡醫師會ト云フヤウナモノト組合トガ契約ヲシテヤルト云フ方法モアルノデアリマシテ、ソレモ只今例ニ申上ゲマシタヤウニ、四五人シカ村ニ醫者ガ居ナイト云フ場合ニ於キマシテ、専門ノ醫者ガ其處ニナイト云フヤウナ不便モ起ルノデアリマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、却テ郡醫師會ト廣ク契約ヲシテ行ク方が便利ダラウト思ヒマス、サウ云フ方法ヲ取ラシテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ又サウ云フ方法ヲ取ッテ居ナイ場合ニ於テ、特ニ専門ノ他ノ醫者ニ掛ル必要ガアルト云フ場合ハ、ソレハ契約外ニモヤッテ宜イ、ソレ以外ハ組合ノ方デヤルコトニ致シテ居リマス

○山田委員 五十四條ノ許可ノ場合ヲ少シク御聞キ申シタイト思ヒマス、命令要綱ノ第二項ノ點ニ於キマシテ、財政ノ基礎鞏固ト云フコトヲハッキリ明記シテアリマス、事業ノ成績良好ニシテ醫療ニ關スル施設ノ内容ノ適當ナルモノ、財政ノ基礎ノ鞏固ト云フコトニ付キマシテ、當局ハ如何ヤウニ考ヘテ居ラレマスカ、是ハ農林當局ガ御答辯スルノガ當然ダト存ジテ居リマスガ、此際厚生省ノ政府委員ハ如何ヤウナニ對スル

案ヲ持ッテ居ラレマスカ、私ノ考ト致シマシテハ、恐ラク全國ノ醫療利用組合ニ於キマシテハ低利資金ヲ融通致シマシテ、所謂借入金ヲ致シマシテ病院ヲ建設シテ、其建設致シマシタ病院ハ、恐ラク其低利資金ノ元利金共ニ償還ガ出來得ナイ實情ニアル醫療組合、所謂醫療組織ノ利用組合、是ガ多イデハナイカト私ハ思ヒマスガ、サウ致シマスト財政ノ基礎ノ鞏固ト云フコトハ、少クトモ借金ノ多イノヲ財政ノ基礎ノ鞏固ト云フノハ一寸受取レヌノデゴザイマス、斯様ニ考ヘマスレバ、若シ財政ノ基礎ノ鞏固デアルト云フコトハ、醫療利用組合ノ組合員ガ多數アリマシテ、其口數ヲ相當ニ多ク持ッテ居リマシテ、其出資金ニ依リマシテ一切ノ病院ヲ經營シ、サウシテ相當ノ利潤ヲ得テ居ル、左様ナ組合ヲ指シテ即チ財政ノ基礎ノ鞏固ト云フコトヲ、法ニ明記サレタノデハナイカト想像シテ居リマスガ、此點ニ付テ如何ヤウナル御見解ヲ持ッテ居ラレマスカ、御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス

○清水政府委員 御答致シマス、財政ノ基礎ノ鞏固ト申シマスノハ、大體普通常識デ申シマス通りノコトデアリマシテ、將來此組合ヲ經營シテ行ク上ニ於テ、經營上財政的ニ支障ガナイノミナラス、危險ガナイ、

斯ウ云フ種類ノ組合ナラバ宜シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山田委員 是ハ何レ又農林大臣ニハッキリ御聽キシタイト思ヒマスカラ、其時ニ讓リマス、今回ノ此法案ニ依リマスルト、國民健康保險委員會ト云フモノハ重要ナル役目ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、保險給付ノ不腹ノ決定、組合ノ醫療ノ範圍ノ決定、組合ノ醫療機關トノ契約紛爭斡旋等、洵ニ重要ナル事項ヲ審議スル一ツノ機關デゴザイマス、仍テ本法ヲ運用スル所ノ一ツノ委員會ノ構成ハ洵ニ重大ナモノデゴザイマスルガ、臨時委員乃至ハ官吏ノ委員ヲ選定致シマスル所ノ其目安ハ、一體何處ヘ置イテアリマスカ、此點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問ノ官吏二人トゴザイマスネ

○山田委員 デスカラ官吏ト臨時委員ヲ選定スル標準ヲ何處ニ置キマスカ

○進藤政府委員 官吏ハ大體縣ノ警察部長、學務部長、或ハ經濟部部長ニナルカモ知レマセスカ、マアサウ云フ關係ノアル部長、ソレカラ臨時委員ノ場合ハ醫師會、齒科醫師會、藥劑師會以外ノ、詰リ産婆トカ看護婦トカ云フヤウナ者ノ代行者ヲ豫想シテ居リマス

○山田委員

組合ノ醫療給付ハ地方ノ實情ニ依リマシテ、給付ノ内容ヲ自治的ニ決定スルコトニ相成ツテ居リマスルカラ、保險料ノ如何ニ依リマシテ組合ノ經濟内容、給付ノ範圍ガ自ラ違ッテ來ルノデゴザイマスルガ、此點ニ付キマシテ、假ニ隣接町村ニ於キマシテ、甲ノ村ハ保險經濟ノ關係カラ保險料ガ違フ、詰リ保險ノ徵收料ガ違ッテ來ル、サウシテ又給付ノ内容ニ於テ違ッテ來ル、乙ノ村ハ保險經濟ノ關係ニ依リマシテヤハリ保險料ガ違ッテ來ル、又給付ノ内容ガ違ッテ來ルト云フヤウナコトニナリマスルト、此點ニ付キマシテ町村ノ隣接シタ所ノ人達ハ保險料ノ料金ニ差等ヲ生ジ、給付ノ内容ニ非常ナ差等ガアルトシタナラバ、是ハ少クトモ町村ノ隣接地區ニ居住シテ居ル所ノ人達ハ、甚ダ不可思議ナ狀態ニ相成ルノデアリマス、所謂均霑シタ給付ノ内容ニ預ルコトガ出來得ナイト云フヤウナ、實際ニ即シタ問題カ持上ッテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、此點ニ對シテ政府當局ハ如何ニ調整シテ行クカ

○進藤政府委員

御尋ノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、保險料ナリ給付ハ組合ノ自由ニ委セルノガ、地方自治ニ適スルト云フコトモアリマスガ、只今ノ御話ノヤウニ全ク類

似シタ、而モ隣接シタ所デ、相違ヲ來スベキ理由ガナイ場合ニ、相違スルト云フヤウナコトハ、是ハ不合理デモアルシ、又加入者トシテモ非常ニ奇異ナ感ジラ持ツ譯デアリマスカラ、サウ云フ場合ハ、無論政府當局ト致シマシテ、又縣當局ニ於キマシテモ、其原因ヲ探究シテ、サウ云フ不公平ノナイヤウニ致サセルコトハ出來ルト思ヒマス、唯隣リ同志デモ非常ニ狀態ガ違フ、一方ハ町ト云ッテモ市内ノヤウナ所デ、一方ハ非常ナ邊鄙ナ所ト接近シテ居ルヤウナモノハ、ドウモ相違シテ居ッテモ已ムヲ得ナイ理由ガアルト思ヒマス、理由ノナイヤウナ場合ノ違フト云フコトハナイ筈デアリマスカラ、若シ起ルノハ經營ノ方法ガ悪イカ、何カニ間違ヒガアルト思ヒマスカラ、其點ハ矯正致シタイト思ヒマス

○山田委員

給付ニ關聯シテ居リマスルガ、政府ガ大體各組合ニ補助スル上ニ於キマシテ、凡ソ目安ヲ付ケテ、成ベク貧弱町村モ普通ノ町村モ大シク差等ヲ付ケズシテ補助サレルコトト存ジテ居リマスルガ、此點ニ付キマシテハ、差等ヲ付ケズシテ補助ヲ組合ニ致シマシテモ、實際ニ於テ組合ノ内容、給付ノ内容ニ於キマシテハ、最初ヨリ規則ノ上ニ給付ノ内容ニ差等ヲ付ケルヤウ

ナ規則ノ内容ヲ規定シテアルト云フコトハ、少シク矛盾シテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、成ルベクナラバ、政府トシテハ、補助ニ付キマシテハ、不公平ナコトガナク、公平ニ各組合ニ補助ラシテ行カウ、併シ規定ニ依リマスルト、其保險給付ノ法律ノ規定ノ上カラ考ヘテ見マスルト、既ニ差別ヲスルヤウナ規定ヲ作ッテアルト云フコトハ、其立法ノ精神ニ於キマシテ、何トナク矛盾ノ嫌ヒガアルコトハナイカト存ジテ居リマスルガ、如何ニ御考ヘニナリマスカ、保險給付ノ之ニ付テノ規定デゴザイマスルガ……

○進藤政府委員

補助ノ公平ト云フコトデゴザイマスルガ、是ハ補助金ノ算出基礎如何ニ依ッテ、公平トカ不公平トカ決ル譯デアリマスルガ、色々算出基礎ハ方法ガアルノデアリマスルガ、大體ニ於テ現在ノ補助金ノ基礎ハ、被保險者一人當リノ入費ノ一割見當ト云フコトデ豫算ガ取ッテアリマス、之ヲ分ケル方法ガ色々アリマスガ、大體研究シマシタ結果、人頭割、人數ニ應ジテ分ケルト云フノガ一番宜カラウ、斯ウ考ヘテ譯デアリマス、人頭割ニ致シマス、地方ノ事情ニ於テ、ドウシテモ一本デハ實際ノ公平ト云フコトニナルノガ困

難デアリマスノデ、ソコデ大體實際ノヤリ方ト致シマシテハ、年ニ二回ニ分ケマシテ、最初ハ年度ノ初メニ半額位ヲ人頭割ニシテヤル、ソレカラアトノ半分ハ、是ハ時々斯ウ云フ事情ガ起ルノデアリマス、特別ニ其地方ニ流行病ガ流行ルトカ、或ハ天災事變ガアルト云フコトデ、病氣或ハ傷害ガ非常ニ殖エタ、斯ウ云フモノニ付テハ、ヤハリ是ハ補助ヲ増シテヤルノガ適當デアルト思ヒマス、サウ云フ譯デ、アトノ半分ハソレ等ノ事情ヲ見マシタ上デ、年度ノ終リニソレ等ノコトヲ斟酌シテ渡ス、斯ウ云フヤリ方デアリマス、サウ云フヤリ方ニ依ッタノガ一番公平デアリ、又實際ニ適シテ居ルダラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○山田委員

サウ致シマス、補助ノ點ニ付キマシテハ、大體例ヘバ人頭割ニ致シマシテ十六万六千六百六十六圓デスガ、ソレヲ百二十組合ヘ補助スル、ソレデ一組合ハ四千二百人トスルト云フコトヲ標準ニシテヤル、ソレデ、町村ノ經濟ト云フコトニ對シテハ別ニ考慮ヲ拂ハナイ、町村ノ形態ニ對シテハ考慮ヲ拂ハナイ、組合ノ内容ニ對シテモ考慮ヲ拂ハナイ、又其組合ノ給付ノ内容ニ付テモ、内容ノ如何ニ依ッテ此補助ト云フコトニ對シテ考慮ヲ拂ハナイ、全部

人頭割デ行クヤウニ出テ居リマスガ、ヤハリ執行ニ當ッテハ、サウ云フ風ニ取計ラフト云フ御意思デゴザイマセウカ

○進藤政府委員 先程御説明ニナリマセヌデシタガ、突發的ノ天災又ハ流行病ト云フコトノ外ニ、貧弱町村トカ云フヤウナ町村ノ状態ヲモ考慮シテヤッテ行クコトニナルノデアリマス

○山田委員 サウ致シマス、一體特別ノ事由アル組合ハ助産ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲サザルコトヲ得ルコトニ規定シテ居リマスガ、是ハ何ガ故ニ最初ヨリスフ云フ風ナ規定ヲ作ル必要ガアリマセウカ、私共トシマシテハ、成ベク給付ノ内容ハドノ組合モ同様ニ致シテ行クト云フコトガ最モ國民健康保險組合ノ趣旨ヲ徹底スル上ニ於テ一番好都合デアリ、又ソレガ非常ニ國民ト致シマシテモ要望シテ居ル所デハナイカト存ジテ居リマスガ、此規定ヲ見マスルト、最初ヨリ助産ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲サザルコトヲ得ルト云フコトニ相成ッテ居リマスカ、此點ニ付キマシテハ、如何様ニ考ヘテ居リマスカ

○清水政府委員 御答申上ゲマス、大體此國民健康保險組合ノ給付ハ、立前ト致シマシテ、組合ヲ作ツタ以上ハ、醫療ハ是非シナケレバナラス、ソレカラ助産、葬祭ノ方ハ

是ハ第二段ニ考ヘマシテ、地方ノ事情ニ應ジテ、シタ方ガ宜イト云フ地方ニハ致ス、斯ウ云フ風ニ二段ニ分ケテ居リマス、ソレハ何故カト申シマス、最モ此地方デ困ッテ居リマスノハ、實際問題トシテハ、醫療費

ノ負擔ト云フコトガ、第一デアリマス、助産或ハ葬祭ニ付テハ只一遍ダケノコトデモアリマスシ、サウ長引キモシマセヌシ、又近隣カラノ救ヒガアル場合モアリマシテ、多少醫療ノ負擔トハ様子ヲ異ニシテ居ル所モアリマス、隨ヒマシテ之ヲシナイデ宜シイト云フノデハアリマセヌガ、此方ハ或

ル程度何トカ出來ル場合モアリマスシ、其土地ノ事情ニ依リマスカラ、ソコデ組合ヲ作ルト云フ場合ニハ入レテモ宜シ、入レヌデモ宜シト云フ立前ニシテ居リマス、唯醫療費ノ方ハ組合ヲ作ル本旨ヨリ考ヘマシテ是非ヤル、斯ウ云フコトデアリマス

○山田委員 普通醫療ト齒科醫療トハ不可分ノモノト存ジテ居リマス、是ハ併行シテ給付セシメルト云フコトガ一番國民健康保險ノ趣旨ニ合フコトト存ジテ居リマスガ、政府ハ此點ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカ、七十議會ニ於キマシテ、河原田内

相ハ、國民健康保險類似ノ組合ノ模範デアルト云ハレマシタ彼ノ埼玉縣ノ順生會ノ如

キ組合デモ組合ノ經濟ガ窮迫致シマシテ、齒科ノ醫療ニ付キマシテハ之ヲ中止致シマシタ事情ニ相成ッテ居リマスルガ、私共ノ考ト致シマシテハ、普通醫療ト齒科醫療トハ不可分ノモノノヤウニ考ヘラレマスルガ、此點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ御願致シマス

○清水政府委員 齒科診療ノコトデゴザイマスガ、吾々ト致シマシテハ醫療トシテ普通ノ醫療ト齒科醫療兩方ガアルコトヲ最モ望マシイト考ヘテ居リマス、唯地方々々ノ實情ニ依リマシテ、或ル組合デ齒科醫療ガ出來ナカツ場合ニ、ソレヲ是非ヤラナクテ

ハナラヌカト云フ所マデハ實ハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ土地ノ事情等ニ依リマシテ給付ニ差等ガ付イテ參リマス一例ニナルカト存ジマス

○山田委員 農林參與官が見エテ居リマスカラ一寸御尋致シマスルガ、先程一寸質問申上ゲマシタガ、現在産業組合ニ於キマス利用組合デ全ク財政ノ基礎ガ鞏固デゴザイマシテ、黒字ノ經營ヲ致シテ居ル組合ガ全國ニドレ位アリマスルカ、此點ヲ先ヅ第一ニ御伺シタイト思ヒマス

○助川政府委員 昭和十年度末ニ於キマシテ二百五十七ノ組合數デアツテ、其中赤字ヲ出シテアツノガ三十三組合デアリマス、其殘

リガ黒字ト云フコトデアリマス

○山田委員 ソレハ昭和十年デスカ

○山田委員 七十議會ニ於キマシテ、私確ト存ジマセヌケレドモ、問題ニナツタ時ニ、昨年ノ三月三十一日ノ現在ニ依リマスルト、所謂醫療利用組合デ全ク經營ノ順調ニ行ッテ居リマシテ、醫療設備ガ完備シテ居ルハ全國ニ二十有餘デアルト云フコトヲ言ハレタト聞イテ居リマスルガ、是ハ私ノ間違ヒデアルカドウカ、其點或ハ私ガ間違ヒカモ存ジマセヌ、今一ツ農林參與官ニ伺ヒタイト思ヒマスガ——是ハ何レ農林大臣ト厚生大臣ガ出席致シマシタ時ニ伺フコトトシテ、私ノ質問ヲ保留シテ是デ止メテ置キマス、質問ヲ終リマス

○添田委員長 次ハ北君

○北委員 私モ實ハ本案ノ一日モ早く成立スルコトヲ望ムデ居ル者デアリマシテ、全ク行懸リヲ捨テテ、殊ニ此國家ノ現狀、戰時並ニ此戰後ニ於ケル國民ノ健康狀態、國民ノ保健ト云フコトハ差違ッタ問題デアリマスカラ、此現狀ニ鑑ミテ是非共此保險組合ノ普及發達ヲ一日モ早くサセタイ、此法文ヲ全ク使フコトノ出來ナイ空文ニサセタクハナイ、斯ウ云フヤウナ考カラ申上ゲル

ノデアリマスカラ、今猶何カノ行懸リニ因ハレテ居ルヤウナ先入主デ御答辯ヲ願ハヌヤウニシタイ、斯ウ思テ居リマス御伺シタイコトハ、當局ハ本法實施後ニ農村デ此保險組合ガ出來ル場合ニ、一組合ノ加入戸數ヲ大體ドレ位ニ考ヘテ居ラレルカ、ソレカラモウ一ツハ同時ニ此一組合ノ要スル一箇年ノ經常費、是ハ保險給付金ノ以外ノ經常費ト云フヨリハ保險組合ノ保險給付金以外ノ經常費ガ何程要ルモノカ、例ヘバ事務所借上費トカ或ハ消耗費、光熱費、役職員ノ給料、旅費、集金費用、是等ノモノガ大凡ドレ位掛ルカ、是ハ勿論凡ソデアリマス、大體デ宜シイデスガ、之ヲ承ッテ見タイ

○清水政府委員 御答致シマス、大體一組合當リノ被保險者ノ數ハ豫算ニ於キマシテハ四千二百人ト豫定致シマシテ補助金ヲ計上致シタノデアリマス、唯實際問題ト致シマスト是ハドノ位ニナリマスカ、組合ガ出來テ見ナイト實ハ分ラヌノデアリマス、先ヅ大體普通ノ農村ノ平均ト云ヒマスト今ノ四千二百人デスガ、大體ノ所トシマシテハ四千二百人ヨリハモウ少シ少クナリハシナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ費用ノ點デアリマスガ、是ハ大體事務所費、其他事

務ニ要スル費用ガ給付ノ費用ノ五分程度、ソレカラ積立金ガヤハリ五分程度位要ルンデヤナイカト考ヘテ居リマス

○北委員 サウスルト大體約八百戸位ノ所ガ標準ダト斯ウ考ヘテ宜イ譯デアリマスカ

○清水政府委員 サウデス

○北委員 大體ソシナモノデスネ、ソレカラモウ一ツ御伺シテ置キタイコトハ府縣ニ依ッテ罹病率ガ非常ニ違フ、道府縣ニ依ッテ此罹病率ガ非常ニ違フガ、補助率ガ之ニ應ジタヤウニ按分サレルモノカドウカ、何ボ罹病率ノ低イ所デモ高イ所デモ同ジヤウニ一人一圓ト云フ割合デヤラレルノカドウカ、是ガ能ク分ッテ居ラヌト計畫ガ立タヌ、又非常ニ罹病率ノ高イ所ニ補助ガ少イト云フコトニナルト成立シナイ、ソレデスカラ先ヅ此方針ヲ承リタイ

○清水政府委員 補助金ノ問題デアリマスガ、大體ハ人頭式デ元々計算ハ致シテ居ルノデアリマスガ、分ケマス際ニハ人頭式ノ計算ノ外ニ、地方ノ事情ト云フモノヲ考慮スル部分ヲ或ル程度入レタイト思ヒマス、隨ヒマシテ御話ノ如キ非常ニ罹病率ノ多イヤウナ所ト云フヤウナコトモ考慮シテ居リマス、ソレカラ貧弱町村デ負擔力ガ少イト云フヤウナ所モ考慮シテ居リマス、ソレカ

ラ尙ホ災害等ガアリマシタ特別ノ場合ニハ、特殊ニ是モ考慮スル、非常ニ病氣ガ流行ッテラ考慮スルト云フヤウナコトニナリマス

○北委員 原則トシテ一村一組合ト云フコトニナッテ居ルノデスガ、實ハ北海道ノ如キハ非常ニ大キナ村ガアルノデアリマシテ、一箇村ニ停車場ガ多イ所ハ六ツモアルト云フヤウナ狀況デアリマス、香川縣一縣ヨリハ廣イト云フ町村ガ澤山アル、大抵一停車場ヲ中心トシテ物資ガ集散シマス爲ニ、其處ガ丁度一村ト同ジヤウナ形ラシテ居ルノデアリマス、產業組合ノ如キモサウ云フ所ヲ中心ニシテ居ル、一村ノ中デモ組合ガ幾ツモ出來テ居ル、之ヲ尙且ツ此原則ヲ割ラズニ、一村一組合ト云フヤウナコトニハ出來ナカラウト思フノデアリマスガ、其御方針ヲハッキリ承ッテ置クコトガ必要デアリマス

○清水政府委員 只今ノ組合ノ區域デアリマスガ、是ハ原則ハ御話ノ通り一町村デアリマス、事情ニ依リマシテハ町村ノ一部分或ハ數町村ト云フヤウナコトモ勿論認メラレル譯デアリマス

○北委員 午前中モ色々質問ガアリマシタヤウニ、保險給付金ハ政府ノ考ヘテ居ラルルノヨリモ相當開キガアルト思フノデアリマス、所謂疾病率ノ見積リガ過少デアル、是

ハ色々點ガアリマスガ、類似組合ヲヤッタ所ハ、御醫者サンガ、仕事ガ忙シクナッタト何處デモ言ヒマス、之ニ依ッテモ現在表ニ現ハレテ居ルヤウナモノデハナイ、モット疾病率ガ高イノダト云フコトニナルト思フノデアリマス、色々御説明モアッタノデスガ、ドウモ私共ハ先程ノアノ御説明デハ納得シ兼ねルノデアリマス、恐ラク政府ノ考ヘテ居ラル、ヨリモモット五割位モ増スノデヤナカラウカ、私共實際ヤッテ見テ實驗上サウ云フコトガ思ハレルノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ御調査ガマダ徹底シテ居ラヌノデハナカラウカト思フノデスガ、如何ナモノデスカ

○清水政府委員 醫療費ノ御話デゴザイマスガ、是ハ大體御話ノ通り組合ヲ作リマスト、醫者ニ行ク人モ多クナルン、相當是ハ從來ヨリモ掛ルコトト思ヒマス、デアリマスノデ實ハ吾々ガ考ヘテ居リマス醫療費ト申シマスノハ、農村ニ付テ經濟調査ヲ致シマシタ際ノ醫療費ノ平均ニ五割位増シマシテ、ソレデ大體ノ見當ヲ付ケテ譯デアリマス、其見當デ以テ一方今御話ノ類似組合デアラシテ居リマス例ヲ集メテ見マス、是ハ一寸先刻モ申シマシタノデスガ、大體今ノ所最高二十圓程度ニハナッテ居リマスガ

ラ、ドウモ現在ノ所で見マス、吾々ノ考ヘテ居ル程度デ一應落著クノデハナカラウカ、是ハ非常ニ僅カノ經驗デアリマスカラ、ハッキリシタ事ハ申上ゲラレマセウガ、一應其邊デ落著クノデハナカラウカ、隨ッテ吾々ノ考ヘテ居ル從前ノ調査ノ五割増程度デ一應組合ノ經濟ヲ立テテ考ヘテ見テ、今ノ所大體其數字ニ依ッテ居ル譯デアリマス

○北委員 政府ノ其御見當ニ從ヒ、其御方針ニ從ヒマシテ此保險組合ヲヤリマシテ、若シ非常ニ赤字ガ出タ場合ニハ、其救済ヲドウ云フ工合ニ爲サル御積リデアアルカト云フコトデアリマス、大體ハ政府ガ責任ヲ負フスカドウカ、又赤字ガ出タラ仕樣ガナイ、ソレハ自分が責任ヲ負ヘト云フノデアリマスカ、是ハ拵ヘルカ拵ヘマイカト云フコトノ分岐點ニナリマスカラ、此點ニ付テ責任アル御答辯ヲシテ戴キタイ

○清水政府委員 御答致シマス、只今ノ御話ノ經濟ノ點デアリマセウガ、是ハ大體初マリニ非常ニ周密ナ指導ヲ致シマシテ、組合ノ設立ニ付テハ十分箇々ニ、俗ニ申シマス手ヲ執ッテ教ヘルト云フヤウナ工合ニヤッテ行キタイト思ヒマス、隨テ初マリニ其土地ノ狀況等ニ依リマス疾病ノ狀況等モ調査シ、

十分安全ヲ見タ料率ヲ決メサシテ、是デ宜カラウト云フヤウニ指導シテ行キタイト思ヒマス、サウシテ尙ホ其後モ十分監督ヲ致シマスノデ、若シ赤字ニナルヤウデアリマシタナラバ、多少其内容ノ變更ヲシテ貫ハナケレバナラヌコトニナルノデハナイカト思ヒマス、其方法トシマシテハ、保險料ヲ上ゲルト云フ方法モアリマセウシ、ソレカラ一部負擔ノ割合ヲ増ス方法モアリマセウト思ヒマス、或ハ給付ノ内容ニ多少變更ヲ加ヘルト云フヤウナ方法モアルト思ヒマセウガ、サウ云フ風ナコトデヤッテ見マシテ、一年ナリ二年ナリ經驗ヲ積ミマシタラ、十分落著イタ保險料ト云フモノガ計算出來ルヤウニナルガラウト思ヒマス、初カラドウモハッキリトシタモノハ出來ナイト思ヒマスカ、先ツ調査シマシタ現狀ニ依ッテ作ル以上ノモノハ出來マセウ、近イ將來ニ多少ソレガ變更サレルト云フコトハ豫想シナケレバナラヌカト思ッテ居リマス

○北委員 ドウモサウ云フ工合ニ年度ノ申途デ變リマスコトハ、保險組合ヲ設立スル其當事者トシテハ實ニ苦シイコトデ、農家ノ如キハ極メテ單純デアリマスカラ、巧イコトヲ言ウテ騙サレテシマッタト云フコトニナッテ、ソレガ爲ニ翌年カラノ經營ニ非常

ニ支障ガアル、サウ云フ政府ノ方針ニ從ッテヤツタ以上ハ、少クトモ其一年ダケハ政府ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌモノト思ヒマス、勿論周到ナ用意ノ上ニヤラセルノデアリマセウガ、其點ニ付テモウ一度重ネテ御答ヲ願ッテ置キマス

○清水政府委員 大體今申上ゲタ通りデアリマセウガ、實際其計算ニ付キマシテハ相當周密ナ調査ヲ致シテ居リマス、現在ヤッテ居リマス類似組合ニ付キマシテモ、別ニ料率ヲ變ヘズ大體一年以上其方針デヤッテ居リマシテヤレテ居リマスカラ、先ツ心配ハナイモノト考ヘテ居リマス

○北委員 最近新聞ノ傳フル所ニ依リマス、全國ノ醫療組合即チ類似組合ハ何レモ大キナ赤字デアアル、先程順正會ノ御話モアリマシタガ、順正會ハアレハ旨ク行クダラウ、總テノ人が無報酬デヤッテ居ルノデモアリ、又普通ノ農村ト違ッテ裕福ナ村デモアリマスカラ、アレダケハ旨ク行クダラウト思ッテ私ハ見テ居ッタノデアリマセウガ、ソレサヘモ齒科醫ガ置ケナクナッタト云フヤウナ心細イコトヲ聞クノデアリマセウガ、其一番大キイ原因ハ何處ニアルト睨ンデ居ラレルカ

○清水政府委員 實ハ全部赤字ニナッテ居ルトハ吾々考ヘテ居リマセウ、多少月ノ收入ト支出ノズレルノガアリマスノデ、是ハ月ニ依リマシテ多少ノ變化ハアリマセウガ、大體ニ於テ順調ニ行ッテ居ルヤウニ心得テ居リマス、隨テ特ニ是レト云フ原因ヲ實ハ考ヘテ居ラスノデアリマス、越ケ谷ノ如キハ確ニ今齒科醫ヲ止メテ居リマス、是ハ經濟ガ持テヌト云フヨリモ、齒科醫師會トノ話合ガマダ付カズニ居ルト云フヤウナコトデアリマス、其點ハ國民健康保險法ガ實施サレマシタ曉ニハ、此法律ニ依ッテ國民健康保險委員會ト云フモノガ出來マシテ、契約ニ付テノ紛争ハ當事者ノ間ニ入ッテ此委員會ガ何トカ斡旋ヲシテ裁キ付ケルコトニナリマスカラ、何トカ收マリガ付クト思ヒマス、越ケ谷ノハ今申シマシタヤウナ狀況デアリマシテ、要スルニ話合ノ關係上、話合ガ非常ニウマク行ケバ別ニ赤字ニモナラナイデ、チャンストヤッテ行ケルト云フ狀況デアリマス

○北委員 サウシマス、醫師トノ間ニソレ等ノ類似組合ノ契約サレテ居ル料率ハ、現在ノ醫師會ノ規定ノ凡ソドレ位ニナッテ居リマスカ、ソレヲ御伺シタイ、二割出ストカ、三割出ストカ言ヒマスケレドモ、其二割ト云フコトハ、其基礎ガ醫師會ノ料率ノ

二割ト云フコトデアルカ、國民健康保險類  
似組合トシテノ料率ノ二割ヲ出スト云フノ  
デアルカ、是ハ二割デモ三割デモ基礎ガ違  
ヘバ大變ナ違ヒニナリマスカラ、其點ヲ御  
伺シテ見タイト思ヒマス

○清水政府委員 御答致シマス、大體現在  
ノ類似組合ノ例ヲ見マス、現行ノ醫師會  
ノ標準料金ヨリハ多少低クナツテ居リマス、  
其低クナツテ居リマスモノニ付キマシテ、一  
部負擔ヲ二割出ストカ、三割出ストカ云フ  
計算ニナルノデアリマスガ、實際問題トシ  
マシテハ、一部負擔ト云フノハ、二割三割  
ト言ヒマスト端數モ出マス、實際ノヤリ方  
トシテハ細カイ話ニナリマスガ、藥一服貫  
フ場合ニ何錢貫フカト云フ譯デ、大體是ハ  
二割見當、三割見當ト云フ見當ニ過ギマセ  
ヌ

○北委員 醫師トノ契約ガ全國的ニ今ノ類  
似組合ガ赤字ガ出テ居リマセストスルナラ  
バ、是ハオ醫者サンノ方ガ餘程割引サレテ  
居ルモノダト私ハ思フ、私ノ經驗カラ言フ  
ト、連モ二十圓ヤ、三十圓ヤ四十圓デ收マル  
モノデハナイノデアリマス、私ハ實際ヤツテ  
居リマスガ、ソナ金デ收マルモノデハナイ  
ノデアリマス、此處ニ私ハ大ナル疑問ヲ持  
ツ者デアリマス、ソレデ斯ウナツテ來マス

ト、國民健康保險ガ出來レバ、醫療費ハ非  
常ニ嵩ミマス、事務費ガ非常ニ餘計要ルノ  
デアリマス、先程モ御話ガアリマシタヤウ  
ニ、全國ノ戸數割、アレダケ喧シイ問題ニナ  
テ居ル戸數割ヨリハマダ、澤山取ラナケ  
レバ經營ガ出來テ行カスト云フコトニナル  
ノデアリマス、是ハ大變困ル問題デアルト  
思ヒマス、其結果ハオ醫者モ困ルシ、ソレ  
カラ患者モ困ル、保險組合モ困ル、所謂三  
疎ミニナツテシマフ、私ハ斯ウ思フノデアリ  
マス、ソレハ從來ノ勞働者ノ健康保險ノ實  
際カラ見マシテモ、アレモヤハリ三疎ミニ  
ナツテシマツテ居ル、確ニ私ハサウダト思フ、  
オ醫者サンハ餘計金ヲ貫ヘナイ、結局醫療  
ノ内容ハ低下シテシマフ、醫療ノ内容ガ低  
下サレ、バ被保險者ガ非常ニ困ツテ來ルト  
云フヤウナコトニナツテ、非常ナ不平ガ起  
テ來テ居ルト思フノデアリマス、之ヲ救フ  
途ハ私ハ財源ヲ豊カニスルヨリ外途ハナイ  
ト考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ政府當局  
ノ言ハレル通り、補助金ニモ制限ガアルヤ  
ウデアアル、サウ無暗ニ赤字ガ出タラ全部責  
任ヲ負フカト言ヘバ、負ヘモセヌラシイノ  
デアリマス、又私共自身カラ考ヘテモ、ソ  
ンナニ補助金、補助金ト言ツテ、補助金バカ  
リ増シテ貰フコトガ農村救済ノ要諦デモナ

イト思ヒマス、尤モ補助金ヲ増シテ下サレ  
バ之ニ越シタコトハナイガ、所ガソレハ出  
來ナイ、サウナレバドウスレバ宜イカト  
言フト、ヤハリ此場合唯一ノ活路ハ地方民  
ノ協同自治ニ任ス、サウシテ經費ノ掛ラス  
方法ヲ執ル、是ヨリ外ニ方法ハナイト思フ  
ノデアリマス、又更ニオ互ガモット國民健康  
保險ニ對シテ理解ヲ持ツヤウニシテ行カナ  
ケレバナラヌシ、モウ一ツハ個人々々ノ間  
ノ相扶共濟ニ止ラズ、更ニ有ユル財源ノ動  
カセルモノガアルナラバ、之ヲ動員シテ行  
クコトガ必要デアルト思フノデアリマス、  
財源ニ對シテノ協力ヲ受ケ得ル團體ガアル  
ナラバ、合理的ニ、永續的ニ資金ヲ得ル途  
ヲ開クコトガ第一番ニ必要ナコトト思フノ  
デアリマス、屢言フコトデアリマスガ、産  
業組合ノ剩餘金ノ如キモ、直接配當ヲスル  
ト云フヤウナコトハ頗ル下手ナコトデアアル、  
ソレヨリモ寧ロスウ云フ風ナ方面ニ金ヲ出  
サスヤウニシテ行クコトガ必要デハナイカ  
ト思ヒマス、社會政策ト云フモノハ、大體  
ソナ風ニシテ行カナケレバ出來ヌモノデ  
ハナイカト考ヘテ居リマス、コンナ工合ニ  
シテ行クト、保險ノ給付金ト云フモノハ優  
ニ私ハ二倍スルコトガ出來ルト思フ、金モ  
ナイノニ何レニモ満足ヲ與ヘル方法ハコン

ナ途ヨリ外ハナイト思フノデアリマス、斯  
ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、當局ハ  
何カ方法ヲ考ヘテ居ラレルカ、又今ノヤウ  
ナ状態デ行クナラバ、内容ノ低下デ不平ガ  
起ルノハ當然デアリマス、必ズ不平ガ起  
ル、其不平ガ起ラヌヤウニスルニハ、内容  
ノ低下ヲサセヌヤウニシテ行ク、是ヨリ外  
ニ途ハナイト思ヒマスガ、當局ニ何カ御考  
ガアレバ承リタイト思ヒマス

○清水政府委員 財源等ノ關係ハ先刻來申  
上ゲマシタ通りデアリマシテ、醫療費等ノ  
計算カラ見マシテ、大體必要ナモノヲ保險  
料デ賄フ、斯ウ云フ立前ニシテ居リマス、  
ソレモ土地ノ事情ニ依ツテ多イ所モアリ、少  
イ所モアル、ソレカラ赤字ニナリマセヌヤ  
ウニハ十分監督シテ行クト云フ方針デヤツ  
テ居リマス

尙ホ産業組合ノ關係ニ付キマシテハ、是  
ハ醫療組合等代行ノ出來マスモノニ付テハ  
代行サセルト云フ方針デヤツテ居ルノデ、別  
ニ其外ニ特ニ財源トシテ考ヘテ居ルモノハ  
ナイノデアリマスガ、現状ニ於キマシテ  
ハ、先ツソレデ十分收支ガヤツテ行ケル、斯  
ウ云フ考デ此案ガ出來テ居ルノデアリマス

○北委員 政府ハドウ考ヘテ居ラレルカ知  
リマセヌガ、是ハ恐ラク國民モ、ソレカラ

オ醫者サンモ、此金ノ多クナルト云フコトニ反對スル者ハ私ハナイト思ヒマス、唯之ニ反對スルモノハ政府ノミデハナイカト思ヒマス、私ハ斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

ガ、醫師ノ反對スル理由ガ全ク分ラヌ、醫師會ガ反對スルト言フナラバ理由ガアルカモ知レナイケレドモ、オ醫者サンガ反對スルト云フコトハ全ク其理由ノナイコトデア

ル、私ハ是ハオ醫者サン達ハ全ク無意識ノ中ニ反産運動ト云フヤツニ乗ッテシマッテ居ル、斯ウ思ハレテナラスノデアリマス、以

前、是ハ餘リ遠クモナイコトデアリマスガ、一時喧シカッタ例ノ米穀自治管理法案、アノ案ノ代行組合ヲ産業組合ニヤラスカ、

ヤラサヌカト云フコトニナツタ時ニ、全國ノ米屋サンガ大騒ギヲシテ何十万圓或ハ何百万圓ノ金ヲ使ッテ、國技館ニ寄ッタ人ダケ

デモ二万人カラノ人ガ寄ッテ大騒ギヲシタ、サウシテ之ニ非常ナ反對ヲシタ、所ガ一昨年ノ議會デ、是ハ産業組合ニ代行サセルコ

トニナツテシマッタ、現在ヤツテ居ルノデスガ、米屋サン達ノ心配シタコトガ全ク杞憂

デ、ソレガ爲ニ産業組合ニ職業ヲ奪ハレテドウスウシタト云フ人ハ一人モ居ナイ、色々ナ倉庫ヲ持チ、資金ヲ持チ、系統ヲ持ッテ

居ル産業組合デナケレバ迎モ出來ヌモノダ

ト云フコトハ政府モ分ッテ居ルヤウデスガ、今デハ米屋サンモ分ッテ、ソシナコトヲ言フ人ハ一人モ居リマセヌ、一體何故アノヤウ

ナ手ニ乗ッテシマッテ大騒ギヲシタノダラウト云フヤウナコトヲ言ッテ居リマスガ、オ醫

者サンノ此代行組合ヲ産業組合ニヤラスト云フコトニ對スル反對理由ト云フモノハド

ウシテモ領ケルモノガナイ、先刻西川君ガ言ハレタヤウニ醫療利用組合ノ代行組合ヲ

産業組合ニヤラスト云フコトニ反對スル理由ハ全然ナイノデアッテ、今日丁度米屋サン

達ガ大馬鹿ヲ見テ居ルト同ジヤウナコトガ將來必ラズ起ッテ來ルノデハナイカ、寧ろ政

府自ラモ案ヲ變ヘテ出サレルヤウナ時期ガ遠カラズ來ル、是ダケデハ出來ヌト云フコ

トハ私ハ確カニアルト思フ、醫師ノ反對スル吾々ノ肯定シ得ルヤウナ理由ガアルノカ

ドウカ、之ヲ此際政府當局カラ承ッテ置キタイ

代行ニ付テハ今法律案ニナツテ居リマスヤウナヤリ方ガ一番適當デアラウ、斯ウ云フ

コトニナリマシタ譯デアリマシテ、別ニオ醫者サンガドウトカ、何ガドウトカ云フノ

デハナク、調査會デ衆智ヲ集メタ結果、斯ウ云フ原案ニ相成ッタ次第デアリマス、之ニ

依ッテ法律案ヲ作りマシテ、是ガ最モ吾々ノ適當ト考ヘタ案デアリマス

○北委員 ドウモ私合點ガ行カヌノデスガ、オ醫者サンモ困ル、ソレカラ一般ノ國

民モ困ルト云フヤウナコトヲ社會保健調査會デ決メラレタト云フコトヲ言ヒマスガ、

是ハマア國民ト醫者ヲ離シテシマッタ人達ガ決メタノチヤナイデスカ實情ヲ知ラス人

達ガ恐ラク私ハヤッタノダラウ、斯ウ思ハレテナラスノデアリマス、是以上ハ討論ノ

ヤウニナリマスカラ止メマスガ、私ハ其ヤウニ考ヘテ甚ダ不徹底デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル者デアリマス

ノデスガ、唯單ニソレハ醫療利用組合ヲ專屬サセル意味デ言フノデハナイ、此醫師選

擇ノ自由ト云フコトハ何處マデモ尊シデ行クモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデスガ、

ドウシテモ今日ノ開業醫ノ缺陷ヲ矯正シテ行ク、或ハ是正シテ行クト云フノニハ、今

言フヤウナ醫療利用組合デ行クヨリ外ニ途ガナイト思フ、ソレ以外ニ随分是ハ色々理

由ガアル、例ヘバ農村ニ於テ醫療費ヲ少クシタイ、醫療ト云フモノハ、自分ノ醫療ヲ

ヤルノデアルカラ、自分等自身ノ力デ醫療費ヲ少クシタイト考ヘルコトハ當然ナ事デア

ル、何デモカデモ政府ニ頼ルト云フコトデハナイ、ソコデ成ベク農村ノ手近カナ所

ニ、綜合病院等ヲ拵ヘテ、良イ醫者ヲ迎ヘ、良イ設備ヲシタイト云フコトハ、是ハ現在

ノ開業醫ノ缺點ヲ除カウト云フ以外ニモ、オ互ノ經濟ヲ樂ニシテ行カウト云フ非常ニ理由アル欲求、熾烈ナル欲求ガ農民ノ間ニアル、所ガ此間カラ大臣ノ言ハレル所ニ依リマシテモ、醫療利用組合ト云フモノハ將來制限的ニ之ヲ認メル積リデアル、斯ウ言ッテ居ラレマスシ、先程カラノ西川君等ノ質問應答ニ於キマシテモ、ドウモ當局ノ御答辯ハ開業醫ノ制度ニ急激ナル變化ヲ與ヘタクナイ、斯ウ云フヤウナ考カラ醫療設備ノ

○清水政府委員 産業組合ノ代行ニ付テ、醫師ガ反對スル理由ガアルカドウカト云フ御尋ノヤウデアリマス、是ハ從來ノ經緯等ハ十分御承知ノコトト思フノデアリマスガ、實ハ昨年内務省デアリマシタカ、社會保健調査會ヲ開キマシテ、各方面ノ委員ヲ集メマシテ、色々審議致シマシタ結果、此



ナイ所ダケニヤラズ、醫療設備ノナイ所ダケト云フ内容ハドコニアルノカラ私承テ置カナケレバナラヌト思フ、現在無醫村ト云フヤウナモノナラバ、是ハ明瞭ニ醫療設備ノナイ所ト云フコトハ言ヒ得ル、併シ農村ニ貧弱ナルオ醫者一人シカ居ナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ、今日醫學ト云フモノガ非常ニ分科的ニナツテ、専門化シテ居ル場合ニ、其時ニマア内科モ、外科モ、耳鼻咽喉科モ、皮膚科モ何モカモ一人ノオ醫者サンニ農村ノ者ダケガヤツテ貫ヘト云フ理由ハナイト思フ、ダカラサウ云フヤウナコトハ、設備ハ成程全然缺イテハ居ラスケレドモ不満足ナモノデアル、同ジ國民デアル以上ハ、都會ノ者ト田舎ノ者ト同ジヤウナ設備ヲ、少クトモ自分等ノ手デヤラウト云フノヲ、之ヲ政府ガ抑制サレルヤウナ管ノモノデハ絶対ナイト思フ、此意味ニ於テ當局ノ言ハレル醫療設備ノナイト云フノハ、ドウ云フ風ナ意味ヲ含メテ居ラレルカ、醫療設備ノ良クナイト云フ所カ、良イ醫者ノ居ラス所カ、先程言フヤウナ古イ〜老齡デ往診ニモ出ラレス人、時代遅レノオ醫者サン、サウ云フノハアツテモナクテモ宜イト言ハナケレバナラヌ、今日分科シテ醫學ガ進ンデ居リマスカラ、イツ迄モ風邪ヲ引イタダケ

ナラバソシナオ醫者デ結構ダケレドモ、病氣ガ多種多様ニナツタ時ニ、ソシナオ醫者サンニ掛ツタ場合ニハ一命ガナイト云フ問題ニナル、是ハ人命ニ關スル問題デアル、ソレヲヤハリソシナオ醫者サンデモアルカラ、醫療設備ガアルカラ許可セヌト云フコトニナルト大變ナ事ニナル、マサカソシナ事ハナカラウト思フケレドモ、併シ是ハ中中微妙ナコトデアリマシテ、ドウモ吾々トシテハ能ク内容ヲ御伺シテ置カヌト、議會デ言ツタ通り醫療ノ設備ノアル所ダカラヤラサヌト云フヤウニ、ドレモ是モソシナ事ヲサレテハ堪ラヌト思フデアリマス、此點ニ關スル明確ナル御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

**○清水政府委員** 御答致シマス、先刻來申上ゲマシタノハ、國民健康保險組合トシテハ、原則トシテ開業醫ニ依ツテ醫療ヲ行ッテ行ク、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、醫療設備ノ不備ト云フコトヲ特ニ其際ニ問題ニシテ居ル譯デハナイノデアリマ

ス

**○北委員** 一寸私ノ質問ガ言葉ガ足リナカッタ、保險組合ノ方デハアリマセヌ、今申上ゲルノハ醫療組合認可ノ場合ノ御方針ヲ承ツテ居ル

**○林政府委員** 醫療利用組合ト云フモノト、ソレカラ今ノ國民健康保險ノ一ツノ醫療機關ニナルカナラヌカト云フ問題トハ少シ其間ニ違ヒガアル譯デアリマス、ソコデ一般ノ醫療機關ノ問題トシテノ醫療利用組合ノ設置ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通りニ、當局ニ於テハ決シテ之ヲ抑止スルト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ、又他ノ一面カラ申シマシテモ、只今御話申サレマシタヤウナ醫ノ各科ニ互ル綜合病院ト申シマスカ、サウ云フモノヲ大區域ニ設置シヨウト云フ問題ニ付キマシテモ、敢テ之ヲ抑止スルナドト云フ方針ハ採ツテ居ラナイノデアリマス、内容ガ立派ナモノデアツテ診療機關トシテ立チ得ルモノデアリマスカラバ、之ヲ認メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス

**○北委員** 從來ノ例カラ言ヒマスト、此處デ御話ニナルノト大分違フ、相當ノ設備ヲシテ行カウト云フモノデ、相當ノ基礎ノアルモノニ對シテモ二年三年モ許サナイ、現ニ北海道ナドハサウデスガ、其コトヲドウシテモ許サナイ、議場デハッキリ地方長官ガ言ツテ居ル、許シマセヌ、斯ウ言ツテ居ルヤウナ状態デアリマスカ、是ガ爲ニ例ノ物價ノ安イ時代ニ計畫シタノハ今日マデ引摺ラレテ居ル、今日許ス必要ガアツテモ申々出來ナイヤウナ形ニナツテ來テ居ル、非常ナ迷惑ヲ受ケテ居ルコトデアリマス、總テ物價ガ高クナツタ爲ニ……、斯ウ云フヤウナコトデ本當ニ許スノダ、コンナコトニ制限ヲ付ケヌノダ、先日大臣ガ本會議デモ言ハレタヤウニ制限的ニ許スト云フコトデナシニ、先程政府委員カラ御答辯ノヤウニ、開業醫ニ急激ナ變革ヲ與ヘヌヤウニト云フヤウナ考カラ此醫療利用組合ト云フモノノ認識ヲ礎ッテ來タト云フヤウナコトガアツテハ相成ラヌト思フノデアリマスカ、果シテ御説明ノ通り今後ハサウ云フモノガアツタラドンノ許シテ行クノカ、地方民ノ本當ノ熱心ヲ考眞面目ナ考カラヤツテ行カウト云フ出願ガアツタラ、農村ニ於テハ他ノ醫者ガアツテモナクテモ——實際今日農村ニ於テハ良イ醫者ガナイ狀況デアルト云フコトハ明カデアリマス、デスカラ之ニ對シテ御許シニナルト云フ方針ダト云フコトヲ承ルコトガ出來レバ結構デアリマス

**○林政府委員** 只今御話ノ中ニ他ノ醫療機關ガアツテモナクテモ何處デモ許シテ行クト云フ端の御話デアリマオケレドモ、午前中ニモ御答申上ゲテ置イタヤウニ今日ノ醫療制度トシテ認メテ居ル開業醫ノ其醫

療機關が相當アリマス場合ニ於テハ、直ニ  
サウ云フモノ御拵ヘニナルト云フコトガ、  
直グ御話ノ如クニ利益アルモノト云フ認定  
ヲスルコトニ困難ヲ感ズル場合モアラウカ  
ト考ヘマス、隨ヒマシテ今申サレマスヤウ  
ナ醫療機關トシテノ利用組合ハ、他ノ醫療  
機關ノ相當アリマス場合ニ於テハ十分考慮  
シナケレバ、端的ニ直ニ其方ハ何デモ許ス  
ト云フ譯ニハ申上ゲ兼ネル譯デアリマス

○北委員 農村ニ於テハ他ノ醫療機關ガア  
ルト言ッテモ知レタモノデス、ソナ綜合病  
院ガアル筈ガナイ、何モアリマセヌ、唯オ  
醫者サンガ一人カ二人居ルガ、而モ都會デ  
喰ヒ詰メタ人ガ行ッテ居ルノデアリマシテ、  
醫者ト云フケレドモ醫者デナイ、殆ド醫學  
校ヲ出タノヂヤナイ、昔ノ代診ナドヲヤッテ  
居ッテ上ツタヤウナ人、斯ウ云フ人ガ農村デ  
ハマダオ醫者サントシテ中ヲ利カシテ居ル、  
ソナ所デナケレバ斯ウ云フ綜合病院ガ欲  
シイト云フ筈ガナイ、醫療ガアッテモナクテ  
モト云フガ、サウ又極端ニ言葉尻ヲ取ツヤ  
ウナ御話デナシニ、農村ノ實情カラ考ヘテ、  
私ノ申上ゲルコトハソナ無謀ナコトヲ申  
上ゲテ居ルノデハナイト云フコトハ大體御  
分リニナルト思ヒマス、地方民ノ本當ノ要  
求ハ伊達ヤ體面デヤッテ居ルノヂヤナイ、此

點ニ付テハドウカーツ親切ナルオ取計ヒヲ  
願ヒタイト思フノデアリマス

其次ハ今度ノ健康保險ノコトデ代行組合  
ヲ窮屈ニシテ、代行組合ニヤラセナイト云  
フノデ政府モ醫師會モ骨折ッテ居ルヤウニ  
私共ハ見マシテ、或ル意味ニ於テ敬意ヲ表  
スル點ガアリマスガ、斯ウ云フヤウニナリ  
マス、政府ノ御方針デハ産業組合ニハヤ  
ラセナイノダ、單ニ政府ノ欲スル所ハ新シ  
イ健康保險組合ノ生レルコトヲ欲スルノダ、  
斯ウ云フコトデアレバ農村ハ已ムヲ得スカ  
ラ政府ノ御方針ニ從ッテ結局ハ保險組合ヲ  
新ニ設ケルコトニナルデアリマセウ、併シ  
是ハ廻リ廻ッテ産業組合ノ代行ト同ジコト  
ニナルト思フ、其處ニ落チネバナラヌ色々  
ノ素因ガアルト思ヒマス、第一健康保險組  
合ノ相扶共濟ノ精神、ソレト産業組合ノ相  
互扶助ノ精神トハ全く異名同體デス、同ジ  
モノデス、其相扶共濟ノ精神ヲ持ッテ居ル  
者、相互扶助ノ精神デ人ヲ集メテ居ル者、  
其人ガ中心ニナラズニ誰ガナリマスカ、必  
ズ其人ガ中心ニナルノデアリマス、サウナッ  
テ來マス、此保險組合ガ新シク成立シタ  
曉ニ於テ、組合員ノ大部分ノ意思ト云フモ  
ノハ、期セズシテ保險組合ノ仕事ハ是ハ一  
ツ産業組合ノ事務員ニヤラサウヂヤナイ

カ、事務所モ産業組合ノ事務所ヲ借リヨウ  
ヂヤナイカ、集金モ産業組合ノ仕事ノ序ニ  
ヤラサウヂヤナイカト云フコトニ必ズナル、  
又其監督者ニ付テモ、ドウセ場所モ借り、仕  
事モ頼ンデヤルノダカラ組合長ニ頼マウヂ  
ヤナイカ、是ハ組合員ノ意思デ必ズサウナ  
ルモノト思フ、是ハ偶然ダケレドモ必然的ニ  
サウナル、偶然的ナ必然性ガアルト私ハ考ヘ  
テ居リマス、斯ウナッテ來マスト代行組合ヲ産  
業組合ニヤラセタト何モ變ラヌヂヤナイカ  
ト思フ、政府モ醫師會モ、社會制度調査會  
デスカモ、隨分拘泥ッテ居ルヤウダケレド  
モ、結局ハ何ニモ變ラヌコトニナル、ソ  
ナコトヲシテ農民ニ腹ヲ立テサセテ、要ラ  
ヌ費用ヲ使ハセル必要ガ何處ニアルカ、認  
識不足ト言フガ、是レ以上ノ認識不足ハナ  
イト思フ、廻リ廻ッテ斯ウナル、所謂頭隠シ  
テ尻隠サズデ、此手ヲ借ラナケレバ保險組  
合ナド農村デハ出來ルモノデハナイ、此點  
カラ考ヘルト愚ノ骨頂デアアル、澤山偉イ人  
ガ集ッテ考ヘタングラウケレドモ、斯ナ馬  
鹿ナコトヲ能クモ考ヘナケレバナラヌモノ  
ダト思ハレテナラナイ、政府ハ此點ニ對シ  
テドシナ工合ニ見テ居ラレルカ、何ニモナ  
ラヌト云フヤウニ考ヘテ居ルカドウカ、見  
解ヲ承リタイト思フ

○清水政府委員 只今ノ御話實ハ吾々モサ  
ウ云フ風ニ或ル程度考ヘテ居ルノデス、大  
體先刻モ御話ガアリマシタガ、地方ノ有力  
者トシテ村長或ハ産業組合長、同一人デア  
ル場合モ非常ニ多イト思ヒマス、又實際ノ  
仕事カラ行キマスト御話ノ如ク産業組合デ  
序ニ保險組合ノ金ヲ集メテヤルト云フコト  
モアリマウシ、實際問題トシテハ先刻私ガ  
申シマシタヤウニ、産業組合ヲ利用スルト  
云フト語弊ガアルケレドモ、力ヲ貸シテ貫  
フ場合ガ相當アルト思ヒマス、ソレデ實際  
トシテハ産業組合ト國民健康保險組合トハ  
相當協力、共同シテヤッテ戴イテ結構デア  
ルシ、サウ御願シタイモノダト思ッテ居リマ  
ス、唯形式論ト致シマスト全然是ハ二ツノ  
組合デアアル、代行デアリマスト一ツノ組合  
デアリマシテ、非常ニ共々違フヤウデアリ  
マスガ、代行組合ト申シマスノモ、代行ノ  
ヤリ方ヲ一寸申上ゲマス、實際問題トシ  
テハ別ニ代行ダケノ特別會計ヲ作リマシテ、  
代行ノ爲ニ別ニヤハリ丁度産業組合ノ定款  
ニ當ルヤウナ一ツノ規定ヲ作リマシテサウ  
シテヤリマス、内容ハ一寸言ヘバ二ツ組合  
ガ出來タノト同ジヤウナコトニナリマス、  
ソコラ邊カラ行キマス、産業組合ト協力  
ノ方法ガ多少違フダケテ、結局何レカノ方

法ニ依ッテ國民健康保險組合ト産業組合トハ協力シテヤッテ貰ヘルト云フコトニハナルト思ヒマス

○北委員 米穀自治管理案ノ代行組合ヲヤル場合モ同ジナラズ、何ニモ變リハシマセヌ、特別會計デ別ニ帳簿ヲ以テヤッテ居ルノデアッテ、何モ變リハシナイ、協力シテヤルト言ッテ二枚看板ヲ掲ゲルダケノコトデアラナラバ、態、ソナモノヲヤラナケレバナラヌコトハナイ、特別ニ名前ヲ附ケテヤラサナケレバナラヌコトハナイ、斯ウ思ハレテナラヌノデアリマスガ、是ハ恐ラク

政府當局モ今マデ御話申上ゲタノデ大體御分リニナツタト思ヒマス、又議員諸君モ御分リニナツタト思ヒマス、唯此社會保險調査會ト云フモノデ決ツタカラ、是ダケデアリマ

ガ、其社會保險調査會ト云フモノハ國民ノ聲ニ依ッテ出來タモノデハナイ、國民ノ聲ヲ本當ニ代表スルモノデハナイ、眞ニ國民ノ聲ヲ代表スルモノハ衆議院ナリ、斯ウ云フ

工合ニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソナナ社會保險調査會デ間違ッテ誤謬ニ陥ツタモノガアルノヲ、此衆議院ガ直スコトニ何等カデナイモノデアアル、サウシテコソ始メテ衆議院ノ權威ガアル、何デモ彼デモ調査會ニ盲從スル位ナラ衆議院ト云フモノハ

要ラスノデアアル、斯ウ思ハレル、コンナエ合ニハッキリシタ問題ヲ、拘泥ラナケレバナラヌ必要ガ何處ニアルカト云フコトヲ突詰メテ置カナケレバナラヌト思フ、ドウカ一ツ私ノ見解ニ間違ヒガアルナラバアルトハッキリ言ッテ貰ヒタイ

○添田委員長 ドウデスカ——政府委員

○進藤政府委員 色々御説ヲ承リマシテ御尤ト思ヒマスルガ、意見ノ相違カモ知レマセヌガ、ドウモ議論スルヤウニナルノデ

ガ、此産業組合ノ立前ト保險組合ノ立前トハ少シ違フノデアリマシテ、醫療利用組合ト云フモノハ産業組合ノ一種トシテ今或ル程度マデ出來テ居ルノデアリマスガ、是ハ一方ニ國民健康保險組合ノ如キモノガ無カッタラアノ方デヤルヤウニナツテ居リマ

シテモ、今マデノ組合組織ノ如キ方法デハイカヌ、ドウシテモ平生カラ出シ宜イヤウニ金ヲ積ンデ置イテ、サウシテ治療ヲ受ケル時ニハ治療料ハ出サヌデモ宜イ、斯ウ云フ風ニシナケレバイカヌ、立前ガ少シ違フノデアリマシテ、此方法デヤルノガ宜カラウ、

其場合ニ、唯現在醫療利用組合デ其目的ニ合致シテ居ルヤウナモノガアレバ、ソレハ何モ二ツ作ル必要ハナイカラ一ツニシヨウ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ私

ノ考ト致シマシテハ、今後ハ此法律ガ通ツタ上ハ、將來ハ寧ろ國民健康保險組合ト云フモノヲ發達サセテ行キタイ、又ソレガ發達スレバ、一方産業組合ノ方ハ醫療利用組合

ノ方ヲサウ積極的ニ獎勵シテヤラナクテモ、コチラノ方デ殖エタリスルカラ將來ハ左様ニ行クベキモノデアアル、斯ウ考ヘルノデアリマス

○北委員 ドウモ先程モ西川君カラ隨分完膚ナク痛イ所ヲ衝カレテ居ルノデ、私共聽イテ居ッテモ、何ト云ッテモアナタ方ノ方ガ負ケデス、イヤ、實際ノコトヲ言フト、所謂認識不足ナンデアル、コンナ大事ナコトヲ、

所謂國民健康保險ヲ産業組合ニヤラスカヤラサヌカト云フ場合ニ、必ズ將來衝突ノ起ルベキ醫療利用組合ニ態、持ッテ行ツタト云

フコト、是ハ故意カ或ハ偶然カ分リマセヌガ、惡ク取ルト是ハ故意ニ見エル、政府當局ハ隨分ヒドイコトヲスル、普通ノ産業組合ニヤラセレバ何等衝突ガ起ラナイニモ拘ラズ、之ヲ態、衝突ノ起ル醫療利用組合ニヤラスト云フコトニナルノデアリマスカラ、

是ハ私ハ全國ノ産業組合ノ爲ニ、コンナ間違ッテ行キ方ヲサセタクナイ、何故カト言ヘバ、言フ迄モナク醫療利用組合デアラナラバ、幾ラ是ハ其專屬醫ニ依ラズ、醫師選擇ノ自由ヲ尊重スルト云ッテ居ッテモ、自分ノ組合ガアル、巧ク行カネバ損ガ行ク、其損ハ自分等ノ方ニ掛ッテ來マスカラ、其場合ニ

醫療利用組合ノ此ヤリ方ヲドウシテヤルカ、決シテ外ノ醫者ニ行クナトハ言ヒマセヌゾ、別ニ産業組合精神ニ依ル教育ヲシテ行ク、産業組合精神ニ依ル教育ヲシテ行クト云フト、ソレハ必ズ醫療利用組合ト云フモノノ治療ヲ受ケル、今日或ハソレガ不満デアッテモ、將來ヨリ良キ明日ヲ作ル爲ニハ斯ウシテ行クノデナケレバ農村ニ良イ醫者ハ來ヌデハナイカト云フコトニサレテシマフノデアリマシテ、此人ガ其主體ニナルト云フコトハ、是ハモウ醫者トノ間ニ態、喧嘩ヲサセルヤウナモノデアアル、サウシテドウダ、産業組合ニヤラシクテ此通り惡カッタ

デハナイカト持ッテ來ラレタ時ニハ、全國ノ産業組合ハ洵ニ迷惑千萬、普通ノ産業組合ニヤラセレバソナコトハアリハシナイ、ソレヲ態專屬ニサセルヤウナ所ニ持ッテ行クノデアリマスカラ、必ズ是ハ圓滿ニ行キマセヌ、コンナコトデ試金石ニサレテハ私ハ大變ヲ思フ、アナタ方ハ醫療利用組合ニヤラス方ガ衝突ガ起ラヌト御思ヒニナルカモ知レヌガ、産業組合ニヤラス方ガ衝突ガ起ルノデアッテ、是ハ三ツ子デモ分ルコトデアル、コンナハッキリシタコトヲ答辯技術デ彼此レ言ハレタ所デ、少シ心アル者ガ聞イタラ、當局ハ本當ニ認識不足ダト思フ——マサカ認識不足デハナイノデセウ、唯此社會保險調査會ノ答申ニ拘泥シテ、之ヲ無理ニ通サウトサレテ居ルトヨリ外ハ見様ガナイノデアリマス、此點ニ關シテドツチガ宜イカ、普通ノ産業組合ニヤラスノガ宜イカ、醫療利用組合ニ代行サセルノガ宜イカ、ソレヲハッキリサシテ置キタイ、醫療利用組合ニヤラセレバ、是ハ必ズ衝突ガ起リマスゾ、是ハ火ヲ賭ルヨリ明デアル、誰ガ考ヘテモ明デアル、ソレヲ態、サウ云フ方ニ持ッテ行ッテ、産業組合ニヤラセテハイカヌト云フ方ニ結論ヲ持ッテ來ラレテハ甚ダ迷惑スル、其點ヲハッキリシテ載キタイ

○進藤政府委員 御意見ハ能ク分リマヌルガ、政府當局ト致シマシテハ、ドウモ今仰シヤルコトハ承服シ兼ネルノデアリマシテ、産業組合ハ産業組合トシテノ一ツノ目的ヲ持ッテ居ル、何處マデモ是ハ保險ノ目的ヂヤナイノデアリマス、隨ヒマシテ廣ク産業組合ニ保險組合ノ仕事ヲ代行サセルト云フコトハ是ハ吾々トシテハドウモ出來ナイコトト考ヘマス

○北委員 益々以テ了解ガ出來ナイ、ソナコトニコダハラズニ、産業組合ニヤラサヌト云フナラバ、イツソ醫療利用組合ニモヤラサヌ方ガ宜イ、ナゼサウ云フヤウナコトヲ御ヤラセニナルカ、必ズ喧嘩ニナルヤウナ所ニ態、ナゼ御ヤラセニナルカ、醫療利用組合ニハヤラサヌ、新シイ健康保險組合デナケレバヤラサヌ、斯ウ云フコトニシテ、ハッキリシタラ宜イヂヤアリマセヌカ

○進藤政府委員 私共ハ醫療利用組合ニ代行サセルコトガ、將來此健康保險組合ト衝突ガ起ルトカ、摩擦ガ起ルトカハ考ヘマセヌ、醫療利用組合ニヤラセルコトガ、順當ニ行ク所以ダト斯ウ考ヘマス

○北委員 ソレ以上申上ゲテモ仕様ガナイト思ヒマス、次ハ醫療利用組合ノ認可ノコトニ付キマシテ申上ゲテ見タイト思フノデ

スガ、先程モ認可サレルヤウニ御話ニナッタノデアリマスガ、私ハ是ハ本當ニ實行シテ貫ハナケレバイカヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、若シ此農村ノ醫療問題ヲ、利用組合ト云フモノニヤラサヌト云フコトニナルナラバ、是ハ全ク現状維持ニノミ因ハレタル形デアリマシテ、所謂革新ヲ阻ム考デアル、之ニ發足シテ居ルモノト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、今ヤ支那ニ對シテノ長期戰爭ニ入りマシテ、戰時並ニ戰後ノ國民保健上大事ナ時デス、コンナ時デアリマスカラ、御醫者サンモ從來ノヤウナ自己ノ營利的立場カラスル所ノ功利主義カラバカリ發足シテ、サウシテ今尙ホ反對サレルトハ私ハ思ヒマセヌ、御醫者サンデモ私ハ理解ガアルト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、モウ既ニ御醫者サンモ目ガ覺メテ居ルト、斯ウ思フノデアリマスガ、此際コソナ單純ナ事柄ニ何處マデモコダハッテ、サウシテ認可ヲ濫ルト云フヤウナコトガアツテハ相成ラス、即チ此間モ豫算委員會デ、革新政策ハ元老ヤ或ハ金融財閥ノ勢力ニ依ッテハ出來ナイノダト云フコトヲ言ク人ガアツクノデスガ、此問題ハ何モ元老モ、ソレカラ金融財閥モ關係ノナイ問題デアル、其革新政策ヲ叫ブ衆議院デ是ハヤラナケレ

バ出來ナイ問題デス、コンナコトサハ出來ナイヤウナコトデ、ドウシテ將來ノ對支問題ノ解決ガ出來ルカト、私ハソコヘ持ッテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、支那ニ對シテ日本ハ所謂防共戰ヲヤツテ居ルノデアリマス、少クトモ支那人ニ對シテハ共產主義ヲ防禦セヨ、日本ノ國內ニハコンナ良イ政治ガアルノダゾ、吾々ノ政治ヲ見ヨト云フコトヲ、先ヅ實體ニ依ッテ示シテ行ク必要ガアルト思フ、其場合ニコンナ簡單ナ事柄サヘ、之ヲ衆議院デ通セナイト云フヤウナコトデアツクナラバ、モウ衆議院ハ私ハ革新ナドト云フコトヲ叫ブ資格ガナイト思フ、ソレバカリデナイ、支那ニ對スル日本ノ實際ノ國ノ徳トデモ申シマスカ、サウ云フ徳ヲ私ハ是ハ失ッテシマフノダト云フヤウニ思ハレテナラヌノデアリマス、コンナ意味ニ於キマシテ、是位ノコトハ政府ガ革新政策ノ中ニ第一ニ織込マナケレバナラヌコトデアリマスカラ、當局ハ此認可ノ問題ニ付テモ、少クトモ從來ノヤウナ態度ヲ執ラズニ、サウシテ日本ノ政治ヲ見ヨ、此日本ノ政治ニ見做ッテ行ケト云フ具合ニ、支那ニ持ッテ行ク必要ガアルデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、以上ノ點デ私ハ自分ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

バ出來ナイ問題デス、コンナコトサハ出來ナイヤウナコトデ、ドウシテ將來ノ對支問題ノ解決ガ出來ルカト、私ハソコヘ持ッテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、支那ニ對シテ日本ハ所謂防共戰ヲヤツテ居ルノデアリマス、少クトモ支那人ニ對シテハ共產主義ヲ防禦セヨ、日本ノ國內ニハコンナ良イ政治ガアルノダゾ、吾々ノ政治ヲ見ヨト云フコトヲ、先ヅ實體ニ依ッテ示シテ行ク必要ガアルト思フ、其場合ニコンナ簡單ナ事柄サヘ、之ヲ衆議院デ通セナイト云フヤウナコトデアツクナラバ、モウ衆議院ハ私ハ革新ナドト云フコトヲ叫ブ資格ガナイト思フ、ソレバカリデナイ、支那ニ對スル日本ノ實際ノ國ノ徳トデモ申シマスカ、サウ云フ徳ヲ私ハ是ハ失ッテシマフノダト云フヤウニ思ハレテナラヌノデアリマス、コンナ意味ニ於キマシテ、是位ノコトハ政府ガ革新政策ノ中ニ第一ニ織込マナケレバナラヌコトデアリマスカラ、當局ハ此認可ノ問題ニ付テモ、少クトモ從來ノヤウナ態度ヲ執ラズニ、サウシテ日本ノ政治ヲ見ヨ、此日本ノ政治ニ見做ッテ行ケト云フ具合ニ、支那ニ持ッテ行ク必要ガアルデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、以上ノ點デ私ハ自分ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○高田委員 先程ノ事務費ノ問題、北君ノ質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ百分ノ二ヲヤルト言ハレマスルガ、其根據ガナイ、サウ云フコトヲ聽キタイ、例ヘバ書記ノ給金ガ幾ラ要ルトカ、組合費ガ幾ラ要ルトカ、サウ云フコトヲ聽キタイ、唯百分ノ二デハ、何ノ爲ニ百分ノ二ト云フ數字ガ出タカ、役所デハ分ツテモ素人ニハ分ラヌ、唯役所デ事業費、雜費ガ幾ラノト云フコトヲ書出スガ、ソレデハイケナイ、實際ニ適シマセヌヨ、農林省ガ商工省トカ遞信省ノ金ヲ百分ノ二ノ通りニ町村ニ持ッテ行ッテ、ソレデ經費ガ足りルト思ッたら非常ナ誤算ニナリマスヨ、要スルニ雜費ノ掛ル問題、經常費ノ問題ガ組合經營ノ岐レル所デス、經常費ヲ少クスルニハドウスレバ宜イカト云フコトガ、私ハ組合ノ經營ヲ極メテ簡單ニ、容易ニスル所以ダラウト思ヒマスカラ、八百六十何圓ト云フ基礎ガ何處ニアルカ、詳細ニ書イテ貰ヒタイ、唯百分ノ二デハ實際ニ承知出來マセヌ

ソレカラモウ一ツハ、是ハ農林省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、私ノ見ル所デハ、補助々々ト云ヒマスケレドモ、産業組合ニ許可スルコトニセバ政府ノ補助ヲ俟タズニ、其剩餘金ヲ以テ、相當ニ其目的ヲ達シ得ル健康保

險組合ガ出來ルト私ハ信ジテ居ル、相當數ハ出來ルト信ジテ居ル、何モ補助バカリニ俟ツ必要ハナイ、補助ガナクテヤルモノガアツタナラバ、是程宜イコトハナイ、ソレヲ何カ形態ガ違フカラトカ、或ハドウモ産業組合ハ健康保險ヲヤルノデヤナイトカ言フガ、ソレハ形ノ問題デアル、實質ノ問題カラ言ヘバ、先程政府委員ガ言ッテ通り、實際ノ世話ハ産業組合ガヤルヤウニナル、産業組合同様ノモノニナル、若シ産業組合ガ剩餘金ガアツテ、國家ノ補助ヲ俟タズシテ、サウシテ此仕事ヲ經營セントスル希望ガアルノニ許可セラレナイト云フコトニナレバ、是位暴政ハナイト思フ、故ニ助川君ニ對シテ、我國ノ現在ノ産業組合デ、年々四五千圓ノ剩餘金ノアル組合ガ相當澤山アル、其數ヲ一寸御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

角小泉君ハ政府委員デハナイ故ニ、陸軍大臣、故ニ明日出來得ルナラバ陸軍大臣、然ラザレバ陸軍大臣ノ代リト致シマシテ——小泉醫務局長ガ最モ明確ニ發表シテ居リマスガ、陸軍ノ壯丁ノ體格ガ非常ニ低下シタ其理由ニ付テハ餘リ申シテ居リマセヌ、兎ニ

臣ガ若シオ出デニナラナケレバ、陸軍省ヲ代表シテ小泉君ヲ臨時説明員ニスルナリ何ナリシテ、其手續ヲ取ツテ、サウシテ出テ戴キタイト思ヒマス、以上三點ヲ申上ゲテ置キマス

○添田委員長 承知シマシタ、其事ハ陸軍省ノ方ヘ交渉スルコトニ致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會ト致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後五時十分散會

昭和十三年一月三十一日印刷

昭和十三年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局